

前田元溫編纂

各省指令類纂

內務
大藏
兩省ノ部

雨龍閣藏

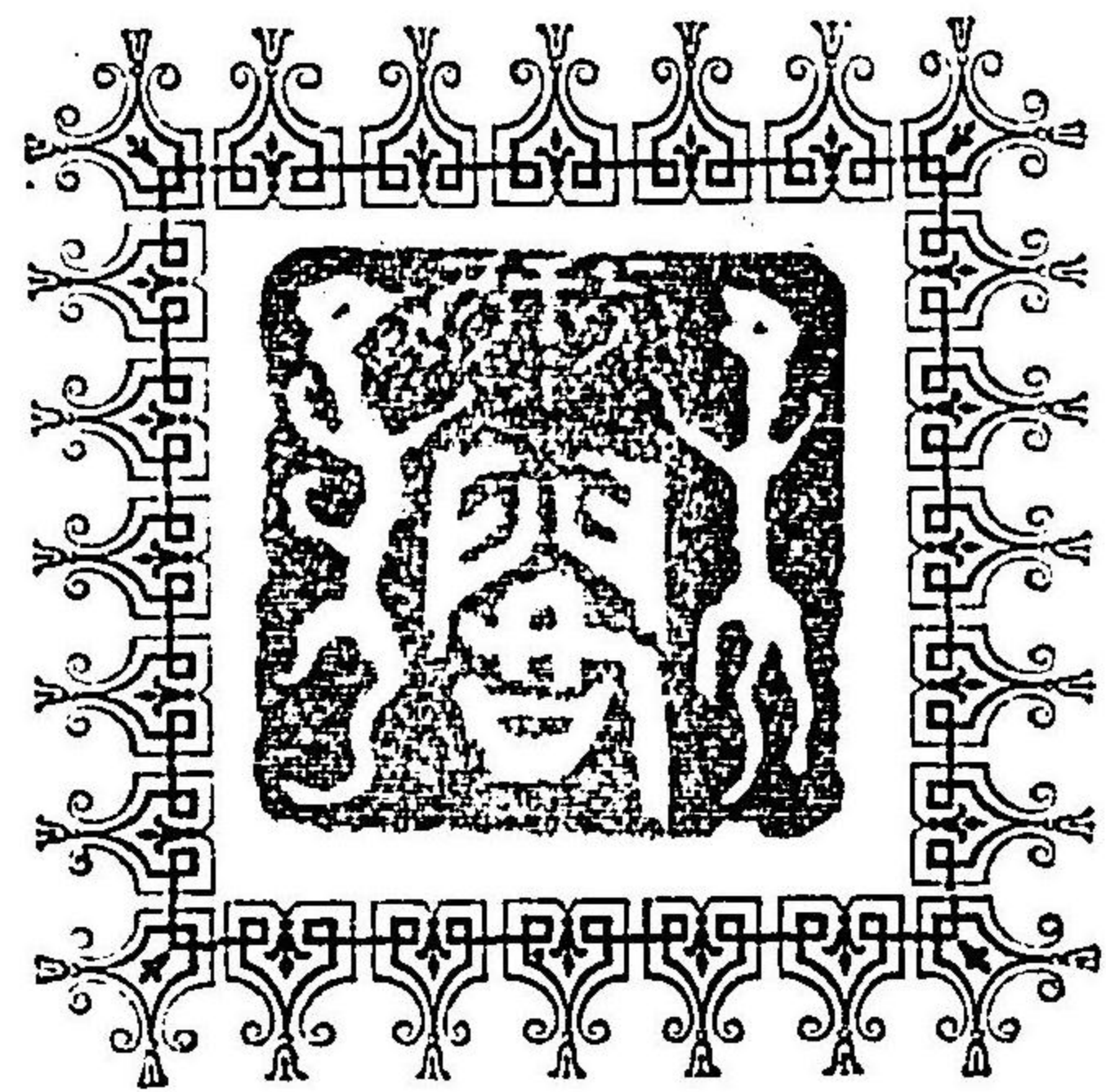


前田元溫編纂

各省指令類纂

內務
大藏
兩省ノ部

雨龍閣藏



凡例

- 一 此編ハ各省指令類纂ノ一部分ニシテ明治十六年七月ヨリ同十八年八月ニ至ルノ間官報ニ登載セル内務大藏兩省ヨリ太政官ヘノ伺指令及ヒ警視廳各府縣等ヨリ内務大藏兩省ヘノ伺指令ヲ鈔錄類纂セシモノナリ
- 一 今回ノ舉先ツ内務大藏兩省ノ部分ヲ發行シ逐次追刊遂ニ各省指令類纂ノ名ニ乖カサルヘシ
- 一 類纂ノ方別ニ條款ヲ設ケス先ツ其種類ヲ大別シ部中ノ小目ハ之ヲ細別セス或ハ官報ノ順序ニ從ヒ或ハ相同シキモノヲ駢列ス煩ヲ省ケハナリ
- 一 類纂ノ固ヨリ難シ之ヲ精密ニ爲サントスレハ一案兩

種ニ涉リ容易ク分別シ能ハサルモノアリ又其性質甲乙何レニ適屬スルカ頗ル疑フ可キモノアリ故ニ分別シ難キモノ、爲メニ類別ノ範圍ヲ濶ニシテ之ヲ包含セシメ又其適屬ス可キ部分ニ疑ヒアルモノ、如キハ其最モ重要ナリト認ル部中ニ之ヲ載ス看官夫レ之ヲ諒セヨ

編者識

各省指令類纂總目錄

〔一〕內務省ノ部		
(一) 桐章	一	丁
(二) 官吏	全	
(三) 郡區長及戶長	五	丁
(四) 圖書出版	八	丁
(五) 地所	九	丁
(六) 山林	廿	丁
(七) 戶籍	廿一	丁
(八) 衛生	廿六	丁
(九) 公債證書	四十六	丁
(十) 旅費	四十八	丁
(十一) 賞與手當	四十九	丁
(十二) 褒章	五十一	丁
(十三) 備荒儲蓄	全	
〔十四〕社寺		五十二
(十五) 神官	全	
(十六) 警保	五十三	丁
(十七) 賣藥	五十五	丁
(十八) 後見人	六十五	丁
(十九) 勳章年金褫奪及停止	全	
(廿) 監獄則	六十六	丁
(廿一) 看守休暇	九十八	丁
(廿二) 監視	九十九	丁
計二十二		
〔二〕大藏省ノ部		
(一) 官吏及雇員	一	丁
(二) 事務規程	二	丁

(三) 請願	六丁	(十八) 菓子税則	五十二丁
(四) 歳入出豫算	七丁	(十九) 租税決算	六十二丁
(五) 會計年度	九丁	(廿) 電信送達郵便税編入科目	六十三丁
(六) 地所	十丁	(廿一) 徴収支出	全
(七) 地券	十一丁	(廿二) 貨幣	六十六丁
(八) 地租	十二丁	(廿三) 公債證書	六十七丁
(九) 地租未納者處分	十五丁	(廿四) 獻金	七十五丁
(十) 訴訟用野紙	十八丁	(廿五) 預金	七十六丁
(十一) 證印税	廿丁	(廿六) 恩給	八十丁
(十二) 印紙賣捌	廿一丁	(廿七) 給與賜金	八十二丁
(十三) 證券印紙	廿四丁	(廿八) 月俸	八十三丁
(十四) 船舶税	廿七丁	(廿九) 旅費	九十一丁
(十五) 車税	卅四丁	(三十) 官舎宿代	九十三丁
(十六) 酒酢醬油税則	卅六丁	(三十一) 勸業授産金	九十四丁
(十七) 煙草税則	四十四丁	計三十一	

内務省指令類纂

目録

(一) 桐章

(一) 内務省ヨリ太政官へ桐章ノ件

一丁

(二) 官吏

(一) 千葉縣伺官吏ニシテ會社ノ役員トナルノ件

全

(二) 愛媛縣伺官吏ノ家族商業ヲ營ムノ件

二丁

(三) 福井縣伺官吏漁業ノ件

全

(四) 滋賀縣伺官吏席次ノ件

全

(五) 山形縣伺官吏席次ノ件

四丁

(三) 郡區長及戸長

(一) 德島縣伺郡長へ分任ノ件

五丁

(二) 熊本縣伺警部ニシテ郡長兼務ノ件

全

(三) 福島縣伺郡書記ヲシテ巡回訓導ヲ兼務セシムル件

全

(四) 島根縣伺戸長職務上過失ノ節懲戒例處分方ノ件

六丁

目録

- (五) 群馬縣同郵便取扱役ヲシテ戸長兼務セシムルノ件 全
- (六) 千葉縣同戸長賜休暇ノ件 七丁
- (七) 青森縣同戸長俸給ノ件 全
- (八) 青森縣同服務紀律適用ノ件 全
- (九) 岐阜縣同戸長商賈營業ノ件 全

〔四〕圖書出版

- (一) 內務省ヨリ太政官へ伺伺指令訓示等出版方ノ件 八丁

〔五〕地所

- (一) 兵庫縣同潰地々券書換等ノ件 九丁
- (二) 兵庫縣同官用地々種ノ件 十丁
- (三) 朽木縣同授産ノ爲メ官有地拂下願ノ件 全
- (四) 滋賀縣同開墾地許可以前着手ノ者處分方ノ件 十一丁
- (五) 新潟縣同地方稅ニテ土地買上ケノ件 十二丁
- (六) 滋賀縣同土地買上ケノ際約定証ノ件 全
- (七) 岐阜縣同不用ニ屬スル地所建物業却代金納入方ノ件 全

〔六〕山林

- (八) 大坂府同身代限財產付立并地所建物業買賣等與書ノ件 十三丁
- (九) 京都府同琵琶湖水ヲ京都へ疏通スル事業起功ノ件 十四丁
- (十) 東京府同市區改正ノ件 十八丁

〔七〕戶籍

- (一) 山口縣同家督相續ニ關シ裁判處分ヲ受ケ控訴スル者戶籍届方ノ件 廿一丁
- (二) 茨城縣同養子戸主携子離縁ノ件 廿二丁
- (三) 山梨縣同戶籍(年長者ヲ養子トナス)取扱方ノ件 廿三丁
- (四) 静岡縣同十六年乙第三十八號諸表樣式ノ件 全
- (五) 大坂府同出產婚姻死亡表ノ件 廿四丁
- (六) 島根縣同出產外五表記載洩ノ分製表方ノ件 廿五丁

〔八〕衛生

- (一) 德島縣同鍼治及齒取扱締ノ件 廿六丁

目錄

(二)	三重縣同醫師開業規則ノ件	全
(三)	德島縣同十六年乙第四十二號達ノ件	全
(四)	愛知縣同醫術試驗規則ノ件	廿七丁
(五)	埼玉縣同全上ノ件	全
(六)	山梨縣同醫師免許規則ノ件	廿八丁
(七)	長崎縣同全上ノ件	全
(八)	島根縣同醫師免許規則及醫師開業試驗規則中疑義ノ件	廿九丁
(九)	静岡縣同醫術免狀下付ノ件	三十丁
(十)	東京府同醫術試驗規則ノ件	卅一丁
(十一)	群馬縣同醫師免許規則ノ件	卅二丁
(十二)	岩手縣同醫術免狀下付願ノ件	全
(十三)	山形縣同醫籍編製ノ件	全
(十四)	福岡縣同開業醫取扱方ノ件	卅三丁
(十五)	佐賀縣同醫師免許規則ノ件	卅五丁
(十六)	宮城縣同醫術開業免狀授與ノ件	卅六丁

(十七)	静岡縣同醫師氏名調ノ件	卅七丁
(十八)	島根縣同衛生表戸口數取調ノ件	全
(十九)	岐阜縣同衛生統計實施方ノ件	卅八丁
(廿)	島根縣同衛生統計表群居區域ノ件	全
(廿一)	岡山縣同衛生統計表中疑義ノ件	卅九丁
(廿二)	鹿兒島縣同地方衛生會委員ノ件	四十丁
(廿三)	廣島縣同衛生會委員增置ノ件	全
(廿四)	三重縣同地方衛生會委員任期ノ件	全
(廿五)	富山縣同官吏准官吏衛生委員兼務ノ件	四十二丁
(廿六)	新潟縣同町村衛生委員提灯印並印章ノ件	全
(廿七)	鹿兒島縣同衛生課事務條項ノ件	四十二丁
(廿八)	静岡縣同衛生局試驗所檢査手數料ノ件	全
(廿九)	宮城縣同區町村衛生委員撰舉ノ件	四十三丁
(卅)	栃木縣同郡長地方衛生會委員トナル者旅費支給方ノ件	四十四丁
(卅一)	茨城縣同屍体解剖ノ件	全

目錄

- (卅二) 神奈川縣伺十六年乙第廿八號御達ニ係ル死亡表調製方ノ件 全
- (卅三) 三重縣伺塵捨場處分方ノ件 四十五丁
- (卅四) 岐阜縣伺種痘施術免許ノ件 四十六丁

〔九〕 公債証書

- (一) 滋賀縣伺記名諸公債証書所有權變換ノ件 四十六丁
- (二) 福井縣伺重罪ノ刑ニ處セラレタル者所有公債証書取扱ノ件 四十七丁

〔十〕 旅費

- (一) 德島縣伺神官旅費支給方ノ件 四十八丁
- (二) 新潟縣伺監視ニ付セラレタル者旅費欠乏ノ爲メ救護ニ係ル諸費支辨方ノ件 四十九丁

〔十一〕 賞與手當

- (一) 岐阜縣伺滿年賜金支給方ノ件 四十九丁
- (二) 岩手縣伺戸長賞與方ノ件 五十丁
- (三) 鳥取縣伺賞與調書ノ件 全

〔十二〕 褒章

- (一) 兵庫縣伺褒狀ヲ授與セシ者姓名届方ノ件 五十一丁

〔十三〕 備荒儲蓄

- (一) 山形縣伺備荒儲蓄ノ内無定期預金ニ對スル抵當品ノ件 五十一丁

〔十四〕 社寺

- (一) 神奈川縣伺寺院合併跡地處分方ノ件 五十二丁

〔十五〕 神官

- (一) 德島縣伺神官旅費支給方ノ件 五十二丁

〔十六〕 警保

- (一) 滋賀縣伺警保報告表ノ件 五十三丁
- (二) 廣島縣伺賭博犯者報告表記載方ノ件 五十五丁

〔十七〕 賣藥

- (一) 岐阜縣伺賣藥營業鑑札面滿期年月記載方ノ件 五十五丁
- (二) 島根縣伺賣藥營業請賣者ノ件 五十六丁
- (三) 新潟縣伺期限過タル鑑札ヲ以テ賣藥營業爲シタル者處分ノ件 全
- (四) 山口縣伺異邦ノ賣藥請賣ノ件 五十七丁

- (五) 静岡縣何藥物製造ノ件 全
- (六) 山梨縣何丸散藥等ノ藥劑ニ效能書ヲ附セス販賣ノ件 全
- (七) 三重縣何勸業事務上製造ノ藥用阿片ノ件 全
- (八) 岡山縣何施藥ノ件 全
- (九) 山形縣何賣藥營業者免許期限過鑑札書替及税金徴收方ノ件 五十九丁
- (十) 京都府何賣藥營業人其販賣ノ效能書中ニ方名姓名等記載方ノ件 六十丁
- (十一) 福井縣何賣藥請賣及行商鑑札方數記載方ノ件 全
- (十二) 山口縣何鑛泉販賣ハ賣藥規則外トシ取扱フ件 六十一丁
- (十三) 岐阜縣何賣藥能書中六種傳染病ノ項削除ノ件 全
- (十四) 三重縣何賣藥營業鑑札及受賣行商鑑札裏面記載方ノ件 六十二丁
- (十五) 岡山縣何賣藥別戶營業者ノ件 全
- (十六) 福井縣何藥舖醫師兼業ノ件 六十三丁
- (十七) 埼玉縣ヨリ醫師兼業ノ件 全
- (十八) 山形縣何賣藥鑑札ノ件 全
- (十九) 福島縣何藥湯營業ノ件 六十四丁

- (廿) 埼玉縣何賣藥營業ノ件 全
- (廿一) 栃木縣何賣藥規則ノ件 全

〔十八〕 後見人

- (一) 滋賀縣何公債証書賣渡讓渡ニ付後見人權限ノ件 六十五丁

〔十九〕 勳章年金褫奪及停止

- (一) 福井縣何勳章年金褫奪及停止取扱手續ノ件 六十五丁

〔廿〕 監獄則

- (一) 滋賀縣何生活ノ道ナキ者處分ノ件 六十六丁
- (二) 青森縣何犯罪人ノ携帯セル幼兒養育ノ件 六十七丁
- (三) 兵庫縣何犯罪人ノ携帯スル三歳以上ノ幼兒處分方ノ件 全
- (四) 山梨縣何監獄事務調理ノ件 六十九丁
- (五) 警視廳何諸裁判所ニ設ケアル留置場營繕費用ノ件 七十丁
- (六) 石川縣何雇工錢國庫費へ收入方ノ件 全
- (七) 山形縣何監獄工業ニ係ル土錢收支金算出方ノ件 七十一丁
- (八) 東京集治監何懲役終身囚又ハ有期若クハ無期徒刑ノ宣告ヲ受タ
ル者北海道へ發遣ノ件 七十二丁

- (九) 山口縣伺徒刑囚海路押送費用ノ件 七十二丁
- (十) 三重縣伺在監人隱匿物處分ノ件 全
- (十一) 空知集治監伺拘禁囚徒取扱方ノ件 七十四丁
- (十二) 茨城縣伺監獄費取扱方ノ件 全
- (十三) 新潟縣伺已決囚ニ係ル經費區分ノ件 七十五丁
- (十四) 埼玉縣伺監獄費取扱方ノ件 七十六丁
- (十五) 大坂府伺監獄費中國庫費地方費區分ノ件 八十丁
- (十六) 和歌山縣伺監獄費國地兩費配算方ノ件 八十一丁
- (十七) 鹿兒島縣伺在府縣囚徒取扱方并地方稅豫算ノ件 八十二丁
- (十八) 岐阜縣伺在府縣獄囚徒費取扱方ノ件 八十三丁
- (十九) 群馬縣伺監獄費取扱方ノ件 八十五丁
- (廿) 同縣伺在府縣獄囚徒費取扱方ノ件 全
- (廿一) 警視廳伺在府縣獄囚徒費其他監獄費取扱方ノ件 八十六丁
- (廿二) 德島縣伺在府縣獄囚徒費取扱方ノ件 八十七丁
- (廿三) 警視廳伺在府縣獄ヨリ支出ノ金額地方監獄費等ニ戻入ノ件 八十八丁

- (廿四) 福岡縣伺監獄經理半年報第十六號ノ件 全
 - (廿五) 京都府監獄署ヨリ問合全上ノ件 八十九丁
 - (廿六) 山梨縣伺全上ノ件 九十二丁
 - (廿七) 三重縣伺監獄ニ係ル沒收金ノ件 九十五丁
 - (廿八) 山形縣伺監獄經理半年報掲載方ノ件 全
 - (廿九) 鹿兒島縣伺在府縣獄囚徒費取扱方并地方稅豫算ノ件 全
 - (卅) 岐阜縣伺輕罪控訴被告人押送費用ノ件 九十六丁
 - (卅一) 愛媛縣伺軍律ニ依リ處斷アリシ在監人費用ノ件 九十七丁
- 〔廿二〕 看守 休暇**
- (一) 東京集治監伺看守休暇概則ノ件 九十八丁
 - (二) 宮城集治監伺看守休暇ノ件 全
- 〔廿二〕 監視**
- (一) 滋賀縣伺監視ノ件 九十九丁
 - (二) 新潟縣伺監視ニ付セラレタル者旅費欠乏ノ爲メ救護ニ係ル諸費支辨方ノ件 全
- 內務省指令類纂目錄畢

内務省指令類纂

(一) 桐章

(一) 内務省ヨリ桐章ノ儀ニ付太政官ヘ伺

十六年八月一日
官報第二十八號

菊章ノ儀ニ付テハ度々御達ノ次第有之候處桐章ノ儀ハ是迄何等御達等無之右ハ一般社寺ニ於テ相用ヒ不苦儀ニ候哉往々伺出ノ向等有之取扱方差支候條此段相伺候也

(十六年七月四日)

指令(十六年八月一日)伺之趣桐章ノ儀ハ相用不苦儀ト可相心得事

(二) 官吏

(一) 千葉縣ヨリ官吏ニシテ會社ノ役員ト成ル儀ニ付伺

十六年十月三日
官報第八十一號

十四年公達第三十七號ヲ以テ官吏ニシテ道路河港ノ修築海陸運輸土地ノ開墾殖産ノ事業等ニ關スル會社株主ト相成儀ハ不苦旨被達候處已ニ會社株主ト爲ルヲ得ル者ハ社則ニ依リ該會社ノ役員ニ撰舉セラレタルキハ役員トナルモ不苦哉官吏服務規則第六條本屬長官ノ許可ナク他ニ給料ヲ受クルヲ得ストハ自ラ前條ノ場合ト違ヒ株主外ニ在リテ他ノ會社ノ役員等ニ成リ給料ヲ受ク可カラサル儀ニ候哉會社ノ株主トナルヲ得テ役員トナルヲ得サルキハ權利義務ニ對シ到底不完全ノ株主タルヲ免レヌ聊疑義ニ涉リ差支ノ儀モ有之候條此段相伺候也

桐章 官吏

二
(十六年九月十八日)

(指令)(十六年九月廿九日)書面官吏ニシテ會社ノ役員トナルハ不相成儀ト可心得事

(二)愛媛縣ヨリ官吏家族商法ノ儀ニ付伺

十六年十月三日
官報第八十二號

一戸主ニアラサル官吏ノ子弟商業ノ儀ニ付三重縣ヨリ御省へ伺其指令ニ據レハ分籍別居セシムルニ及ハサル儀ト可心得事ト客年六月廿四日發兌東京日々新聞ニ相見ヘ候右ハ子弟ニ限ラス妻ニ於テモ同一ノ儀ト相心得可然哉此段相伺候也

但公立小學校訓導ノ如キモ本文同様ノ儀ト相心得可然哉併セテ相伺候也

(十六年九月十一日)

(指令)(十六年九月廿九日)書面伺ノ趣不相成儀ト心得ヘシ但書ノ儀ハ文部省へ伺出ヘシ

(三)福井縣ヨリ官吏漁業ノ儀ニ付伺

十七年四月十九日
官報第二百三十九號

海面ヲ區畫借用ノ上捕魚採藻營業ヲナスハ官吏ト雖モ不苦旨十二年六月中石川縣ヨリノ伺御指令ノ趣モ候處河海ノ區域ヲ限ラス漁業ヲナスモ亦不苦哉 (十七年三月廿八日)

(指令)(十七年四月十七日)伺之趣難相成事

但明治十三年六月中石川縣へ指令ハ取消候事

(四)滋賀縣ヨリ官吏席次ノ儀ニ付伺

十七年八月廿日
官報第三百四十四號

第一條 今般府縣官中へ收稅屬ヲ設置尋テ第四十八號ヲ以テ府縣官職制増補セラレ候ニ就

テハ該官ト無等判任官即チ警部典獄看守長等ト列席スル節ハ收稅屬ハ相當官ナルヲ以テ無論同年俸ノ警部典獄書記(監獄)看守長等ノ上席ニ班シ可然哉

第二條 警部長ト收稅長トハ任官ノ前後月俸ノ多寡ヲ以テ席次可相定儀ト存候得共同日任官同月俸ノ時ハ何レヲ上座ニ班スヘキ乎

第三條 警部ト典獄副典獄等ト同月俸ノ者ハ何レヲ上座ニ班スヘキ乎

第四條 無等判任官即チ警部看守長ノ類並准判任御用掛リノ者譬ヘハ初メ三十圓俸給ノ處都合ニヨリ貳拾圓ニ減俸スルキハ無論二拾圓俸給者ノ末席ニ列スヘキ儀允當ト相考候得共右ハ貳拾圓俸給ノ新任者トモ異リ候ニ付貳拾圓俸給者ノ最上席ト可相心得乎

第五條 巡查ハ同月俸等外吏ノ上席ト相心得候得共看守ハ等外吏ノ次席ト可相心得哉

第六條 無等判任官即チ警部看守長等ト郡書記トノ席次ハ何レヲ以テ上席ト可致哉例ヘハ月俸貳拾圓ノ警部アリ十五等相當郡書記ト同時ニ拜命スルカ如キ官等ヲ以テ言ヘハ郡書記ヲ上ニスヘキカ如ク縣官ト郡吏トノ地位上ヨリ見ルキハ警部ヲ上席トスヘキニ似タリ右ハ如何相心得所然乎

但郡書記月俸ハ各府縣適宜ノ制度ニシテ本縣ノ如キハ本文十五等相當ニテ十四圓十四

官吏

等相當ニ在テモ拾六圓ニテ其俸額尙貳拾圓警部ニ及ハサレハ俸給ヲ以テ席次ノ比較ハ固ヨリ難相成儀ト思考ス此段相伺候也
(十七年六月廿八日)

(指令)(十七年八月十六日)第一條第三條十四年(五月)第四拾六號達第一項ノ通

第二條本年八月第六十七號達ノ通

第四條第五條伺ノ通但巡查ト等外吏席次ハ十五年五月第七號達ノ通

第六條十五年(一月)第六號達ノ通

(五)山形縣ヨリ官吏席次ノ儀ニ付伺

十八年七月二日
官報第六百號

第一條 警ヘハ五等屬ヨリ收稅屬十二等官及無等判任官月俸三十圓等ニ轉任ノキ席次新任ト同

様末席ニ列シ可然哉又ハ同相當官及同俸ノ者ノ上席トシ可然哉

第二條 甲廳ヨリ乙廳ニ同等官ニテ轉任ノキハ前任年月日ニ拘ハラヌ更ニ轉任ノ日ヲ以テ

席次相定ノ例ニ付テハ甲廳ニテ本官ノ者乙廳相當官或ハ無等判任官ニ轉任スルモ同様轉

任ノ日ヲ以テ順序相定可然哉

第三條 官ノ都合或ハ本人ノ情請等ヲ以テ降等ノ節ハ降等官ノ上席ニ列シ可然哉

(十八年五月八日)

(指令)(十八年六月廿五日)第一條前段伺之通第二條伺之通第三條允請退スルモノハ同官

ノ上席允請ニアラスシテ降等スルモノハ同官ノ末席トス

但同時ニ同官ニ昇等及新任ノ者アルキハ其上席タルヘシ

(三)郡區長及戸長

(一)德島縣ヨリ郡長ヘ分任ノ儀ニ付伺

十六年九月一日
官報第五十四號

受恩典者印紙類賣捌願許可ノ儀郡長ヘ分任スルモ不苦哉 (十六年八月二十二日)

(指令)(十六年八月卅一日)伺之通

(二)熊本縣ヨリ警部ニテ郡長兼務ノ儀ニ付伺

十六年十月十日
官報第八十七號

警部郡長ヲ兼務セシムルハ差支ナシト存スレ共爲念伺フ (十六年九月二日)

(指令)(十六年九月九日)警部ニテ郡長兼務ハ不相成

(三)福島縣ヨリ郡書記ヲシテ巡廻訓導ヲ兼務セシムル儀ニ付伺

十六年九月廿七日
官報第七十七號

第一條 藝ニ屬官ヲシテ教員ヲ兼務セシムルハ不苦哉ノ伺ニ伺ノ通ト御指令相成候處右ニ

準據シ郡書記教員ノ資格ヲ有スルモノニシテ巡廻訓導ヲ兼務セシムルモ不苦儀ニ候哉

第二條 前條不苦トセハ郡書記相當月給ノ外巡回訓導ニ屬スル費途(一郡連合會ニ於テ決

シタル費途)ヨリ幾分ノ手當若シハ旅費ヲ支給スルモ不苦儀ニ候哉(十六年八月廿八日)

郡區長及戸長

(指令)(十六年九月廿五日)書面伺之通

(四)島根縣ヨリ戸長職務上過失ノ節懲戒例ニ依リ處分方ノ儀ニ付伺

十六年八月十一日
官報第三十六號

明治十一年御省乙第八十號御達末項ニ戸長ノ職務行政事務ヲ取扱フニ當リ過失アラハ官吏懲戒例ニ依リ處分スヘシトアルヲ以テ其町村ノ理事者タルノ資格ヲ以テ取扱フタル事項ニ付テハ假令過失アリモ之レヲ懲戒スルノ限コアラサルヲ勿論ト相考候處明治十三年第十八號布告第五條ニヨリ數町村聯合會ノ評決ヲ便宜ニ隨ヒ郡長ニ於テ施行スルキハ郡長直チニ其聯合町村ノ理事者トナルコトアリ是等理事上ニ關シ過失アリタルキハ亦懲戒例ニヨリ處分スルノ限ニ無之儀ト相心得可然哉相伺候也

(十六年七月十四日)

(指令)(十六年八月九日)書面伺之趣數町村聯合會ノ評決ヲ施行スルニ際シ過失アラハ官吏懲戒例ニ依リ處分スル儀ト可心得事

(五)群馬縣ヨリ郵便取扱役ナシノ戸長兼務セシムル儀ニ付伺
十六年九月十五日
官報第九十一號
本縣下戸長撰擧法ノ儀官吏ヲ除キ三名ヲ公撰セシメ内壹名ヲ縣廳ニ於テ撰擧致シ來リ候處僻邑ニ至リテハ人材ニ乏シク其適任者ヲ難得往々官民ノ不都合不勘候條撰擧區域ヲ擴メ郵便取扱役ヲモ撰擧セシメ實際郵便事務ニ差支無之上ハ戸長ヲ兼務セシムルモ不苦候哉此段

相伺候也

(十六年九月廿九日)

(指令)(十六年十月十二日)書面事務上差支無之上ハ伺之通

(六)千葉縣ヨリ戸長賜休暇ノ儀ニ付伺

十六年八月十七日
官報第四十二號

諸官員署中賜暇之儀公達相成候處戸長之儀ハ先般身分取扱改定セラレ候ニ付テハ同様休暇ヲ賜リ候儀ト相心得可然哉

(十六年七月廿八日)

(指令)(十六年八月十六日)伺之通

(七)青森縣ヨリ戸長俸給ノ儀ニ付伺

十六年九月十日
官報第六十一號

戸長俸給外ニ委員ノ名稱ニテ別ニ協議費ヨリ給料ヲ受クルモ差支ナキヤ直ク御指揮ヲ乞フ

(十六年八月廿一日電報)

(指令)(十六年九月八日)八月廿一日伺戸長俸給ノ外ニ委員ノ名義ニ對シ別ニ協議費ヨリ給料支給スルハ不相成但シ手當トシテ給與スルハ不苦

(八)青森縣ヨリ服務紀律適用ノ儀ニ付伺

十六年九月十五日
官報第六十六號

服務紀律ハ總テ戸長ニ適用ノ儀ト心得可然哉

(十六年九月八日)

(指令)(十六年九月十三日)伺之通

(九)岐阜縣ヨリ戸長商賈營業ノ儀ニ付伺

十六年九月十九日
官報第六十九號

郡區長及戸長

明治十五年(十二月)太政官第七十一號公達ヲ以テ戶長身分取扱ノ儀改定相成候ニ付テハ御省本年三月三十日付無號御達ニ據リ提灯徽章ノ件官記式ノ件印章ノ件賀表書式ノ件等總テ判任官同様相成候處商賈營業ノ儀ハ明治八年四月第六十五號公達第一條但書ノ通被差許候然ルニ茲ニ戶長ニシテ會社ノ株主トナリ且給料ヲ得テ該社ノ事務ヲ取扱度旨願出ル者アリ右ハ等シク商賈營業ト見做シ可然哉又ハ其給料ヲ得テ事務ヲ取扱フノ段ハ客年(七月)第十四號公達行政官吏服務紀律第六條ニ據リ縣令ノ許可ヲ得ルニ非ラサレハ該事務ヲ行フヲ得サル儀ニ候哉相伺候也

(十六年八月十日)

(指令)(十六年九月十七日)戶長ニシテ會社ノ株主又ハ該社ノ事務ヲ取扱フハ不苦ト雖モ其給料ヲ得ルニ至テハ後段伺之通

(四) 圖書出版

(一) 內務省ヨリ伺指令訓示等出版方ノ儀ニ付太政官へ伺

十七年十月廿一日
官報第三百九十五號

昨十六年六月廿九日第廿壹號布告ヲ以テ出版條例御改正相成其罰則第五條ニハ新聞紙條例第三十壹條ヲ適用セラレ候處先是即同年同月廿二日貳拾壹號布達ヲ以テ凡ソ官報ニ登載シタルモノハ新聞紙條例ニ依リ記載スルヲ得サル者ト雖モ各新聞紙ニ於テ其文ヲ抄録スルヲ差許サレタリ既ニ新聞紙ニ於テ差許サレ候上ハ出版圖書ト雖モ勿論問無之儀ト相考候

ニ付官報ヨリ抄録シテ出版スルモノハ總テ右布達ニ準シ取扱可然哉

(十七年八月廿九日)

(指令)(十七年十月二日)伺ノ通

(五) 地所

(一) 兵庫縣ヨリ潰地々券書換等ノ儀ニ付伺

十六年十一月十九日
官報第三百九十九號

本年七月太政官第三十五號ヲ以テ十年第十八號布告第三條改正相成潰地ノ儀ハ工事着手ノ月ヨリ除稅ノ等ニテ七ヶ月以上ニ涉ルヘキ工事ハ六ヶ月毎ニ其工程ヲ量リ除稅ノ區域ヲ定ムルモノトストアリ因之觀之潰地許可ノ月ヨリ地種組替當然ニ被存候得共然ルキハ工事期限内六ヶ月毎其工程ヲ量リ最初見込反別ニ變動有之ハ再ヒ以前ニ遡リ地種組替セサルヲ得ス爲メニ成功期限ノ長キハ數回地券書換(官有地ニ編入セシモノハ新ニ下與)等官民ノ手續ハ勿論實際不都合ニ付右ハ當初工事ヲ許可シ地券臺帳へ事由年月日記載地租ハ六ヶ月間着手見込ノ分(六ヶ月以内ノ工事ハ全部)收納差止置而シテ檢査ノ上工事ヲ施シタル分ニ限リ都度六ヶ月前ニ遡リ地種組替除稅シ地券ハ全部成功ノ上書換又ハ引揚等取計可然哉此段相伺候也

但十二年內務省乙第二十九號御達ニ係ル潰地處分后報告ノ義依令ハ一ノ溜池築鑿願出竣功期限數十ヶ月ニ涉ルモノハ數回(即チ六ヶ月毎地種組替ノ都度)報告ヲ要スル義ニ候得

共十二ヶ月以上ニ渉ル分ハ全反別ヲ掲ケ當初及御届置六ヶ月毎ニハ報告ヲ除キ悉習成功
濟毎季仕譯表ヲ以テ報告致シ可然哉像テ相伺置候也 (十五年九月二十日)

(指令)(十六年十一月十四日)書面但書共同之通

(二)兵庫縣ヨリ官用地々種ノ儀ニ付伺

十六年七月六日
官報第五號

管下播磨國西垂水村ヨリ淡路國津名郡岩屋浦へ海底電信線布設ニ付全線室右村浦へ被設敷
地地種組替ノ儀成規ノ通可取計旨御達相成處分後御届濟ニ有之候得共右線室敷地ノ如キハ
電信線柱并燈明臺敷地ノ性質ヲ同フシ各廳局等ノ敷地トハ所用方全ク差別アルヲ以官有地
第三種へ編入地券ヲ發スヘキモノニ無之様被存一應伺出候條至急何分ノ御指揮有之度候也

(十六年六月廿二日)

(指令)(十六年七月四日)書面伺之趣通常官廳用地ト同様官有地第二種へ編入可致事

(三)朽木縣ヨリ授産ノ爲メ官有地拂下願ノ儀ニ付伺

十六年八月十一日
官報第三十六號

家祿奉還ノ士族元卒ノ内戸主ニテ現今兵隊服役中ノ者ニ限り成規ニ準シ地所可拂下云々明
治七年第七十二號公布ノ旨モ有之候處右ハ後備軍服役中ノ如キモ同様御詮議可相成筋ニ候
哉此段相伺候也 (十六年七月十七日)

(指令)(十六年八月九日)書面伺之趣ハ明治七年第七十二號公布ノ當日常備軍ニ服役セル下

士兵卒ニ限り候儀ト心得ヘシ

(四)滋賀縣ヨリ開墾地許可以前着手ノ者處分方ノ儀ニ付伺

十七年二月廿八日
官報第七十二號

民有地ヲ開墾セントスルキハ明治七年第二百十號布告ニ據リ出願許可ヲ請フ可キ筈ノ處往
々無願コナ着手スルモノ有之夫レヲ問フ可キ法律アラサルカ爲メ取締難相立ヲ以テ右等ノ
モノハ本縣限り左ノ通取扱度候

一無願ニテ開墾着手セシ者ハ其地ノ墾否ニ不拘直チニ其開墾地目(田畑)ニ改メ近傍同地目
比準ノ地價ニ修正シ一切繰下年期ヲ與ヘサルモノトス

一無願ニテ開墾シ後發覺シタル者ハ其開墾着手セシ年ニ遡リ修正地價ニ據リ地租追徴スル
モノトス

右ノ通相定メ管下へ布達致度御差支無之候ハ御允可被下度此段相伺候也

(十六年三月十六日)

(指令)(内務大藏兩卿十七年一月廿三日)伺之趣無願開墾スル者ハ九年第六十七號公布第一條
ニ據リ十四年第七十二號公布第四條ヲ以テ處分スヘキ儀ニ付別段取締向管内布達ニ不及儀

ト可心得事

但處分濟之上第一項第二項共現地目ニ據リ着手ノ年ニ遡リ相當ノ地價ヲ査定シ徵稅スル

儀上心得

(五)新潟縣ヨリ地方税ニテ土地買上ノ儀ニ付伺

十六年九月十一日
官報第五十四號

八已一已ノ所有地ヲ地方經濟ニテ買上學校或ハ病院敷地ニナサント欲スル節ハ公用土地買上規則ニ準シ不苦候哉此段相伺候也

(指令)(十六年八月三十一日) 伺之通

(六)滋賀縣ヨリ土地買上ノ際約定証ノ儀ニ付伺

十六年九月十五日
官報第六十六號

公用土地買上規則ニ依リ民有地ヲ買上ルハ其本議賣買ノ契約ニ屬スル如シト雖モ人民一般ノ賣買トハ異ナル儀ニ付其際ニ於テハ買上ニ屬スル土地ノ所有者ヨリ買上代金ノ領收証ヲ徵メレハ乃チ本人承諾ノ証アルヲ以テ明治十三年第五十二號布告土地賣買讓渡規則第一條ニ準スル賣渡証書ハ徵スルニ及ハサル儀ト相心得可然哉 (十六年八月廿三日)

(指令)(十六年九月十二日) 伺之通

(七)岐阜縣ヨリ不用ニ屬スル地所建物賣却代金納入方ノ儀ニ付伺

十六年十一月三十日
官報第百廿八號

本年九月乙第三十八號ヲ以テ國庫下付金及地方税受入金ヲ以テ混同ノ上罪囚ノ刑罰區分十四年內務大藏省達乙第三十四號計算法ニ照據購入セシ監房常置ノ器具ヲ始メ脱具雜具

等不用物品賣拂代及看守罰俸金等納入方ノ儀御達相成候處右ニ獄舎其他地所建物ハ明文無之候得共素ヨリ統計算法ニ依リ支出シタル者ニ付若シ不用ニ屬シ賣却セタルキハ乙第三十八號御達ニ準據取扱可然ト存候此段相伺候也 (十六年十月廿九日)

(指令)(十六年十一月廿八日) 伺ノ通

(八)大坂府ヨリ身代限財產付立並地所建物賣買等奥書ノ儀ニ付伺

十七年五月十四日
官報第百六十號

第一條 負債主身代限ニ際シ他人ノ田地ヲ小作スルモノアリ元來小作米ハ其土地作徳ノ幾分ヲ以テ地主ニ納ムルノ習慣ニシテ尋常貸借トハ自カラ性質ヲ異ニスルニヨリ右身代限ヨリノ節其地ノ立毛ハ先一番ニ地主ニ納ムヘキ小作米金ヲ見積チ以テ引去リ然ル后其餘分ヲ身代限財產點數ニ付立可然哉

第二條 前條財產付立前之ヲ引去ルヘカラサルモノトスルモ負債主財產公賣金ノ内右立毛ニ對シテハ地主ニ於テ特ニ先取權ヲ有シ候哉

第三條 借地ニ建テアル建物ヲ他ヘ書入質又ハ賣渡ヲ爲サントスルニ地主ニ於テ借地料延滞チ名トシ之ガ貸地タルヲ證スルノ奥書ヲ拒ムチ得ヘキ哉

第四條 甲ヨリ乙ヘ建物ヲ書入質トシ定約期限中右地所悉因ヘ賣渡スルハ要ニ甲ヨリ乙ヘ

地所

差入タル證書へ新タニ丙ノ與書ヲ爲サシメ而シテ戶長役場ノ書入質記載帳ニ封印ヲ爲ス
 へキヤ又ハ假令丙ヤ於テ新タニ與書ヲ爲サ、ルモ最前甲ヨリ乙へ差入タル證書ハ丙ノ與
 書ナシタルト同一ノ効力ヲ有スへキ儀ニ候哉
 第五條 前條若シ丙ニ於テ新タニ與印スへキモノナル時ハ已ニ建物書入質約定期限經過ス
 際ルモ尙與書スへキ儀ニ候哉
 (十六年十二月廿六日)

(指令)(內務司法兩卿)(十七年五月十日) 書面伺ノ趣左ノ通可心得事

第一條 小作地ノ作物ハ身代限處分上之ヲ公賣スへキ時期迄ニ成熟スへキ者ユアラサレハ

差押フ可カラヌ又地主へ納ムへキ小作米金ヲ見積ヲ以テ引去ルへキモノニアラヌ

第二條 地主ハ作物ニ對シ先取權ヲ有スルモノトス

第三條 以下事實ニ就キ伺出へシ

(九)京都府ヨリ琵琶湖水ヲ京都へ疏通スル事業起功ノ儀伺

十七年七月九日 官報第三百〇八號

京都ノ地タル延曆ノ朝神寶ヲ此ニ移奠在ラセラレシヨリ以來千有餘年ノ久シキ五畿七道ノ
 膏庶トナリ

御歷代御陵墓ハ勿論御由緒深キ大社巨刹洛ノ内外ニ森列シ宏壯偉觀自ラ土地ノ韵致ヲ加へ
 神聖ノ遺俗前哲ノ舊蹟咫尺ノ間ニ歷々タリ實ニ千歲ノ活歴史ト云可シ是以內國臣民ノ此地

ヲ景慕スルコト其父母ノ國ヲ懷フガ如シ帝ニ內國臣民ノミナラス外國賓客來テ此地ヲ欣賞
 シ

夙興ノ盛觀ヲ拜シ又風俗ノ淳厚ヲ感歎スルモノ陸續踵ヲ接ス故ニ此地ノ盛衰ハ獨リ全國人
 心ノ向背ニ係ルニ止マラス外國ニ對シ國光ノ如何ニ關ス可シ是故ニ假令時勢ノ變ニ因リ皇
 居ハ東西御遷移アラセラレ候トモ此平安京ヲ永久ニ維持シ土地ノ繁盛ヲ潤色シ以テ益全國
 臣民景慕ノ心ヲ振起セシメ苟モ一タヒ此地ニ遊ヒ此勝境ヲ觀ハ肅然往事ヲ追懷シ我國ノ萬
 邦ニ卓越タル所以ヲ感悟シ國體ヲ誤ルモノナキニ至ラシムルモノ方今國家ノ一要件事件ニシ
 テ其急セニ大可カラサルハ國道ノ信シテ疑ハサル所ニ有之會テ赴任以來其維持保存ノ方ヲ
 案スルニ其策一ニシテ足ラスト雖此地元來水利ニ乏シク年々井水ノ涸渴スルモノ十ノ四
 五日用ノ飲水ニ困ムヲ冬夏概テ然リ偶々客年ノ如キ大旱魃ニ遭フ時ハ水ヲ求メ雨ヲ乞ヒ困
 頓至テサルナレ又祝融ノ災ニ罹ルカ如キニ至テハ殆ント防禦ノ手段ニ盡キ空シク延燒ヲ待
 必ハ外無之元治甲子ノ年兵火ノ時ノ如キ是其近例ナリ其他巨刹ノ灰燼ニ歸シ看々古蹟ヲ損
 シ帝都ノ美觀ヲ傷スルコト徃々之レアリ此帝都ニシテ此憂アルハ洵ニ寢食ノ安カラサル儀
 ニ有之且此地古來工業製作ヲ以テ生産ヲ立ルモ器械ヲ運轉スルノ水理ナキヲ以テ工業ノ改
 良製作ノ進歩ヲ圖ルニ至ラズ一二奮然率先工場ヲ設ケ火力ヲ假リ以テ器械ヲ運轉セシムル

モノアルモ其石炭ハ皆之ヲ神戸大坂ニ仰カサルヲ得ス此運費少ナカラサルヲ以テ到底收支相償フニ至ラス爲メニ半途其場ヲ鎖スニ至ル是レニ因テ之ヲ觀レハ水利講修ノ術尤モ緊要ニ有之然ルニ幸ヒニ接近ノ地琵琶湖ノ疏通ス可キモノアルヲ以テ豫テ新川開鑿ノ調査ニ着手シ今般其工事計畫相整ヒ乃チ府下ノ名望アル資産家五拾名ヲ撰ミ勸業諮問會ヲ開キ該工事ノ可否諮問ノ末全會ノ賛成答議ヲ得タリ因テ其旨ニヨリ上下京區長ニ命シ上下京聯合區會ヲ開キ新川開鑿舊川改修及費用支辨ノ方法議定セシメ候處亦異議ナク可決シ該費金ノ半額三十萬圓ヲ右兩區内ニ於テ負擔スルコト、相成候抑此事業ヲシテ上下兩京區ノ負擔トシ討議セシメタルハ此水利ニ據テ工業ノ機械ヲ設置シ舟楫ノ便ヲ開キ其他田畑ノ灌漑ニ火災ノ防禦ニ井水及ヒ衛生上等大ニ公益ヲ起シ前ニ所謂京都ノ繁盛ヲ潤色スルノ手段ニ有之内ハ萬民景慕ノ心ヲ興シテ以テ淳厚ノ俗ヲ保チ外ハ外賓愛敬ノ意ヲ慰メ以テ神州ノ光華ヲ耀スヘシ然ルキハ府民ノ福祉焉ヨリ大ナルハナシ則チ聯合區會モ亦此精神ヲ以テ速ニ前段ノ評決ヲナセリ實ニ此起工ノ將來京都ノ盛衰ニ係ル重大ナルヲ以テ府民ノ此舉ヲ奮進熱望スル意思ノ外ニ出テ恰モ趣向機會ノ相投スルノ狀勸業諮問會及ヒ聯合區會ノ答議評決ニ因テ明了致シ候右等ノ情狀篤ク御洞察特別ノ御詮議ヲ以テ左ノ項々宜敷速ニ御指令相成慶候一琵琶湖水ヲ京都ニ疏通スルノ土功ヲ起シ其水利ヲ上下京區ノ共用トスル事

一川床及ヒ堤防敷地并ニ付屬地等官有ニ係ル者無借地料貸渡ノ事

一全民有ニ係ルモノ買上ケノ時ハ公用土地買上規則ニ準スル事

一川床及堤防敷地ニ屬スル土地ハ國稅免除ノ事

一此工事經費豫算六拾萬圓ニシテ其半額參拾萬圓ハ前ニ陳述ノ通上下京區内ニ於テ負擔シ其半額三拾萬圓ノ内拾五萬圓ハ一昨年四月大藏卿ニ御届致シ候當府限取扱金ノ儀ハ素ヨリ勸業基立トシテ借入セシ資本運轉上等ヨリ成立セルモノナルニ付之レテ以テ補助シ尙ホ不足金拾五萬圓ハ前陳ノ通り千有餘年ノ帝都内外人民ノ景慕セル勝地ヲ永久維持保有シ大政上裨益鮮ナカラサルノ大土功ナルニヨリ特別ヲ以テ三ヶ年間ニ國庫ヨリ御補助相成度候

一此工事タル何分稀有ノ大土功ニシテ事業ノ繁雜ナル素ヨリ尋常工事ノ比ニアラス到底實地ノ經驗ニ富ミ工事ニ熟達セル者ヲ以テ擔當セシメサレハ能ハサル儀ニ付府廳内ニ特ニ該事務取扱ノ一局ヲ設テ熟達ノ者ヲ撰任シ專ラ之ニ從事セシメ御主省ノ御監督ヲ待テ萬事府廳ニ於テ擔任取扱致シ度候事

右ノ通相成候ハ、京都維持上ニ付テハ申迄モ無之其忠義ノ風俗ヲ振起スルノ功益ニ於テモ亦淺クナラサル儀ト存候就テハ主任ノ者東上爲致居候間水利計畫ノ如何ハ別冊ニ就キ御調

査御未審ノ廉ハ右主任へ御質問ノ上第一項ノ趣御特許併セテ第二項第三項以下ノ詮議相成度公益中著明ノ件ニ付別紙調書御參考ノ爲メ相添此段相伺候也 (十七年五月五日)

別冊及ヒ別紙略ス

(指令)(十七年六月廿七日) 書面伺ノ趣ハ當省土木局調製ノ別紙甲乙兩通設計書ニ據リ増費并將來修繕ニ要スル費途支辨ノ方法等取調其府聯合區會ノ議決ヲ取リ更ニ伺出ヘシ

別紙略ス

(十)東京府ヨリ市區改正ノ儀ニ付上申

十七年十二月十五日
官報第四百四十五號

惟ルニ東京市街ノ起原ハ措テ論セス昔者徳川氏覇府ヲ此地ニ開カレシヨリ戸口頓ニ増加シ識ヲ知ラス竟ニ東海ノ一大都會トハ成リタルモノナリ故ニ其區畫ノ大小及街路ノ廣狹等ニ於ケル所謂大名小路大通リ等ノ數部ヲ除クノ外ハ概チ人々ノ欲スル所ニ隨テ家屋ヲ築造セシメタルモノニシテ素ヨリ今日ノ盛大ヲ豫期シテ一定ノ部署ヲ定メタル者ニアラサルハ道幅ニ一定ノ度ナク市街ニ齊整ノ狀ヲ欠ケルヲ以テ知ルヘキナリ然ルニ當時ニ在テハ車馬ノ通行稀少ニシテ吾人ノ不便ヲ感スルコトナカリシト雖也然今西洲ノ文明東漸セシヨリ馬車ノ力車電信及鐵道馬車等盛ニ行ルハ今日ニ至リテハ從來ノ道路既ニ狹隘ニ堪エス通行ノ大々煩ハ危險ヲ極メ右往左轉輒モスレハ車馬ノ踏壓スル所トナリ又河渠ノ疏通不充分ニシ

テ貨物ノ運輸ニ不便ヲ訴フルモノ多キニ至レリ是改正ノ今日ニ止ムコト能ハサル所以ニシテ舉職者日夜憂慮心ニ措クコト能ハサル所ナリ然リト雖也改正ノ事タル至大至重ニシテ一朝一變手能ハ其ノ調査ヲ完了スヘキニ非サルヲ以テ止ムコト得ス目前ノ急施ヲ要スルモノハ其市街燒失等ノ時々裁可ヲ經テ逐次其改良ニ着手シタルモ獨リ奈シ只一局部ノ工事ニ止リ且其時々ノ詮議ニ出ルカ故ニ全体ヨリ之ヲ見ルルハ首尾相合ハス前後相整ハス實ニ姑息ノ嫌ヲ免レサルナリ苟モ撫民ヲ以テ自任シ府下永遠ノ利益ヲ圖フニハ先ツ市街全般改良ノ規模ヲ定メ而後事ノ緩急ヲ計リ至要ノ場所ヨリ着手シ漸次其歩ヲ進メ以テ遂ニハ市街全部ニ普及セシムヘキナリ是レヲ以テ卑職向キニ之ヲ府知事ニ承クルニ際ニ早已ニ此改正ノ一日モ忽諸ニ付スヘカラサルヲ悟リ直チニ屬僚ニ命シ以テ先ツ府下地勢ノ高低測量ヨリ創メ終ニ市區改正意見ヲ草セシメ而シテ今稍々其稿ヲ脱スルコトヲ得タリ蓋シ意フニ街路河渠ノ公衆ニ於ケル本來種々ノ關係ヲ有シ兵事ニ消防ニ衛生ニ及ヒ商業運輸等ニ至ルモ悉ク相牽連セサルモノナシ決シテ一局部ノ利害ノミヲ以テ判定ス可キ者ニ非ス今其部署ヲ定ムルニハ尤モ慎重ヲ加ヘスソハアル可カラサルナリ故ニ政府其改正ノ今日ニ止ムコト能ハサルノ情狀ヲ察セラレヨ幸ニ卑見ヲ裁可セラル、ニ至ラハ像メ内務陸軍工部農商務警視ノ省廳及商工會等ニ命シテ各々委員ヲ派シ卑職ト共ニ此案ニ據テ互ニ討論上下シ以テ其利弊得喪ノ係ル

地所

所未明ラカニスルコト得セシメハ是獨リ卑職カ撫民ノ責ヲ塞クコト得ルノミナラス府下永遠ノ利益果シテ之レヨリ興ル可キナリ今謹テ其意見書一圖面六表八意見書附錄一合十六種ヲ進達ス時ニ及テ熟ク廟議ヲ盡サレ速ニ裁可ヲ賜ハラント切望ニ堪ヘス謹言

(十七年十一月十四日)

追申

本文意見政府ノ裁可ヲ經テ果シテ之ヲ實施スルノ機ニ至ルルハ夥多ノ費額ヲ要スヘキハ論ヲ俟タサルナリ然而今其費金出處ヲ論セサル者ハ卑職別ニ考フル所アリ其方法如何ニ至テハ他日ヲ待テ政府ニ請フ所アラントス

(指令)(十七年十二月十七日) 書面上申ノ趣裁可相成右審査會ハ於當省開設候條此旨可相心得事

〔六〕 山林

(一)新潟縣ヨリ並木處分方ニ付伺

十六年八月十五日 官報第三十九號

去月十八日並木拂代金處分方相伺候處地方稅負擔ト協議費負擔トニ拘ハラヌ總テ本年乙第十七九號達ノ通可心得旨御指令相成就ヲハ其他ノ修繕假令地方稅ノ負擔ニ係ルト雖也其並木古搦木拂代金ハ地方稅雜收入ニ編入セス直チニ其費途ニ支辨スル儀ニ候得共其植繼費ハ地

方費土木費中ニ編入セサル儀ニ候哉將タ從前ノ通り之ヲ編入スルモノトセハ土木費中植繼費ノ二項ヲ別ニ掲ケ古搦木拂代金ヲ以テ其費ニ充ツルノ儀ニ候哉更ニ相伺候也

(十六年六月廿二日)

(指令)(十六年八月二日)伺之趣植繼費ハ土木費中ニ編入シ拂下ケ代金ハ土木費雜入ニ併算シ其内譯ハ説明書ニ掲載可致事

〔七〕 戸籍

(一)山口縣ヨリ家督相續ニ關シ裁判處分ヲ受控訴スル者戸籍届方

ノ儀ニ付伺

十七年三月廿四日 官報第二百十七號

家督相續其他戸籍ニ關スル異動ハ其都度速ニ届出ツ可キ成規ニ有之候處去ル明治十年第拾九號公布控訴上告手續第四條第五條ニ據レハ凡ソ始審裁判所ノ判決ニ服セサルモノハ裁判言渡ノ第七日ヨリ二個月間ハ何時ニテモ控訴スルコト得且此ノ場合ニ於テハ始審裁判言渡ノ執行ヲ停止セラル然ルニ此ニ家督相續ニ關シ訴訟ヲ起シ始審裁判所ノ判決ヲ得タル旨ヲ以テ立戸主ノ届ヲナスモノアラシニ戸長ニ於テ其届ニ依リ直ニ戸籍ヲ更正スルルハ其者即日ヨリ戸主ノ權ヲ有スルハ勿論ニテ財産ヲ賣却スル等モ亦戸主ノ自由ナレバ他日(始審裁判言渡ノ第七日ヨリ二ヶ月間)他ノ一方取訴者ヨリ控訴シ控訴裁判所ニ於テ原裁判ヲ破毀

ナル場合モ有之不都合ヲ生候様被相考候處有ハ如何相心得可然哉 (十七年二月六日)

(指令)内務司法兩卿(十七年三月廿一日) 伺ノ趣期限内ハ勿論控訴ヲ爲シタルキハ其終審ノ判決アル迄ハ始審直者ノ届書ノミニ依リ戸籍ヲ更正ス可カラサルモノトス

但他ノ一方ノ者ニ於テ控訴セサル旨申立ルカ若クハ裁判所ノ命令書ヲ証トシテ更正ヲ求ムルハ格別ナリトス

(二)茨城縣ヨリ養子戸主携子離縁ノ儀ニ付伺

十七年三月卅一日 官報第百二十三號

養子離縁ノ際嫡子連版候儀ハ養實兩家ノ協議ニ任セ不苦モ養子戸主タル上ハ不相成儀ニ可
有之而シテ嫡子トハ嫡長男又ハ庶長男ニ限り候儀コテ女子ハ假令獨子ト雖モ養實協議ノ上
引連離縁致シ不苦哉云々明治十三年三月二日本縣伺ニ同月廿三日付ヲ以テ書面之趣嫡男ノ
例ニ準シ取扱候儀ト可心得尤一男女子トモ不得止事情有之願出候節ハ聞届不苦事ト御指令
有之然ルニ年月日不詳(明治十四年官令新誌第二號)第一條茲ニ甲家乙家ヨリ養子致居候處
該養子一男ヲ舉クル后故アリテ離縁セントスルニ方リ甲家コテ舉ケル一男ヲ乙家ハ携帶候
儀ハ双方熟議ニ任セ不苦哉福岡縣伺ニ第一條離縁ノ養子戸主ニアラサルモノ伺之通ト御指
令有之由是觀之ハ離縁ノ養子戸主タル上ハ不相成儀ニ有之モ不得止事有之ハ聞届不苦儀ニ
候哉此段相伺候也 (十六年十二月廿日)

(指令)十七年三月廿五日 伺之通

(三)山梨縣ヨリ戸籍(年長者養子)取扱ノ儀ニ付伺

十七年五月十三日 官報第百五十九號

爰ニ三歳未滿ノ幼戸主家事擔保難相成事故等ヲ以テ壯年ノ者ヲ養子ニ貰受家督讓與致度旨
申出ツル者アリ然ルニ年長者ヲ養子シテ之ヲ子ト呼ビ又年少ノ者ヲ指シテ父ト稱スルカ如
キハ實際上甚不穩當ノ様被存候得共何等據ルヘキノ法規モ無之取扱上差支候ニ付相伺候也
(十七年三月八日)

(指令)(十七年五月八日) 伺之趣難聞届義ト心得ヘシ

但幼戸主疾病其他不得已事情ニ依リ他人ヲ以相續セシメサルキハ一家ノ浮沈ニ關スル等
ノ類ハ親族熟議ヲ以テ先代ノ養子トナシ相當ノ者ヲ貰受幼戸主ノ相續人トシテ家名ヲ繼
承セシムル義ハ苦シカラズ

(四)静岡縣ヨリ十六年乙第廿八號諸表様式ノ儀ニ付伺

十六年八月一日 官報第廿七號

一諸表調査方ハ本籍ト否トヲ問ハズ出往者ニ係ル分ハ之ヲ除キ入往者ニ係分ルハ之ヲ算入
ストアリ若シ甲地ノ者旅行等コテ乙地滞留中ニ生スル件ハ甲乙何レノ地ヘ算入調査可致
哉

一甲號出產表中人口一千以上群居ノ地ハ其土地普通稱呼ニ從ヒ某地ト記シテ一箇所ツ、揭

シトアリ若シニヶ村以上連絡シテ家屋連接人口一千以上一團ノ群居ヲナセル土地アリテ之レカ普通ノ稱呼ナキトキハ某地ノ字ニ換ヘ一欄内へ(某村某村)ト連記シテ掲載可致哉

(十六年七月三日)

(指令) (十六年七月二十日) 第一項旅行ノ者ハ甲地ニ算入スヘキ儀ト心得ヘシ第二項何ノ通

(五)大坂府ヨリ出産婚姻死亡表ノ儀ニ付伺

十六年十月十五日
官報第九十一號

本年乙第廿八號ヲ以テ出産婚姻死亡表様式御達相成候凡例中第二項ニ云々乙號ハ衛生委員ノ敷町村ヲ兼スルモノモ亦一町村毎ニ一葉ヲ製スルモノトスト有之候ニ付仮令一町村内ニ出産兒一名アルモノ一葉ヲ盡サ、ルヲ得ス然ルキハ無益ノ餘白ヲ生スルノミナラス為メニ幾分カノ手敷ヲ費シ且郵送費等ニモ關係ヲ來シ甚タ不便ノ趣申出ノ向モ有之候ニ付衛生委員一名コシテ敷町村ヲ兼スルモノハ別紙離形通り調製爲差出候モ御差支無之候平

(十六年九月廿四日)

(指令) (十六年十月十一日) 書面伺之趣調製爲致不苦候事

別紙

何國何(郡區)何(町村)出産調

明治何年何月

出産月日	生産死産ノ別	男女ノ別	公生私生ノ別
何月 何日	生 産	男	公生
何月 何日	死 産	女	私生
全何(町村)			
何月 何日	生 産	男	公生
何月 何日	死 産	女	私生
何月 何日	生産ニダ子(三ツ子)	女 一人 男 一人	公生
婚姻調及ヒ死亡調モ之ニ準ス			

(六)島根縣ヨリ出産外五表記載洩ノ分製表方ノ儀ニ付伺

十七年四月二日
官報第二百廿五號

出産結婚死亡ニ關スル月表調製進達濟之後ニ至リ他出中死亡等ニテ數月ヲ經過シ原籍ヘ届出又ハ出生ノ兒數月數年ノ后ニ於テ處分濟ノ上編籍シ或ハ町村ニ於テ調製ノ際記載洩等ノ譯ヲ以テ往々引直方申出候ニ付既ニ客月七日附乾第一三二號並本月十二日附乾第三二〇號ヲ以開申致置候然ルニ數月前ニ遡リ引直候テハ實ニ製表上際限無之儀ニ付自今右等ノ類ハ其發覺ノ月表ニ編入シ其旨欄外ヘ記載進達可然哉

(十七年三月十三日)

(指令) (十七年三月二十九日) 伺之通

(八) 衛生

衛生

十六年七月二十六日
官報第百廿二號

(一) 德島縣ヨリ鍼治及齒拔取締ノ儀ニ付伺

第一條 鍼治ハ一技ヲ以テ開業不相成旨彙ニ一二府縣伺及ヒ一昨十四年九月京都府伺へ御指令ノ趣モ有之鍼治ハ假令試験法ヲ設クルモ一技ヲ以テ新規開業不相成御趣旨ト相心得候處客年十一月同伴ニ付三重縣伺へ簡易ノ試験ヲ行ヒ營業可差旨御指令有之右ハ簡易ナル試験法ヲ設ケ將來鍼治一技ヲ以テ一般新規開業ヲ可差許御趣意ト相心得可然哉

第二條 齒拔取締ノ儀ハ鍼灸治同様鑑札ヲ附與シ新規營業ノ者ハ其履歷書ニ依リ聞届不苦候哉將タ從來ノ該營業者ハ齒科専門ノ醫師ニ編入シ將來開業ノ者ハ醫師試験規則ニ依ルヘキモノト相心得可然哉

(十六年六月廿一日)

(指令) (十六年七月廿三日) 第一條 伺之通

第二條 齒拔營業者ハ鍼灸治同様鑑札ヲ附與シ將來開業ノ者ハ未段伺之通

(二) 三重縣ヨリ醫師開業規則ノ儀ニ付伺

十六年十一月七日
官報第百九號

第三十五號布告醫師規則第一條但書開業ノ証トハ縣限リ與ヘタル鑑札モ此内ニ含蓄スル儀

(十六年十月廿九日)

(指令) (十六年十一月二日) 伺之通

(三) 德島縣ヨリ本年乙第四十二號達ヲ儀ニ付伺

十六年十一月十二日
官報第百十三號

本年乙第四十二號御達醫術開業免狀御下付ノ儀ハ去ル九年乙第五號及去ル十年乙第七十六號御達ノ前後御問ハス醫術ヲ以テ奉職セシ者ハ御下附可相成乎御指揮ヲ乞フ

(十六年十一月七日) (電報)

儀ト心得ヘシ

(四) 愛知縣ヨリ醫術試験規則ノ儀ニ付伺

十六年十一月卅日
官報第百廿八號

本年太政官第三十四號布達ニ依リ醫術試験ヲ願出ル者ノ年齢ニ制限ハ無之候哉

(十六年十一月十五日)

(指令) (十六年十一月十五日) 醫術試験ヲ願出ル者ノ年齢ハ制限ナシ

(五) 埼玉縣ヨリ醫術開業試験規則ノ儀ニ付伺

十六年十一月廿六日
官報第百廿四號

本年十月第三十四號布達醫術開業試験規則第六條ニ於テ試験科目前後二期ニ區別有之其科目中眼科産科等ヲ列記有之儀ニ付從來眼科産科等特ニ其一科ノ試験ヲ以テ専門開業許可ノ儀ハ御聞届難相成儀トハ存候へ共同則第七條ニ於テ齒科醫ノニ獨専門開業許可相成候様相見聊疑團相生シ候ニ付相伺候也

(十六年十月三十一日)

(指令) (十六年十一月十九日) 伺之越齒科醫術ニ限リ専門開業差許候儀ト可心得事

(六)山梨縣ヨリ醫師免許規則ノ儀ニ付伺

十六年十一月廿六日
官報第百廿四號

醫師免許規則第一條但書ニ此規則施行以前ニ於テ受ケタル醫師開業ノ証ハ仍ホ其効アリト
スト有之右ハ從前御省ノ試験ヲ經或ハ試験ヲ須ヒス免狀御下付ノ者ハ勿論明治九年御省乙
第五號御達ニ依リ縣限リ免許致シ候從來開業ノ醫師ヲモ總テ包括シ候儀ト相心得可然哉
前項ノ如ク從前縣限リ免許候モノモ仍ホ其効アリトスルキハ若此等ノ者其業ニ關シ犯罪若
クハ不正ノ行爲アルキハ規則第十一條ノ旨ニ準シ縣令ニ於テ適宜處分致シ可然哉

(十六年十一月二日)

(指令)(十六年十一月廿一日) 第一項伺之通 第二項當省ニ於テ處分スヘキ儀ト心得ヘシ

(七)長崎縣ヨリ醫師免許規則ノ儀ニ付伺

十六年十二月六日
官報第百三十三號

第一條 今般第三十五號布告醫師免許規則第三條第四條ニ該ル者ノ出願ニハ別途修學歷
書ハ要セサル儀ニ可有之哉

第二條 同上第五條ニヨリ假開業免狀ヲ得タル者他縣或ハ管内ト雖モ他郡區へ轉籍寄留候
場合ハ免狀返納セシムヘキ儀ニ可有之哉

但當縣管内ニシテ轉住ノ場所醫師ニ乏シキ地方ナレハ本文之限ニ無之儀ト心得可然
ホト哉

第三條 假開業免狀御授與ノ者ヨリハ規則第六條及第九條ノ手数料ハ上納コ不及儀ニ候哉
第四條 規則第十一條ニ該ル者ハ客年(九月)坤衛第五九五號御訓示ノ通り相心得可

然哉

(十六年十一月七日)

右相伺候也

(指令)(十六年十二月二日) 第一條第四條伺之通

第二條 免許區域外ニ轉居スルモノハ伺ノ通

但書ノ儀ハ其都度具申スヘシ

第三條 手数料上納セシムヘシ

(八)島根縣ヨリ醫師免許規則及醫師開業試驗規則中疑義ノ儀ニ付

伺

十六年十二月五日
官報第百三十二號

本年第三十五號布告醫師免許規則及本年第三十四號布達醫師開業試驗規則中左ノ項目疑義
ニ涉リ決兼候間至急何分ノ御指令相成度此段相伺候也

醫師免許規則ノ部

一第一條但書ニ此規則施行以前ニ於テ受ケタル醫師開業ノ証ハ仍ホ其効アリトスト有之候
處右ハ本縣限ノ履歷ニ依リ許可セシ開業免許證モ含蓄スル儀ト心得可然哉又ハ御省ヨリ

衛生

交付相成免許證而已ニ止ル儀ニ候哉

一第三條中官立及府縣立醫學校トハ客年文部省第四號達醫學校通知甲乙兩種ノ醫學校ヲ指稱スル儀ニ候哉

醫術開業規則ノ部

一第八條ノ場合ニ於テ三ヶ年以上醫學ヲ修メ居モノ前期試験ヲ及第シ更ニ後期試験ヲ受ケ度モノハ則三ヶ年以上修學セシ故ヲ以テ更ニ壹ヶ年半年ヲ經過セサルモ出願可然哉又ハ前期試験及第ノ上一ヶ年半年修學スルモノニ非レハ不相成儀ニ候哉

一内外産眼科等其機科専門開業願出度モノアルモ爾後一切不相成儀ト心得ヘシヤ

一第四條主事者ヲ派遣シ試験一切ノ事ヲ監督整理セシムヘシト有之候處右試験場ニ係ル費用ハ別ニ御省ヨリ御支辨相成候儀ニ候哉
(十六年十一月六日)

(指令)(十六年十一月二十日) 第二項 前段伺ノ通

第二項 本年當省乙第四十六號達ノ通心得ヘシ

第三項 前段伺ノ通 第四項第五項 伺之通

(九)靜岡縣ヨリ醫術免狀下付ノ儀ニ付伺

十七年三月廿四日
官報第百〇七號

今般御省乙第四號達以テ從前府縣ニ於テ下付シタル醫術開業許可ノ証ヲ所持スル者ハ更ニ

御省ニ於テ免狀御授與可相成旨御達相成候ニ付疑團之廉左ニ相伺候也

第一 醫術開業免狀ヲ請求スルハ本人ヨリ履歷書等相添出願可爲致儀ニ候哉將本應ニ於

テ氏名族籍科目等取調上申可致儀ニ候哉

第二 客年御省乙第四拾二號及四十七號達ニ依リ免狀出願之者ハ別段上申不致可然哉

第三 明治十五年御省乙第十四號達ニ依リ免狀下付セシ者ニモ今回御下付相成儀ニ候哉

(十七年一月廿五日)

(指令)(十七年三月七日) 第一條客年當省乙第五十號達ニ依リ醫師氏名簿進達ノ上當省ヨ

リ下付スル儀ト心得ヘシ

第二條 上申スヘシ 第三條 伺之通

(十)東京府伺醫術試驗規則ノ儀ニ付伺

十六年十二月廿七日
官報第百五十一號

本年太政官第三十四號布達醫術開業試驗規則第九條ニ據レハ後期試験ヲ受ケントスル者ハ其願書ニ履歷書及前期試験及第ノ証書ヲ副ヘ云々ト有之候處改正前ノ試験規則ニ據リ内科外科眼科産科等各専門ヲ試験及第シ既ニ右ノ免許狀ヲ所持シ後期試験志願ノ者ハ再ヒ前期試験ヲ要セス直チニ後期試験御許可相成候事トハ存候得共爲念此段相伺候也

(十六年十月二十七日)

(指令)(十六年十二月廿四日) 伺之通

(十一)群馬縣ヨリ醫師免許規則ノ儀ニ付伺

十六年十月廿五日
官報第九十九號

第一條 今般第三十五號布告醫師免許規則中第五條ニ依リ醫術假開業免狀ヲ得シ者アリシ地方へ他ヨリ醫師轉住スト雖ヒ三四名ノ多キニ達セサル以上ハ縱令同村内タリトモ假免狀所有ノ醫師其儘開業罷在不苦儀ニ候哉

第二條 管内醫師ニ乏シキ地方區域制限ハ豫テ本縣限相定メ置別段御省へ伺又ハ御届コハ不及儀ニ候哉 (十六年十二月十八日)

(指令)(十七年二月廿六日) 第一條第二條トモ其都度伺出ツヘシ

(十二)岩手縣ヨリ醫術免狀下付願ノ儀ニ付伺

十七年三月六日
官報第二百〇三號

客年(十月)御省乙第四拾貳號御達ニヨリ免狀下附之儀願出之者有之目今調査中ニ候處本年一月御省乙第四號御達ニヨルキハ右第四拾貳號ハ消滅セシモノ、如ク被考候然レ共御下附可相成免狀ニ區分モ可有之哉不然ハ右願人等ハ何レモ醫籍簿進達及候得ハ免狀御下附可相成者共ニ付疑儀ヲ生シ相伺候也 (十七年二月七日)

(指令)(十七年三月三日) 伺之趣客年當省乙第四拾貳號達トハ全ク別段之儀ト可心得事

(十三)山形縣ヨリ醫籍編製ノ儀ニ付伺

十七年一月卅一日
官報第百七十四號

客年十二月廿八日付第乙五十號ヲ以テ醫籍編製ノ儀御達相成候處左ノ件々疑義ヲ生シ候條 相伺候

第一 現在醫師ノ氏名トハ本管及寄留ヲ問ハス都テ一月一日管内ニ住居開業スル者ヲ指シテル儀ニ可有之哉又ハ本管ニ有籍ノ者ニ限り候哉

第二 果シテ第一項前半ノ如キモノトスルキハ他管寄留ノ者ヲ編製スルニ書式中住所ノ欄内ニ開業スル所ノ町村名ヲ記入シ本籍ノ欄内ニ本籍ノ町村名ヲ記入スルハ勿論ノ事ト相考候得共若シ本管ノ者ヲ編製スルニ當リ本籍及ヒ開業地ヲ同フスルキハ住所本籍ノ兩欄へ一々重記スル儀ニ可有之哉又ハ本籍ノ一欄へ記入スルノミコテ可然哉

第三 書式中奉職履歷ニ依ル者トハ全ク十年八月御省乙第七十六號達ニ準スルモノヲ指シテル儀ニ候哉 (十七年一月十日)

(指令)(十七年一月廿八日) 第一 第二 前段伺之通 第三 伺之通

(十四)福岡縣ヨリ開業醫取扱方ノ儀ニ付伺

十七年六月三日
官報第百七十七號

本年御省乙第四號ヲ以テ從前府縣廳ニ於テ下附シタル醫術開業証ヲ所持ノ者ハ今般御省免証授與相成旨被相達候ニ付テハ追テ右免証下附ノ上ハ縣醫師規則等改正ノ都合モ有之處左記ノ件々疑團ヲ生シ候條豫メ相伺候也

衛生

第一項 縣限り開業證ヲ下附シタル從來醫師他縣ニ轉籍寄留ノ際ハ明治十二年內務省乙第十壹號達ニ基キ添書證明致シ來ル處本年省乙第四號ニ基キ追テ開業證下與ノ上ハ他府縣轉籍寄留共甲乙府縣ニ届出ルノミニテ別段添書ニ不及即十二年同省乙第十壹號達ハ此時ニ於テ消滅候儀ト心得可然哉

第二項 明治十五年內務省乙第十四號達ニ基キ縣限り醫術開業證ヲ下附シタル醫師ハ追テ開業證下與ノ後ト雖ヒ轉籍寄留ノ際ハ府縣互ニ該達ニ基キ開業ナシタル者ナルコトヲ通報スルニ非サレハ相續權ヲ失ヒ又ハ養子ニシテ離縁ノ節其開業ヲ差止メタルノ制限ヲ履行スルニ障礙アルヲ以テ今後尙添書ヲ要スル儀ト心得可然哉

第三項 種痘術ノ儀ハ明治九年內務省甲第八號布達第壹條第二條ノ明文有之ヲ以テ縣限りノ醫術開業證ヲ所持スル者ニシテ該術ヲ爲サント欲スル者ハ總テ別ニ免許証ヲ下附シ來ル處本年內務省乙第四號ニ基キ追テ開業免許證下與ノ上ハ布達(明治九年內務省甲第八號)第一條但書ニ明文モ有之別ニ種痘術免許證下附無之則該術ヲ施行セント欲スル者ハ其旨地方廳ニ届出候儀ト心得可然哉

第四項 諸官廳(陸軍又ハ集治監或ハ鑛山局) 奉職ノ者ニシテ履歷ニ據リ醫術開業免許證ヲ得タル者ハ其身ノ職務ニ在ルコト拘ハラス開業證ニ對シテハ一般醫師ト同視スヘキ者ニ付キ地方廳ノ醫師名簿ニ登記シ其出入ニ際シ之ヲ加除スルハ當然ノコト推思候處職務上

甲ヨリ乙ニ轉スル等實ニ頻數ニシテ多クハ其届出ヲ爲サズ名簿錯雜明瞭ナラス右等ハ其身分ニ於テハ地方廳ノ管スル所ニ無之モ醫術開業證ニ對シテハ其去來等地方廳ノ制規ヲ遵守セシムル儀ニ候哉將メ別ニ其心得ヲ示達セラル、儀ニ候哉

第五項 本年內務省第四號達ニ基キ追テ開業免許證下與ノ上ハ醫師タル者ハ總テ同省ノ免許ヲ所持セシニ其種類各異ナリ則定期ノ試験ヲ經ルモノアリ履歷ニ據ルモノアリ從來モノアリ明治十五年同省乙第十四號達ニ基キ者アリ然ルコト今般同種ノ免許ヲ下付アルモノトセハ定期試験ヲ經ル者ト否ラサル者等他日錯雜混同シ醫師ヲ採撰スル等ノ事アルニ臨ミ或ハ障礙可有之依テハ追テ下附ノ免許ハ其分別明記ニ相成儀ニ候哉

(十七年二月十九日)

(指令)(十七年五月廿九日)

第一項 第二項 第五項 伺之通

第二項 今年乾衛第二〇四號ニ依リ別段添書ヲ要スルニ及ハス

第四項 一般人民ヲ治療スル者ハ前段伺ノ通

(十五)佐賀縣ヨリ醫師免許規則ノ儀ニ付伺

十七年三月廿八日
官報第二百廿一號

衛生

第三拾四號布告醫師免許規則中疑團之廉々左ニ相伺候也

第一條 規則第五條ニ醫師ニ乏シキ地ニ於テハ府知事縣令ノ具狀ニ依リ醫術開業試験ヲ經サル者ト雖モ其履歴ニヨリ假開業免狀ヲ授與スルコトアルベシト有之其履歴トハ三ケ年以テ上醫學ヲ修業シタル實蹟ヲ有シ其師若クハ他ノ開業醫師(縣限リ取締鑑札下付シタル從來開業醫師モ準之)二名以上ノ保證アルモノ等凡程度モ有之モノニ候哉

第二條 規則第八條ニ開業免狀ヲ毀損亡失シ又ハ氏名本籍ノ變換ニ由リ免狀ノ書替ヲ願フモノ云々トアリ該免狀ハ本籍縣内ニ限リ他縣轉籍等ノ者ハ必ズ書換ヲ要セシムヘク儀ニ有之候哉

第三條 規則第六條第九條ノ手数料ハ其時々或ハ一ケ月取纏ノ御省ヘ送納スヘキ哉

(十六年十二月十一日)

(指令)(十七年二月廿五日) 第一條修學年限及保證ノ制限ナシ

第二條 他府縣轉籍者ハ書換セシムヘシ

第三條 本年當省乙第十七號達ノ通心得ヘシ

(十六)宮城縣ヨリ醫術開業免狀授與ノ儀ニ付伺

十七年五月廿四日
官報第百六十九號

御省乙第四十七號ヲ以テ明治十年御省乙第七十六號達以後奉職ノ者ト雖モ該達ニ比準スヘキ

キモノハ志願ニ依リ直ニ醫術開業免狀御授與可相成旨御達相成候付テハ縣立避病院擔當醫員ノ如キハ勿論該達ニ比準スルヲ得ヘキ儀ト存候處縣立病院附屬聖梅院擔當醫員及郡區醫員ノ如キモ縣令ノ命スル處ニ於テ地方稅賦金等ヨリ俸給々與致置候儀ニモ有之且地方衛生會員中醫業ヲ以テ撰拔セラレタルモノハ俸給ハ給與不致ト雖モ同様縣令ヨリ命シ置キ候ニ就テハ是亦該達ニ比準スルヲ得候儀ト相心得可然哉 (十六年十二月廿四日)

(指令)(十七年五月廿日) 醫術開業免狀授與ノ儀伺書ニ掲載スル種類ノモノハ總テ許可ノ限リニアラス

(十七)靜岡縣ヨリ醫師ノ氏名調ノ儀ニ付伺

十七年七月二日
官報第百〇二號

客年御省乙第五十號達ヲ以テ十七年一月一日現在醫師氏名等取調可差出旨御達ニ付取調ノ上客月廿一日付テ以テ及上申候處一月一日後死亡又ハ轉居等有之右調書ニ變更有之候節ハ自今共其旨上申可致儀ニ候哉 (十七年六月九日)

(指令)(十七年六月廿五日) 書面伺之通

(十八)島根縣ヨリ衛生表戸口數取調ノ儀ニ付伺

十六年七月十四日
官報第百十二號

令般乙第二十八號御達坪數及戸口表中戸數調査方ノ儀ハ別ニ解釋等モ無之然ルニ本縣ニ於テハ從來衛生表ニ掲ケル戸數ハ現住者一戸籍ヲ以テ一戸トシ一家族中他ヘ同居又ハ別居ア

ルモノハ二戸トシ社寺明家等現住者ナキ者ハ相除キ居候所右戸口表モ同様取調可然哉且陸海軍軍人及在監中ノモノハ現在人口數中相除クヘキヤ相伺候也 (十六年六月廿二日)

(指令) 伺ノ趣左ノ通可心得事

同居者ニシテ別ニ所帯ヲ持ツ者ニ限リ別戸ト見做スヘシ陸海軍々人ニシテ在營在艦ノ者ハ現住ノ人口中へ算入セサル儀ト心得ヘシ其他伺ノ通

十六年七月十三日
官報第十六號

(十九) 岐阜縣ヨリ衛生統計實施方ニ付伺

御省乙第二十八號御達衛生統計實施方ノ儀地方衛生會ヨテ否決スルモ縣令ニ於テ必要ト見認ルルハ專行致ス見込差支ナキヤ (十六年七月十四日)

(指令) (十六年七月十八日) 伺之通

(廿) 島根縣ヨリ衛生統計表群居區域ノ儀ニ付伺

十六年七月十四日
官報第三號

御省乙第二十八號御達解釋第五項一千以下ノ宿驛港浦ノ群居地ハ凡人口等ヲ以區別スルコトヲサレハ調査難致儀ニ付人口五百以上居住スルモノヲ群居地トシ調査可然哉且一村内一部落ハ群居ヲナシ一部落ハ家屋散在セシモノ其散在地ハ群居地ニ算入セサル義ニ候哉相伺候 (十六年六月十六日)

(指令) (十六年七月二日) 人口一千以下ノ宿驛港浦等ノ群居地ハ儼メ人口ヲ以テ其區域ヲ

一定セス其地ノ現狀衛生上ニ於テ尋常ノ村落ト區別シ特ニ調査スルコトヲ必要ナリト認ル者ヲ掲載スヘシ

群居散居ノ兩部落ヲ以テ一ノ名稱ヲ有スル場所ハ合併シテ群居地トナスヘシ

(廿一) 岡山縣ヨリ衛生統計表中疑義ニ付伺

十六年七月十七日
官報第十四號

本月四日御省乙第二十八號ヲ以テ衛生統計表ノ内出產婚姻死亡表様式并調書式御達相成該解釋中第三項ニ甲號乙號共ニ其土地現在住居ノ者ニ係ル事實ノヒヲ掲クル云々ト有之然ルルハ原籍寄留ヲ問ハス總テ其土地ニ就キ調査可致義トハ了承候得共聊カ疑團ヲ生シ候ニ付左ノ件々相伺候也

第一項 茲ニ一家族中戸主ハ他管へ寄留シ家族ハ原籍ニ在リ然ルルコト戸主寄留地ニ於テ死

亡スルモ家族ノ望ニ任セ原籍地ニ埋葬スルルハ埋葬地ノ死亡數ニ算入可致乎將タ寄留

地ノ死亡數ニ算入可致乎

第二項 一時他管へ旅行中宿泊等ニテ死亡スル者ハ現在死亡地ノ數ニ算入可致乎將タ原

籍死亡數ニ算入可致乎

第三項 人口調査上旅行中ノ者ハ渾テ本籍ノ人口ニ算入可致乎 (十六年六月廿七日)

(指令) (十六年七月十四日) 第一項ハ死亡地ノ數ニ算入スヘシ

衛生

第二項第三項ハ現住地ノ數ニ算入ス可シ

(廿二)鹿兒島縣ヨリ地方衛生會委員ノ儀ニ付伺

十六年九月一日
官報第五十四號

目今責付之醫師ヲ縣會ニ於テ地方衛生會委員ニ撰舉シタルハ委員トナシ可然哉

(十六年八月廿九日)

(指令)(十六年八月卅日) 責付中醫師ヲ地方衛生會委員トナスハ聞届難シ

(廿三)廣島縣ヨリ衛生會委員増置ノ儀ニ付伺

十六年九月十七日
官報第六十七號

本縣地方衛生會委員中ハ廣島區長増加ノ儀襲ニ御允可相成候處施政上郡村ノ情況ニ依リ大ニ斟酌ヲ加フヘキモノ不勘ニ付更ニ郡長一名増置致シ度候條御允許相成度此段相伺候也

(十六年八月廿一日)

(指令)(十六年九月十三日) 書面伺之趣聞届候條郡長ヲシテ投票互撰セシムヘキ事

(廿四)三重縣ヨリ地方衛生會委員任期ノ儀ニ付伺

十六年九月廿一日
官報第七十一號

明治十二年(十二月)太政官第五拾五號御達地方衛生會規則第二條公立病院長以下任期ノ儀ハ昨十五年二月朽木縣御指令ニ照シ本官ノ任免ヲ以テ任期ト心得可然哉

二昨十四年(十二月)第六十六號ヲ以テ地方衛生會規則第二條ニ但書追加相成候ニ付同年四月申郡長三名會員ハ増加之儀伺濟ニ候處右ハ公撰委員共異リ候儀ニ付年限ヲ定メ改撰セキ

ハ方實際ノ便宜ト見認候時ハ前條同様本官ノ任免ヲ以テ任期ト致候モ御差支無之哉

(十六年九月三日)

(指令)(十六年九月十九日) 書面伺之趣左ノ通可心得事

第一項 伺之通

第二項 郡長二名任期ノ儀ハ滿二ケ年毎ニ改撰スヘシ

(廿五)富山縣ヨリ官吏准官吏衛生委員兼務ノ儀ニ付伺

十六年九月廿七日
官報第七十七號

官吏准官吏ニシテ町村衛生委員兼務爲致候テモ差支無之哉此段相伺候也

(十六年九月六日)

(指令)(十六年九月廿五日) 書面伺之趣官吏准官吏ハ衛生委員ニ撰舉ス可ラサル儀ト可

心得事

但戸長郵便取扱役等ハ不得止場合ニ於テハ撰舉セシムルコトヲ得ヘシ

(廿六)新潟縣ヨリ町村衛生委員提灯印並印章ノ儀ニ付伺

十七年三月六日
官報第二百〇三號

第一條 衛生委員ノ挑灯ハ従前徽章無之候得共傳染病流行ノ際ハ勿論平時ニアリテモ職務上夜行ノ節目標ナキハ差支ノ次第モ有之候間官吏ニ類セサル徽號ヲ當縣限り自費ヲ以

テ適宜調製セシムルモ不苦修哉

第二條 前委員職務上ニ用フル印章ハ實印ヲ相用來候得共便宜ニ依リ左ノ印影(自費調製)ヲ押用スルモ差支無之候哉 (十七年二月廿二日)

方五分

何町村始
何ヶ村受
持衛生委
員何某印

木材適宜

(指令)(十七年三月一日) 伺之通

(廿七)鹿兒島縣ヨリ衛生課事務條項ノ儀ニ付伺

十七年十一月十三日
官報第四百十四號

今般第二十五號御布達ニ據レハ十二年御省乙第五十五號御達第三項中ノ第四第五ハ消滅ス

(十七年十月十六日電報)

(指令)(十七年十一月十一日) 衛生課事務條項第三項中ノ第四第五ハ消滅セズ但警察ト合

議スヘキ儀ト心得ヘシ

(廿八)静岡縣伺検査手数料ノ儀ニ付伺

十七年十一月十八日
官報第四百十八號

今般御省甲第廿七號ヲ以テ衛生局試験所ニ於テ舉行スル試験手数料ノ儀告示相成候處左ノ
廉々疑團有之候ニ付左ニ相伺候
一 右手敷料ノ儀ハ人民ノ志願ニ依リ試験願出候者ノミ徴收相成ル儀ニ候哉

二 人民ニ於テ志願ニアラサルモ御省ノ令達ニ依リ試験ヲ乞ハサルヲ得サルモノ例之ハ明

治九年御省乙第五十四號ニ依リ製藥試験ヲ願出ル者ノ如キハ徴收不相成儀ニ候哉

三 前同様縣令ノ令達ニ依リ縣令へ願出ルモノコシテ縣令ヨリ更ニ御省へ試験ヲ依頼スル

モノ例之ハ着色料鐵泉等ノ如キハ前同様徴集不相成儀ニ候哉

四 人民ノ願出ニ無之縣令ニ於テ試験ヲ必要ト認メ試験ヲ御省へ依頼スルモノ例之ハ有害

品検査等ノ如キハ懲集不相成儀ニ候哉 (十七年十月廿八日)

(指令)(十七年十一月十三日) 第一項官民ノ別ナク徴收ス

第二項 伺之通

第三項 第四項 第壹項指令ニ依リ了知スヘシ

(廿九)宮城縣ヨリ區町村衛生委員撰舉ノ儀ニ付伺

十七年十二月十五日
官報第四百四十一號

本縣區町村衛生委員設置ノ儀ハ一戸長役場區域内ヨリ區町村會議員ヲシテ定員ノ三倍ヲ
公選セシメ其中ニ就キ郡區長之ヲ選任スヘキ儀ニ候得共實際當縣ノ者難得趣ヲ以テ官選
願出候向有之右ハ事實止ムヲ得サルモノト認ムルニ於テハ聞届不苦哉 (十七年十月廿八
日)

(指令)(十七年十二月十日)

衛生

書面伺之趣區町村人民ヨリ出願ノ節ハ聞届不苦候事

(卅)栃木縣ヨリ郡長地方衛生會委員トナルモノ旅費支給方ノ儀ニ

付伺

十八年一月三十一日
官報第四百七十三號

郡長地方衛生會委員トナリ該會へ出張ノ旅費ハ地方税ヨリ支給スヘキヤ(十八年一月廿日)
電報

(指令)(明治十八年一月廿八日) 郡長地方衛生會委員トナリ該會へ出張ノ旅費ハ官費支給ス

(卅)茨城縣ヨリ屍體解剖ノ儀ニ付伺

十六年十二月一日
官報第四百二十九號

本人ハ遺言又ハ至親ノ承諾ヲ得タル屍體ヲ醫學研究ノ爲メ所患局部ノ解剖ヲ行フキハ其醫
員並死者ノ親戚等連署爲届候ノヨリ可然哉 (十六年十月廿五日)

(指令)(十六年十一月廿七日) 伺ノ趣連署爲願出候儀ト可必得事

(卅)神奈川縣ヨリ本年乙第廿八號御達ニ係ル死亡表調製方ノ儀

付伺

十六年九月十五日
官報第六十五號

本年六月乙第廿八號ヲ以テ出產婚姻死亡表ノ儀ハ本年七月分ヨリ郡區役所ニ於テ調成爲致
候様御達相成候處右三表ノ内出產婚姻ノ二表ハ調表上取テ困難モ無之儀ト存候得共死亡表

ノ如キハ疾病ノ類別ヲ爲シ候儀ニ付洋漢ノ病名ヲ詳悉シ之レカ對照ヲ爲シ得ル程ノ技術ヲ
ル者ニ非サレバ調製ナシ難ク尤モ郡區醫等ヲ置キテ場合ニ立至ル候儀ハ其補翼ヲ得ル之ヲ
調製ナシ得ヘクトモ本縣ニ於テハ未ダ郡區醫ノ配置無之又郡區役所ニ當器ノ者ヲ置キ以テ
此一事ニシテ專任セシメ候儀ハ何分今日ノ場合ニ於テハ難行届然ルニ今之カ製表ヲ爲サシ
メテトスル如キハ甚ダ困難ヲ極ムルカ上ニ到底其實ヲ失スルノ懸念尤キ夫得ス依テハ相應
ノ準備相調候上ハ死亡表ニ限リ御達ノ様式ニ依リ從來ノ通り本廳ニ於テ調製方取計可然ヤ
此段相伺候也 (十六年八月七日)

(指令)(十六年九月十一日) 書面伺之趣聞届候事

(卅)三重縣ヨリ塵捨場處分方ニ付伺

十六年七月十二日
官報第十號

清潔法ノ儀ハ目下不可欠ニ付豫テ掃除規則等夫々設置候得共猶改良ノ廉モ有之處當縣下從
來塵捨場多クハ一定ノ場所無之ニ困リ往々差支ヲ生シ候處本年四月御省ニ第十六號御達官
有地第三種塵捨場ノ目アリ右ハ獨リ官有地ノミナラス民有地ニ及ボン其地種ノ儀ハ民有地
第二種へ編入致シ可然哉果シテ然ラハ耕宅地ヨリ變換スルヲ除ク外縣限り處分ノ上及御届
候様致度右ハ從來ノ慣行ニテ塵捨場取設候向モ有之候得共多クハ路傍川河ニ投スル向キモ
之アリ取締上困難ノ事ニ付此段相伺候也 (十六年六月二十日)

衛生 公債證書

(指令)十六年七月十日 伺之通

(卅四)岐阜縣ヨリ種痘施術免許ノ儀ニ付伺

十七年十月十一日
官報第三百八十八號

從來醫業ニシテ地方免許証所持ノ者今回御省ヨリ更ニ開業免許証御下付相成候ニ付テハ右
免許証所持ノ者ハ科目ノ何タルヲ論セズ種痘施術ノ儀別ニ出願不爲致差許不苦儀ト心得可
然哉

(十七年九月廿二日)

(指令)十七年十月六日(書面齒科整骨科ヲ除クノ外伺之通

但種痘術ヲ爲スモノハ其廳へ届出サスヘシ

(九) 公債証書

(一) 滋賀縣ヨリ記名諸公債書所有權變換ノ儀ニ付伺

十六年十二月十日
官報第三百三十六號

七月廿五日第廿一號官報伺指令欄内福井縣ヨリ諸公債証書ヲ甲ヨリ乙へ買渡ヲ委任マシ
乙者買受候節ノ記名方向伺ニ對シ伺ノ通ト御指令相成候處右ハ甲ヨリ乙へ讓賣渡狀ヲ與へ而
シ其名前切替方ヲ委任セル如キハ前段御指令ノ通リニシテ疑議無之候得共果シテ讓買受タ
ルト確認スヘキ證左ナク唯讓賣渡ノ權ヲ記シタル委任狀ノヨリ以テ乙ノ受任者へ名前切替
ヲ請フ如キハ自擅ニ其名義變換スルノ嫌ナキ能ハス斯ノ如キハ乙者讓買受タルト確認スヘ
キ證左ナキ以上ハ難聞届筋ヲシテ前段御指令ノ限り無之候哉

但會テ賣渡ノ權ヲ記シタル委任狀ヲ添へ公債証書ヲ抵當トナシタル處其返債期限ヲ過ク
ルヲ以テ證書明文ニ據リ之ヲ自己(受任者ニシテ債主ナリ)ノ名前ニ切替ヲ請フトキハ更
ニ所有本人ノ承認書等ヲ不要シテ本縣有證ト同視可然候乎
一會社又ハ數人共有ノ公債証書ヲ其記名者一分ニ讓賣渡スニハ其社員又ハ數人ノ内ニテ連
署申出候ハ、許可シ券面記名方ハ前項ノ例ニ從ヒ記載可然乎
右ハ疑議ヲ生シ候ニ付此段相伺候也
(十六年八月四日)

(指令)十六年十一月七日 伺ノ趣左ノ通り可相心得事

第壹條 申出ノ通尤モ但書ノ場合ニ在リテハ更ニ所有本人ノ承認書ヲ要スヘキ筋ト相心得ヘ

第二條 伺ノ通

(二) 福井縣ヨリ重罪ノ刑ニ處セラレタル者所有公債証書取扱方ノ

儀ニ付伺

十七年七月十二日
官報第三百一十一號

第壹條 刑法第三拾五條ニ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ別ニ宣告ヲ用キス其重刑ノ終ル迄

自ラ財産ヲ治ムルコトヲ禁スト有之右受刑者所有ノ公債証書家事ノ都合ニ依リ賣買並利

金受取方等親族協議ノ上連署之ニ戸長與印シ出願スルキハ捺印并ニ利金交付方取計可然

公債証書 旅費

第二條 前條果シテ伺ノ通ナルキハ舊法ニ據リ禁獄五年ニ處セラレシ者ハ前同様相心得可
然乎 (十七年四月廿五日)

(指令) 内務 兩省(十七年七月九日) 伺之趣左ノ通可相心得事

第壹條 ハ其受刑者ヲシテ家族又ハ親戚ノ内ニ就テ財産管理人ヲ撰定セシメ其氏名ヲ管轄
裁判所ニ届出置キ他日賣買貸借等ノコアルキハ都テ該所ノ處分ヲ仰カシムヘキモノニ
付伺ノ場合ニ在リテハ其財産管理人ヨリ裁判所ニ申出其指揮ヲ得タル上ハ檢印ヲ爲ス

但公債證書ヲ賣渡スキ證書裏面ニ別紙書式ノ通り記載セシメ其他條例ニ據リ授受ノ
手續ヲ爲スヘシ 別紙略之

〔十〕旅費

(一) 德島縣ヨリ神官旅費支給方ノ儀ニ付伺

十六年八月十七日
官報第四十一號

國幣中社等外出仕并ニ備出仕ノ者旅行日當ノ儀五等旅費支給可致候哉定則中明文無之至急
何分ノ御指揮相成度右相伺候也 (十六年七月廿六日)

(指令) 十六年七月廿六日 書面等外出仕ノ儀ハ伺ノ通

但備出仕ノ名稱ハ無之等ヲ付事實ニ就キ詳細取調可伺出

(二) 新潟縣ヨリ監視ニ付セラレタル者旅費欠乏ノ爲メ救護ニ係ル

諸費支辨方ノ儀ニ付伺

十七年四月十二日
官報第二百三十三號

監視ニ付セラレタル者刑法附則第二拾五條ノ場合ニ於テ途中發病等ノ爲メ淹滞中旅費欠乏
シ其地ノ警察署ニ救護ヲ乞フ者ハ刑法附則第三十二條ニ准據シ滞在地監獄署ノ別房ニ留置
スヘキ旨愛媛縣ヨリ司法卿ヘ伺出タル指令ニ(十六年官報第百四號)有之候處監獄署ニ遠隔
ノ警察署ヘ右等ノ救護ヲ乞フ時ニ當監獄署ヘ押送ニ關スル費用ハ本籍ヨリ退償致スヘキ者
ト存候得共赤貧ニシテ償還スルノ道無之節ハ何レノ費目ヨリ可致支辨候哉

(十七年二月一日)

(指令) 十七年四月九日 伺之趣自家親戚引取人等總テ代償スル資力無之節ハ犯人本籍ノ
地方稅救育費中ヨリ辨償セシムヘシ

〔十一〕賞與手當

(一) 岐阜縣ヨリ滿年賜金支給方ニ付伺

十六年七月廿一日
官報第百十八號

數官兼任ノ者滿年賜金ノ義ニ付疑々相伺本年四月五日付云々御訓示ノ旨モ有之候處巡查看

賞與手當

守等經濟ヲ異ニスル向ヘ轉任スル節ハ一旦打切滿年賜金ヲ給スヘキ旨客歲二月御省乙第三號御達之趣モ有之ニ付巡查ヨリ警部ニ轉シ看守ヨリ等外又ハ判任官ニ轉スルキハ官費ト地方稅ト經濟ヲ異ニスルヲ以テ其際一旦打切支給シ可然哉 (十六年六月廿六日)

(指令)(十六年七月十九日) 伺之通

(二)岩手縣ヨリ戸長賞與方ノ儀ニ付伺

十六年十二月廿四日
官報第四百十八號

昨十五年十二月番外達ヲ以奏任官以下慰勞手當金給與之儀ハ被廢サル儀哉

(十六年十二月十七日)

(指令)(十六年十二月二十日) 伺之通

(三)鳥取縣ヨリ賞與調書ノ儀ニ付伺

十七年四月十日
官報第四百三十一號

本年第貳拾貳號公達ヲ以テ客年第拾七號公達第貳條中壹圓未滿ノ者ハ褒詞ヲ以テ褒狀ニ換フルコト有ル可トノ但書追加相成候處右ニ據リ褒詞セシ者ハ本年御省乙第壹號達賞與取調書式中渾テ褒狀ヲ與フル者ノ次ニ掲記可致義候哉又ハ不及記載筋ニ候哉爲念相伺候也

(十七年三月十四日)

(指令)內務農商務兩卿(十七年四月四日) 前段伺之通

但人員及金額合計ノミナ記載スルモ不苦

〔十二〕褒章

(一)兵庫縣ヨリ褒狀ヲ授與セシ者姓名届方ノ儀ニ付伺

十六年九月七日
官報第五百十九號

本月十日御兩省乙第三十五號ヲ以テ客年中褒狀ヲ授與セシ者ノ姓名取調來ル八月三十日限可届出旨達セラレ末段出金者ニシテ褒狀ヲ授與セサル者モ同様可心得トアリ中略右末段ノ褒狀ヲ授與セサル者トハ何等ノ種類ヲ指稱候儀哉聊了解致兼候ニ付此段御指示ヲ仰キ候也 (十六年七月廿日)

(指令)(十六年九月五日) 伺之趣ハ十五年中ノ現出金者ヲ指稱候儀ニシテ該年内實際褒狀

授與ニ至ラサリシ者ヲ取調候儀ト可心得事

〔十三〕備荒儲蓄

(一)山形縣ヨリ備荒儲蓄ノ内無定期預金ニ對スル抵當品ノ儀ニ付

伺
十六年十月廿九日
官報第四百二號

備荒儲蓄定期預金ニ對スル抵當品ハ公債証書ニ限ル可キ旨十五年乙第二十五號御省御達ノ趣モ有之候處要用ノ節ハ何時ニテモ返納可致約束ヲ結ヒ全ク當分ノ無定期預金タルモ低當ハ前號御達ノ例ニ據リ公債証書ニ限ルヘキヤ又ハ相當ノ地所ニシテ預金額ニ對シ割割以上ヲ超過シタル地價金ヲ以テ充分ト見認候抵當差出候節ハ預金取行差問無之哉至急伺

社寺 神宮

五十二

分ノ御指揮相成候様致度此段相伺候也

(十六年十月九日)

(指令)(十六年十月廿六日) 伺之趣抵當品ハ公債証書ニ限ル儀ト可相心得事

[十四] 社寺

(一)神奈川縣ヨリ寺院合併跡地處分ノ儀ニ付伺

十六年七月四日
官報第三號

明治十二年御省乙第二十九號御達第六項ヲ以廢合寺院跡地ヲ例規ニ依リ處分スルコトヲ御委任相成候處茲ニ一寺院ノ故アツテ他ノ寺院へ移轉合併シ跡地ノ官有地第四種ヨリ第三種ニ變換スル如キモノモ亦該項目中ニ含蓄スルモノトシ縣限リ處分濟ノ上地種變換ノ儀併テ及御届可然哉

(十六年六月十九日)

(指令)(十六年七月二日) 伺之通

[十五] 神宮

(一)德島縣ヨリ神宮旅費支給方ニ付伺

十六年八月十七日
官報第四十一號

國弊中社等外出仕並ニ備出仕ノ者旅行日當ノ儀ハ五等旅費支給可致候哉定則中明文無之至急何分ノ御指揮相成度右相伺候也

(十六年七月十六日)

(指令)(十六年七月廿六日) 書面等外出仕ノ儀ハ伺ノ通

但備出仕ノ名稱ハ無之筈ニ付事實ニ就キ詳細取調可伺出

[十六] 警保

(一)滋賀縣ヨリ警保報告表ノ儀ニ付伺

十七年二月十五日
官報第百八十六號

第一條 四期表第一表中距里ノ欄合計ヲ掲グルニハ假令ハ甲分署ヨリ警察署へ一里アリ乙分署ヨリハ二里アルキハ合計へ三里ト掲ケ可然哉且廣袤ノ欄合計ヲ掲グルニハ警察署直轄及ヒ分署等ノ分チ合計スル時ハ實地ニ於テ大ニ差違ヲ生スルヲ以テ警察署全所轄ノ廣袤ヲ掲グル儀ニ候哉

第二條 同第十六表ノ家畜ニ(牛馬)(犬)何トアルヲ以テ見レハ牛馬ニ限リ合記シ其他ノ家畜ニ至テハ各別ニ記スル儀ニ候哉

第三條 同第十七表ヨリ十九表ニ至ル三表ハ盜難ノ戸數人員船數ノ事故ヲ掲グル表ナリ然ルコ此内ニ田野山林等ニ差置ク衣類物品等ノ人ノ看守セサルモノヲ竊取セラレタル事故ヲ記入スヘキ項目無之若シ右ノ事故アルキハ第二十表中ニノミ掲ケ置キ拾九表へハ掲グルコ不及儀ニ候哉

第四條 同第二十五表ハ現行犯ニ限リ警吏人民吏民協力等ノ種別ヲナシ准現行非現行ニハ其種別ヲ爲サ、ル様相見へ然ルニ准現行ニ至テハ治罪法ニモ明文有之ニ付人民又ハ吏民協力捕獲スルヲ往々有之是等ノ者アルモ種別スルニ及ハス候哉

警保

五十三

第五條 同第廿六表ノ告訴告發ノ項ハ賭博犯及ヒ密賣淫犯ノ如キ行政處分ニ付スル者ハ此内ヘ掲クルニ及ハサル儀ニ候哉

第六條 同第二十九表中未婚者ニシテ養子養女及ヒ私生ノ子アルモ掲クルニ及ハサル哉且既婚者ハ養子女及ヒ私生ノ子モ掲クル儀ニ候哉

第七條 年報第七表ノ營業者一人ニシテ數箇ノ營業ヲ兼テ又第八表ノ貸坐敷業ヲ兼業スルモノ、如キハ人員ノ數ヨリ見ル時ハ重複ニ涉ルト雖モ各其業ノ目ヘ分記スル儀ニ候哉

第八條 明治十六年御省乙第四十九號達但書ニ十七年一月分ニ限リトアルハ昨十六年十一月分ノ三ヶ月分ヲ合スル表ニアラシテ十七年一月分中ノ分取調進達スル儀ト存候果シテ然ラハ本年第一期即チ一二三月分ヲ合シ四月ニ進達スルニハ彙ニ進達濟ノ一月分ヲ除キ二三月ノ貳ヶ月分ヲ四月ニ進達スル儀ト心得可然哉

右ハ昨十六年十二月廿七日御省乙第四十九號御達警察四期報及ヒ年報様式中疑義ヲ生シ候付相伺候也 (十七年一月十七日)

(指令)(十七年二月十二日)

第一條 位置距離廣袤ノ欄合計ノ計算ノ限リニ非ス

第二條 伺ノ通

第三條 若シ前後兩段ノ如キ事故アルキハ該種目ヲ第十八表ヘ増記スヘシ

第四條 官報第百五十八號正誤欄内掲載之通

第五條 伺之通

第六條 前段未婚者ニシテ子アルモノハ適宜別記スヘシ後段伺之通

第七條 第八條 伺之通

(二) 廣島縣ヨリ諸博犯者報告表記載方ノ儀ニ付伺

十七年六月十日
官報第百八十三號

茲ニ賭博犯處分未濟前月ノ殘件五件人員二十五人アリ其四件人員廿八ハ處斷シテ其一件人員五人ハ逃走センコトヲ製表セルニ方リ其逃走五人ハ第三十四表賭博犯件數及人員ノ未決欄内ヘ件數人員ヲ記入スルモノナリヤ果シテ然リトセハ内一件ト人員五名ハ云々ト附記スヘキ儀ニ候哉 (十七年五月五日)

(指令)(十七年六月五日) 書面伺ノ通

(十七) 賣藥

(一) 岐阜縣ヨリ賣藥營業鑑札裏面ヘ滿期年月記載方ニ付伺

十六年七月十二日
官報第十號

賣藥營業鑑札滿期ノ儀ニ付テハ兼テ取締法モ相設ケ且其期ニ際シ夫々注意方相達候得共取

警保 賣藥

締上不都合ノ廉有之候而已ナラス夫是手敷ヲ要シ候次第ニ付自今鑑札裏面へ満期年月記載候モ不苦候哉右ハ十四年十一月大坂府へ御指令ノ趣モ有之候儀ニ付至急何分ノ御指揮有之度候也
(十六年五月廿五日)

(指令)(十六年七月十日) 伺ノ通

(二)島根縣ヨリ賣藥營業請賣ノ儀ニ付伺

十六年八月四日
官報第三十號

賣藥營業者カ免許期限ヲ過キタル時請賣者ハ期限内ト雖モ營業者稼キ續キ免許ノ報ヲ得ル内ハ該藥品ハ販賣不相成哉且ツ之ヲ販賣スルモ罰令ニ正條ナキ以上ハ其筋へ告發スルニ及ハスヤ
(十六年五月十二日)

(指令)(十六年八月三日) 賣藥請賣者處分ノ儀ハ前段伺ノ通

後段ノ取締ハ前段ニ據リ了知スヘシ

(三)新瀉縣ヨリ期限過タル鑑札ヲ以テ賣藥營業ヲ爲シタル者處分

方ニ付伺

十六年八月六日
官報第三十一號

賣藥請賣行商ノ者期限過タル鑑札ヲ以テ營業ヲ爲シタル者ハ賣藥規則第二十條第二十一條ニ於テ其罰例ヲ明記有之候得共營業者ニシテ同上ノ場合ニ於テハ準據スヘキ明文無之彼是ノ輕重不權衡ヲ免レシキル様被考候條第二十三條無鑑札營業スル者トナシ可及告發儀ト相心得可然哉此段相伺候也
(十六年五月十四日)

(指令)(十六年八月三日) 伺ノ通

(四)山口縣ヨリ異邦ノ賣藥請賣ノ儀ニ付伺

十六年八月十日
官報第三十五號

爰ニ支那人ノ製藥ニ係ル俗ニ唐人膏藥ト稱スル賣藥ヲ請賣致度願出候者有之右等モ都テ賣藥規則ニ據リ差許可然哉相伺候也
(十六年六月十八日)

(指令)(十六年八月八日) 書面伺ノ趣外國ノ賣藥ヲ請賣スル者ハ營業者ト看做シ更ニ檢査

ノ上營業鑑札下付スヘキ儀ト可心得事

(五)静岡縣ヨリ藥物製造ノ儀ニ付伺

十六年八月十四日
官報第三十八號

酒類防腐藥又ハ變酒濁下藥ト唱へ數味ノ藥品ヲ調和シ製造許可願出候者有之右ハ明治九年御省乙第五十四號達ニ照準シ御省へ進達可致儀ニ候哉
(十六年七月十四日)

(指令)(十六年八月十一日) 書面伺ノ趣其縣限リ適宜可取計フ儀ト心得ヘキ事

(六)山梨縣ヨリ丸散藥等ノ藥劑ニ效能書ヲ付セス販賣スル者ノ儀

ニ付伺

十六年八月十六日
官報第四十號

丸藥散藥等ノ藥劑ニ效能書ヲ附セス單ニ方名及ヒ用法代價ノミヲ附記シテ販賣スルモノ有之右ハ效能書ヲ附セサル以上ハ賣藥規則外ノ者ト見做サ、ルヲ得サル儀ニ可有之哉

賣藥

(十六年六月四日)

(指令)(十六年八月十四日) 書面伺ノ趣治病ノ目的ヲ以テ販賣スルモノハ總テ賣藥規則ニ

準據セシムヘキ儀ト可心得事

(七)三重縣ヨリ勸業事務上製造ノ藥用阿片ノ儀ニ付伺

十六年八月廿日 官報第四十三號

明治十一年八月第廿一號公布藥用阿片賣買并製造規則頒布相成候處縣廳又ハ郡役所等ノ勸業事務上其栽培場或ハ試驗場ノ類ノ箇所ニ於テ阿片製造ノ爲メ罌粟ヲ培養シ且藥用阿片ヲ製造セントスルキハ該規則第十二條ノ例ニ比準シ其旨ヲ詳記シ縣廳勸業事務ニ關スル分ハ御省へ御届及ヒ郡役所勸業事務ノ分縣廳ニ爲届出候ニ止リ御省ノ免許鑑札ヲ受クルニ及ハサル儀ト心得可然哉尤モ其製造ノ阿片取扱方ハ該規則第二條ニ照シ御省へ御買上相願候ハ勿論ノ事ト存候處其製造稟准ノ手續官衙勸業事務ニ屬スル分ハ該規則中明文無之ニ付如何取計可然哉 (十六年七月十二日)

(指令)(十六年八月十七日) 伺之通

但郡役所ノ分モ内務省へ届出ヘキ事

(八)岡山縣ヨリ施藥ノ儀ニ付伺

十六年八月廿日 官報第四十三號

賣藥規則ニ準シ方名製法用法功能等ヲ詳記シ而シテ無代價施與致度旨出願候者へハ鑑札附

與徵稅方等一般賣藥同様取扱可然乎將々右等ノ儀ハ不問届儀ニ候乎(十六年六月廿七日)

(指令)(十六年八月十八日)後段伺之通

(九)山形縣ヨリ賣藥營業者免許期限過鑑札書換及税金徵收ノ儀ニ

付伺

十六年九月十一日 官報第六十二號

賣藥營業者免許鑑札記載ノ月ヨリ滿五年ヲ過キ尙ホ鑑札ヲ得ント欲スル者ハ舊鑑札ヲ返納シ更ニ新鑑札ヲ願受シ可シト規則上正條ニ付免許期限ニ至リ新鑑札願受シル者ハ鑑札書換手数料ヲ徵シ引續キ營業者トシ亦期限過ル際マテ新鑑札願受ケサル者ハ管ニ取調舊鑑札返納可爲致順序ノ處若シ免許期限經過新鑑札願受ケノ者ハ營業中絶セシ儀ニ付一旦廢業届出サセタル上更ニ營業出願セシメ新規鑑札料及ヒ營業稅トモ徵收シ可然哉或ハ是等ノ者ト雖引續キ營業者ト同視シ鑑札書換手数料ノミ徵收可然哉且免許期限過ル鑑札ヲ以テ賣藥營業セシ者有之時ハ規則第二十三條ノ無鑑札營業者ニ照準スヘキヤ右相伺候也

(十五年十一月十七日)

(指令)(十六年九月八日)伺之趣左之通可心得事

前段免許期限ニ至リ引續キ營業鑑札下付候モノハ新規營業ト見做シ鑑札料營業稅共徵收可致事

賣藥

後段伺ノ通

(十)京都府ヨリ賣藥營業人其販賣ノ効能書中ニ方名姓名等記載方ノ儀ニ付伺

十六年九月十九日
官報第六十九號

第一條 賣藥營業者ニシテ免許鑑札面ノ方名ヲ上包シ又能書等ニ記入セサルモノ有之縱令ハ方名山田藥ヲ許可ナルニ其包紙ヘハ特ニ振藥トノミ記載スル類右ハ方名變換ニ係リ鑑札面ト齟齬シ調査上不都合ニ付今後ハ素ヨリ既往ノ分ト雖モ右等發顯候ハ直チニ鑑札面ト同一ノ方名ニ訂正爲致可然儀ニ候哉

第二條 甲乙營業人有之調劑ノ藥品分量主治ハ異ナルト雖モ同方名ニテ其販賣ノ包紙ニハ同シ單ニ方名ノミ記載シ別ニ其營業者ノ姓名ヲ記入無之ヨリ買得者ニ於テ甲乙識別シ難ク他日其配藥中ニ不正ノ所業發顯スルト雖モ其證跡ヲ舉クルニ困ミ取締上差支不掛候間効能書ノ表面ヘハ是亦同上必ス營業者ノ姓名ヲ詳記シ甲乙共一目瞭然タラシムル様爲致可然哉

(十六年八月廿七日)

(指令)(十六年九月十四日) 書面伺之通

(十一)福井縣ヨリ賣藥請賣及行商鑑札方數記載方ノ儀ニ付伺

十六年九月廿一日
官報第七十一號

賣藥請賣及行商鑑札方數記載方之儀ハ明治十年御省乙第三十二號及十一年乙第七十號御達ニ據リ五方迄ヲ限り記載下付致來リ候處十四年第三十二號公達ヲ以テ自今郡區吏員給料旅行及廳中諸費ノ内ヲ以テ支辨可致様相成候就テハ其方數ノ如キハ縣限り適宜記載致可然哉此段相伺候也

(十六年五月廿四日)

(指令)(十六年九月十九日) 書面伺之趣五方ニ限候儀ト可心得事

(十二)山口縣ヨリ鑛泉販賣ノ儀ニ付伺

十六年十月四日
官報第八十二號

鑛泉ヲ採酌運搬シテ病者ヲ浴セシムルハ賣藥規則外トシ可取扱旨明治十一年御省番外御達賣藥検査心得書ニ有之候ニ付テハ内服ノ販賣スルモノモ同様取扱可然被存候得共之ニ効能ヲ附シ販賣スルニ至リテハ稍異ナル所有之候様被相考候是亦同様取扱差支無之候哉或ハ賣藥規則ニ準シ可取扱儀ニ候哉何分ノ御指揮相成度候也

(十六年九月八日)

(指令)(十六年十月一日) 書面伺ノ趣ハ賣藥規則外トシ取扱候儀ト可心得事

(十三)岐阜縣ヨリ賣藥能書中六種傳染病ノ項削除ノ儀ニ付伺

十六年十月廿日
官報第九十五號

賣藥

賣藥能書五六種傳染病ノ項アルモ從來許可致シ來候處右ハ人民ニ於テ自然ニ傳染ニ罹ルモ賣藥ヲ服シ醫藥ヲ受ケスシテ該病陰蔽ノ弊ヲ釀成候モ難計取締上ニモ關係候儀ニ付自今能書中六種傳染病ノ項削除販賣爲致度此段相伺候也

(十六年十月十日)

(指令)(十六年十月十八日) 伺ノ通り

(十四)三重縣ヨリ賣藥營業鑑札及受賣行商鑑札裏面記載方ノ儀ニ

付伺

十六年十月廿五日
官報第九十九號

賣藥營業鑑札滿期書替或ハ廢方ニ際シ取締上往々不都合ノ虞モ有之就テハ十四年十一月大坂府並ニ本年五月岐阜縣伺御指令ノ趣モ有之儀ニ付當縣ニ於テモ右鑑札下附ノ際其裏面ハ滿期ノ年月ヲ朱書シ下ケ渡度且受賣行商鑑札ノ儀モ右同様記載ノ上下渡候様爲取扱度此段相伺候也

(十六年十月九日)

(指令)(十六年十月廿二日)書面伺ノ趣聞届候事

(十五)岡山縣ヨリ賣藥別戶營業者ノ儀ニ付伺

十七年四月十二日
官報第二百三十三號

爰ニ賣藥營業及ヒ請賣者支店ヲ開設シ販賣セント欲スル者ハ十年御省乙第六十五號御達ニ別戶支店等ニ於テハ其居住人ニ於テ鑑札ヲ所持スルニ非レハ云々ト有之然ル上ハ鑑札記載

方ニ於テハ本主營業人ノ名前ヘ尙別戶支店ヲ擔當スル者ノ姓名ヲモ記載可下渡儀ニ可有之哉果シテ然ラハ税金ハ本店而已ニテ可然哉

(十七年二月廿五日)

(指令)(十七年四月九日)伺ノ趣鑑札面ニハ何誰支店代理人何誰ト記シ營業稅及鑑札料共箇所毎ニ徵收スル儀ト可心得事

(十六)福井縣ヨリ藥舖醫師兼業ノ儀ニ付伺

十七年四月廿二日
官報第二百四十一號

曾テ御省免狀所持又ハ縣限許可シタル藥舖ニシテ醫學修業ノ上成規ニ據リ醫術開業出願候節試驗問題請求致候ハ、御交附可相成ハ勿論ト信認仕候而シテ試驗成績合格者ヘ開業免狀交附セラレシ上ハ右醫師從前藥舖業相兼業スルモ固ヨリ醫師試驗規則其他ニ嫌疑之明文無之限リハ別ニ妨ケ無之儀ト相心得可然哉

(十六年五月十一日)

(指令)(十七年四月十一日) 伺之通

(十七)埼玉縣ヨリ醫師兼業ノ儀ニ付伺

十七年五月二日
官報第二百五十號

醫師ニシテ藥舖兼業不相成儀ハ各縣伺御指令等ニモ相見候就テハ藥種商ト雖モ同様兼業不相成儀ニ候哉

(十七年四月十九日)

(指令)(十七年四月三十日) 伺之趣藥種商兼業不苦儀ト可心得事

(十八)山形縣ヨリ賣藥鑑札ノ儀ニ付伺

十七年四月廿五日
官報第二百四十四號

賣藥

賣藥營業者滿期繼續ヒシタルモ其請賣行商者鑑札ハ規則第八條ノ年限迄書換ヘス可然ヤ

(十七年四月十六日)

(指令)(十七年四月廿二日) 伺之通

(十九)福島縣ヨリ藥湯營業ノ儀ニ付伺

十六年九月十七日
官報第六十七號

藥湯營業免許ヲ得タルモノヨリ其調劑品ヲ買請温度及水量等都テ該營業者ノ方法ニ從ヒ藥湯營業スルモノ、如キハ賣藥請賣同様ノ手續ヲ以テ鑑札下付可然哉此段相伺候也

(十五年五月十八日)

(指令)(十六年九月十四日) 伺之通

(廿)埼玉縣ヨリ賣藥營業ノ儀ニ付伺

十六年五月十三日
官報第二百五十九號

賣藥營業者ニシテ甲地ニ住居シ乙地ニ一定之床見世ヲ設ケ日々出張製劑ヲ販賣スルモノ有之右ノ如キハ行商鑑札ヲ付與シ可然哉又ハ請賣鑑札ヲ付與可致哉 (十七年四月九日)

(指令)(十七年五月九日) 前段伺之通

(廿一)栃木縣ヨリ賣藥規則中疑儀ニ付伺

十七年五月十二日
官報第二百六十七號

賣藥規則第十三條ニ據リ免許鑑札ヲ他人ニ讓渡サントスル者及ヒ第十四條ニ據リ免許期限中其相續人ニ於テ之ヲ相續スル時又水火盜難其他紛失等ニ付免許鑑札書換出願中鑑札所持

不致ト雖ヒ期限中故營業不苦儀ト相心得可然哉

(十七年四月十八日)

(指令)(十七年五月十六日) 伺之通

(十八) 後見人

(一)滋賀縣ヨリ公債証書賣讓渡ニ付後見人權限ノ儀伺

十六年八月廿二日
官報第四十五號

本年七月十八日內務省達番外ヲ以テ後見人職務權限ノ儀即チ不動産賣買讓渡質入書入等ニ限リ其證書又ハ願書ニ親族連署ノ上ヲテハ戶長ニ於テ公證ヲ與ヘサル儀太政官ニ經伺ノ旨達相成候處記名公債證書ヲ賣讓渡等ノ節モ同様親族連署無之上ハ公債掛檢印ヲ與ヘサル様可取計哉右ハ幼者後來ノ利害ニ關シ且後見人職權上同轍ニ付此段相伺候也

(十六年七月廿六日)

(指令)(十六年八月十八日) 伺之通取計フヘキ儀ト心得ヘキ事

(十九) 勳章年金褫奪及停止

(一)福井縣ヨリ勳章年金褫奪及停止取扱手續ノ儀ニ付伺

十七年二月七日
官報第八十號

本年九月太政官第三十九號達勳章年金褫奪及ヒ停止取扱手續第一條第二項ニ所謂懲戒例トハ汎ク指稱セシモノニシテ單ニ官吏懲戒例ニ限ラヌ明治九年八月御省達乙第九拾貳號巡查

後見人 勳章年金褫奪及停止

懲罰例ノ如キモ無論該項ニ包含シタル者ニ有之候哉聊カ疑義ヲ生シ候ニ付爲念相伺候也

(十六年十一月十五日)

(指令)(十七年二月四日) 伺之通

〔廿〕監獄則

(一)滋賀縣ヨリ生活ノ道ナキ者處分方ニ付伺

十六年七月廿五日
官報第二十一號

入監ノ婦女三歳以上ノ兒ヲ携帶致候儀ハ不相成儀ニ付右等ノ者有之節ハ嘗テ御指令ノ旨ニ依リ退監セシメタル上生活ノ道ナキ者ハ恤救規則ニ照シ救助可致等ニ候得共右ニ付實際上多少差支ノ儀モ有之依テ本年二月庶甲第四十三號ヲ以テ云々伺置候次第ニ候然ルニ果シテ恤救規則ニ依リ救助取計候節ハ救助米高規則ニ制限有之則十三歳已下ノモノハ壹ケ年米七斗ノ割ニテ此代金目下當縣下滋賀郡ノ相場ヲ以テ算スルニ四圓三十四錢餘(下米壹石六圓二十二錢位)且一日ノ米高壹合九勺余此代壹錢二厘計ニ相成申候右様ノ次第ニ候ハ實際前支金額ノミニテハ多分ノ不足ヲ來シ候右様ノ場合ニ於テハ如何取計可然哉

(十六年五月廿一日)

(指令)(十六年七月廿一日) 伺之趣不足ノ費用ハ地方稅教育費ヲ以テ支辨スヘキ事

但明治十四年十月十日付伺へ同十五年四月廿二日及指令置候處該兒引取人ナキモノ及

原籍不分明ナル者ハ監獄則第三十條ニ準シテ處分スヘシ

(二)青森縣ヨリ犯罪人ノ携帶セル幼兒養育ノ儀ニ付伺

十六年七月廿五日
官報第二十一號

無籍犯罪人三歳以上ノ小兒ヲ携帶セルキ其子養育方ノ儀客歲九月十三日電報ヲ以テ相伺候處同月廿二日恤救規則ニ據リ支辨スヘキ旨御指令ノ趣モ有之候處有籍ノ者ト雖モ原籍遠地ニアルキハ無籍者ト同シク其犯人ノ令狀ヲ受ケタル地ノ戸長ニ於テ其兒ノ養育方ヲ引受ケサルヲ得サル儀ト存候果シテ然ラハ右費用ハ犯罪者ノ親族ニテ辨償シ親族貧困ニテ難償トハ原籍町村協議費ニテ支辨シ其町村ニテ償兼候節ハ其地方稅教育費ヨリ支辨スル儀ト心得可然哉

(十六年四月四日)

(指令)(十六年七月廿一日) 伺之趣其家元及親族共貧困ニシテ辨償シ能ハサルキハ本籍地方稅教育費ヲ以テ支辨スヘキ

(三)兵庫縣ヨリ犯罪人ノ携帶スル三歳以上ノ幼兒處分方ノ儀ニ付

伺
十六年七月廿五日
官報第二十一號

第一條 拘引狀拘留狀收監狀逮捕狀ヲ執行シ若クハ重罪輕罪ノ現行犯ヲ逮捕スル時ニ於テ被告人又ハ犯罪人三歳以上ノ幼兒ヲ携帶シタルキハ該兒ハ其被告人又ハ犯罪人所在地ノ戸長へ交付スルハ順序トスル哉

第二條 果シテ前條ノ如クナレハ戸長ニ於テハ被告人及ヒ犯罪人所在地即チ其原籍ナレハ該兒ハ直チニ其親戚故舊ニ引渡至當ト考量ス然ルニ若シ親戚故舊アラサル歟假令有之モ赤貧ニシテ養育ノ責ニ堪ヘサルキハ辛未六月廿日公布及六年四月廿四日第三百二十八號公布ニ據リ預リ人ヲ需ムルモ該養育米ハ糶ニ糊口ノ一端ニ止リ被服其他ノ諸費ニ充ツル能ハサルヲ以テ預リ人無之キハ養育米ノ餘ハ實費支給ヲ以テ其人ヲ需メサルヘカラス然ルキハ該費ハ官費ニ屬スヘキモノナルヤ將タ地方稅救育費ニ歸スルモノナル哉

但養育年齡ハ本文公布ノ通滿十三年ヲ限界トシ可然哉

第三條 前條被告人及犯罪人所在地其原籍ニアラサルキハ直チニ原籍戸長ヘ送致シ而シテ該送致ニ係ル諸費ハ其原籍地ノ官費又ハ地方稅ニ歸スルモノナルヤ

但無籍ナルキハ第二條ニ據テ處理ス

(十五年十月廿七日)

(指令)(十六年七月二十一日)

第一條 家元又ハ親族アルモノハ之ニ引渡スヘク其家元親族ナキ者ハ伺之通

第二條 恤救規則ニ適當スル者ハ右規則ニ依リ救助シ若シ増費ヲ要スル歟又ハ該規則ニ

適當セサル者ハ末文伺ノ通

第三條 家元又ハ親族ヲ引取人ヲ差出サシメ之レニ引渡スヘク若シ引取人難差出事

情アル歟又ハ無籍ナルキハ第二條指令ノ通取計フヘシ

(四)山梨縣ヨリ監獄事務調理ノ義ニ付伺

十六年六月廿日
官報第九十五號

一明治十四年御省乙第十六號ヲ以テ司獄官吏設置程度御定相成候儀ノ處當縣ノ如キハ小縣中ノ小ナルモノナレハ如何ニモ役囚ノ作業ニ關スル細事等ニテ全ク等外以下ノ者ヲシテ可爲取扱事務ハ臨時雇ヲ置キ給料ノ儀ハ地方稅ヨリ支辨致シ不苦候哉

一親族無之已決囚ヨリ舊借返辨ノ爲メ給與金(工錢十分ノ三)ヲ以テ債主ニ送ラント願出ルトキ又ハ同囚人ヨリ滿期放免ノ際旅費欠乏ノ囚人ヘ旅費ヲ貸與センコトヲ願出ル者往々有之右等ハ貸借兩主ノ利益モ亦同囚ノ困難ヲ救助スルハ同囚相憐ムノ情義ニ出テ但ニ改過遷善ノ行爲ニ付如斯類ハ監獄則第五十五條ニ準據シ取扱可然哉

一各警察署ニ於テ拘留ノ刑ニ處セラレタル者ノ食費仕賄及計算方ノ儀ハ一般已決人ノ食費同様可致ハ勿論ノ處隣地ノ警察署ニ至テハ一ヶ月中僅ニ一二ノ拘留人アルノミニシテ實際一般ノ成規ニ依リ仕賄ヒ難ク就テハ監獄則第六十八條及第七十條ノ制限ニ依リ米麥野菜并雜等ヲ合シ一飯五錢以下ヲ以テ仕賄候儀不苦候哉

(十六年六月八日)

(指令)(十六年十月十六日)

第一項 食糧及製作品取扱等ノ雜務ニ從事スルモノハ伺ノ通

監獄則

第二項 前段ノ場合ハ聞届不苦後段難相成

第三項 難聞届

第四項 聞届

(五)警視廳ヨリ諸裁判所内ニ設ケアル留置場營繕費用ノ儀ニ付伺

十七年三月一日
官報百九十九號

諸裁判所内ニ設ケアル留置場之儀監獄則第一條一項ニ裁判所ニ屬スルモノト有之候ニ付該場ニ屬スル營繕費用ハ司法省經費内ヨリ支出相成可然哉ノ旨同省ニ照會候處該省ニ於テ支辨スヘキ筋ニ無之趣回答有之ニ就テハ當廳ニ於テ地方稅中ヨリ支辨スヘキ儀ト相心得可然哉果シテ然レハ其敷地ニ係ル地所ハ地方稅ニ引繼可相成儀ニ有之候哉又ハ司法省ヨリ借受候儀ト相心得可然哉此段相伺候也

(十七年一月廿五日)

(指令)(十七年二月十八日)伺之趣留置場營繕費ハ地方稅ヲ以テ支辨スヘシ敷地ノ儀ハ未段

伺ノ通

(六)石川縣ヨリ雇工錢國庫費ハ收入方ノ儀ニ付伺

十六年十二月十七日
官報百四十二號

今般御省第三十八號ヲ以テ地方國庫ノ兩費ニテ購入セシ監房常置ノ器具ヲ始メ戒具雜具等不用物品賣拂代金及ヒ看守罰俸金等十五年度以降集治監ニ生セシモノハ國庫ニ警視廳及府

縣ニ生セシモノハ地方稅ニ收入スヘキ旨御達相成候處囚徒雇工錢ノ儀ハ右御達ノ限リニハ無之十四年御省乙第三十四號御達計算法ニ據リ割合兩費(國庫費ト地方費ヲ指ス以下兩費トアルハ皆ナ全シ)ニ收入スヘキ哉ニ被存別紙寫ノ通電報ヲ以テ伺御指令有之候然ル處本年十一月官報第九號ノ表大坂府ヨリ囚徒費區分方向第二條ニ御指令ノ趣勘味候處工錢并遺留品賣却代モ乙第三十八號御達ノ通處分各監(集治監並警視廳及ヒ府縣ヲ云フ)限リニ收入割合ニ及ハス儀ニ可有之哉ニ推考致シ候果シテ然ラハ疑ニ本縣ヨリ伺御指令ト支吾致シ前項乙第三十八號御達ハ雇工錢等雜收入共渾テ割合兩費ニ收入スルニ及ハス其集治監ニ生セシモノハ國庫ニ警視廳府縣ニ生セシモノハ地方費ニ收入候儀ニ可有之哉更ニ疑惑ヲ生シ候儀ニ付尙又此旨相伺候也

(十六年十一月廿二日)

(指令)(十六年十二月十二日)工錢收入ハ最前指令ノ通尤モ預置工錢ノ沒收金トナルキハ

乙第三十八號達ニ據ルヘシ

別紙同縣伺

已決囚雇工錢收入區分ハ今般乙第三十八號達ノ外ナルヤ (十六年十月九日)

(指令)(十六年十月十八日)伺之通

(七)山形縣ヨリ監獄工業ニ係ル工錢收支金算出方ノ儀ニ付伺

監獄則

七十一

十六年十二月一日
官報第百二十九號

明治十四年七月廿一日附乙第三十四號ヲ以テ御達中但書ニ臨時加給療養費埋葬費寫真費移轉費ノ如キ總囚ニ關ハラサル費額ハ其囚員限リノ平均ヲ以テ算出スヘシト有之其他ノ明文ハ無之候得共工業費ノ如キハ各種ノ區分ヲ成サスシテ各囚働ノ延人員ニ宛收支共算出候ハ穩當ナラサル様思考候間矢張各種役業限リノ人頭ニ收支共割宛算出候テ可然哉此段相伺候也

(十六年十一月八日)

(指令)(十六年十一月廿八日) 伺ノ趣役業ノ何ナルヲ問ハス定役ニ服スヘキ已決惣囚員ノ延數ニ平均算出スヘシ

但定役ニ服セサル所刑ノ囚徒ト雖モ其役ニ就カザルハ本文延數ニ算入スヘシ

(八)東京集治監ヨリ懲役終身囚有刑若クハ無期徒刑ノ宣告ヲ受タ

ル者北海道へ發遣ノ儀ニ付伺

十六年九月十七日
官報第六十七號

七月廿四日付本省乾監甲第二五五號御達ニ依リ北海道へ發遣可相成有無期徒刑男囚神奈川縣外七縣ヨリ追々當監へ押送シ來リ候中原刑懲役終身ニシテ服役中逃走シ外ニ在テ又重罪ヲ犯シ有無期徒刑ノ宣告ヲ受ケタル者有之右ハ單ニ有期若クハ無期徒刑ノ宣告ヲ受ケタル者ト異ナリ既ニ原刑懲役終身ノ處刑ニ服役中又犯罪ニ對シ有無期徒刑ノ宣告ヲ受ケタル者

ニ付今回北海道へ發遣可相成御達ノ部内ニ算入難致義ト存候得共一旦當監へ集收ノ上ハ右囚員受授ノ儀如何相心得可然哉差掛リ候義ニ付至急何分仰御指揮候也(十六年八月四日)

(指令)(十六年八月十八日)

書面伺ノ趣發遣部内ニ算入セサル儀ト可心得事

但該囚ハ其監へ拘禁スヘシ

(九)山口縣ヨリ徒刑囚海路押送費用ノ儀ニ付伺

十六年十月十日
官報第八十七號

本月七日付御達徒刑囚海路押送費用ハ沿道府縣ニ關スルカ本縣限リノ國庫費カ又看守押丁旅費ハ本縣ニ地方費ト連帶スルカ將タ國庫費ノミノ支辨カ至急御指揮ヲ乞フ

(十六年九月廿六日)

(指令)(十六年十月六日) 囚徒押送費ハ沿道府縣ニ關セス旅費共國庫費タルヘシ

(十三)三重縣ヨリ在監人隱匿物處分方之儀ニ付伺

十八年三月十九日
官報第五百十九號

監獄則第十四條ニ總テ入監人ノ携有スル財貨物件ハ悉ク點檢シテ云々(中略)則點檢ノ際隱匿セシ貨物ハ沒収スト有之候處玆ニ在監人ニシテ實印又ハ權利義務ニ關スル證書類ヲ隱匿スルモノアリ其實印ノ如キハ一己私有ノ物品ニ外ナラサルヲ以テ同條ニ照シ沒收シ可然見込ニ候得共權利義務ニ係ル證書類ハ單ニ物品トハ難見做乎ニ相考候斯ノ如キモノハ監獄則

監獄則

第九十五條第八項ニ準擬シ本人ヲ相當懲罰スルニ止メ該證書類ハ所持品中ニ領置シ放免ノ節還付シ可然乎 (十八年二月廿五日)

(指令)(十八年三月廿一日) 書面伺之趣證書類ハ勿論實印モ沒収セサル儀ト可心得事

(十一)空知集治監ヨリ拘禁囚徒取扱方ノ儀ニ付伺 十六年九月廿九日 官報第七十八號

藝キニ懲役終身ノ刑ニ處セラレ服役中逃走ノ末更ニ無期徒刑ニ處セラレ候モノ本刑ヲ懲役終身ト爲シ囚藉面ニハ無期徒刑ト記載セヌンテ可然哉果シテ然ラハ監獄則第百〇九條ニ依リ處分セサルヤ差掛リ取扱上疑義ヲ生シ候ニ付此段相伺候也 (十六年八月二十日)

(指令)(十六年九月廿七日)

書面伺之趣監獄則第百九條ニ據リ處分シ囚藉面記載方ハ懲役終身及ヒ無期徒刑ヲ併配ス

ヘキ儀ト可心得事

(十二)茨城縣ヨリ監獄費取扱方ノ儀ニ付伺 十六年八月十六日 官報第四十號

明治十四年乙第三十四號ヲ以テ已決囚ニ係ル經費區分方御達ニ付已決囚ニ係ル諸費ハ總テ一ヶ月間混一支賄置而シテ(本支)署總囚延人員ニ分割シ國庫地方税ノ兩費ニ精算致來候得共實際取扱ノ上錯雜尠カラズ隨テ精算ニ延滞ヲ來シ不便候間輕罪囚ヲ使役スル一支署費ノ如キ區界判明ニシテ兩費(國庫金地方税金)ニ連帶セサルモノ、如キハ一ヶ月間混一支賄置

不要其時々該囚員限リ精算相立可然哉

(十六年七月十七日)

(指令)(十六年八月十八日) 書面伺之趣從前ノ通可取計事

(十三)新潟縣ヨリ已決囚ニ係ル經費區分ノ儀ニ付伺 十六年八月廿一日 官報第四十四號

一已決囚ニ係ル經費區分ノ儀十四年御省乙第三十四號御達中懲役人トアルハ禁獄人モ合著候哉

一同條但書臨時加給以下五費目ノ如キ總囚ニ關ラサル費項其囚員限リ平均ヲ以テ算出云々トアリ假令ハ一箇月中兩度移轉有之甲ハ刑期終身ノ者ニテ乙ハ府縣獄ニ入ルヘキ囚徒ニシテ自カラ入費ノ區分判然タルヲ以テ其都度官費或ハ地方費ト直チニ本拂ニ相立可然哉又ハ一箇月中ニハ官費地方費ノ區域ヲ不同同一ニ支拂置月末ニ至リ其囚員限リノ平均ニ算出可致儀ニ候哉

一獄署諸費ノ部刑具諸費ノ如キモ刑期終身ノ者及國事犯五年以上ノ者ヘモ分頭割ヲ以テ算出可致儀ニ候哉

一囚人食費ノ如キ(飯米菜代浴湯費雜費)從前當縣ニテハ已未決混淆仕賄置月末ニ至リ已未決延人員ヲ以テ各費用ヲ算出致シ來リ候得共右ハ已未決兩囚ノ費用ト雖モ已決囚ノヨニ割合候儀ニ候哉又ハ已決囚ニ係ル費用而已同囚延人員ニ算出候儀ニ候哉(十六年七月十三日)

(指令)十六年八月十八日

第一條 已決囚ニ係ル費用ハ都テ含蓄ス

第二條 後段伺之通

但集治監へ押送ノ費用ハ單ニ支拂フヘシ

第三條 刑具費ハ集治監ニ入ルヘキ囚徒ニ關係之レナシ

第四條 已決囚ニ係ル費用ノミ同囚延人員ヲ以テ算出スヘシ

(十四)埼玉縣ヨリ監獄費取扱方ノ儀ニ付伺

十六年九月廿二日
官報第七十二號

監獄費兩費區分其他取扱上疑義ノ件左ニ相伺候

第一條 明治十四年乙第三十四號ヲ以テ御達相成タル監獄費國庫金ト地方税金ト區分計算方ノ儀ハ一監獄内ニ集治監ト府縣獄トニ入ルヘキ囚徒混淆シテ費用區分判然セザル者ヲ指シタル者ニシテ假令ハ一縣内ニ府縣獄ニ入ル可キ囚徒ノミ使役スル支署アリテ自ラ費用區分判然ナル者特ニ本署集治監ト府縣獄トニ入ルヘキ囚徒アル者ノ經費ト混一配算セス直ニ地方税ノ支辨ニ取扱ヒ可然哉

第二條 果シテ前條ノ如シナルモ茲ニ一支署ヨリ常ニ府縣獄ニ入ル可キ囚徒ノミヲ使役スルモ費用判然區分ナク看守俸給及ヒ被服并屬具廳中需用品囚徒ノ被服雜具ノ類本署ニ於

テ一同購求シ囚員ノ増減ニ應ジ交付又ハ返還シ及ヒ本署ヨリ移轉セシムル囚徒ニ附着スル衣服物品等アリテ該支署ニ屬スル經費タルヲ區分スルニハ錯雜ニシテ判別ニ手數ヲ要スルノミナラス細密區分難相立實際都テ不便ニ有之如斯ハ其支應ニ於テ支出スル囚徒食費ノ如キモ本署ノ經費ト混一シテ計算取扱ヒ可然哉

第三條 前條ニ反シ費用分界アル支署本署ニ各集治監ト府縣獄トニ入ル可キ囚徒アルモ費用區分方一監獄毎ニ延囚員ヲ以テ計算ス可キ乎將テ本署ニ混一シテ兩費(國庫金ト地方税金)ト區分可相立乎

第四條 乙第三拾四號御達但書囚員限リヲ以テ計算スヘキ移轉費中假令ハ他ノ府縣ヨリ各地集治監へ押送スル囚人管内遞傳中諸費ハ其都度區分判明ナルヲ以テ其時々本拂トシ本支署ノ間ニ彼是移轉スル諸費實際區界難相立モノハ一箇月間混一仕賄置キ該囚員限リノ平均ヲ以テ計算相立可然哉

第五條 延人員ヲ算出スルニ茲ニ二法アリ一ハ飯料ノ如キモノヲ割賦法ニシテ夕ニ入監シ朝ニ出監等極メテ多シ依リテ一日ノ飯數即チ三飯ヲ以テ一人トシテ延人員ヲ積算ス二ハ獄署費其他ノモノヲ割賦法ニシテ夕ニ入監スルモ朝ニ出監スルモ皆一人トス尤モ朝ニ未決囚夕ニ已決囚ニナルモノ及ヒ本支署移轉發着同日ナルモノ前例ニ依ラハ重複スルヲ以

監獄則

ヲ出ノ方ヲ扣除シ入ノ方ヲ増加シ延人員ヲ算出ス如斯延人員ノ積算ニ二例ヲ設ケ國庫費ト地方費ト配算取計可然哉

第六條 囚徒飯米炊所已未決囚トモ一所ニシテ米價ヲ除ク外費用區別難相成然レハ獨リ米價ヲ判知スルモ他ノ費用區分ナシ難キ上ハ都テ一ヶ月間混併仕賄置キ而囚延人員ヲ以テ計算區分シ可然哉

第七條 一構内ニ未決已決監アル獄舎ニシテ其區域判別シ難キ箇所(獄署及周圍兩監經界ノ増壁又ハ物置小屋ノ類)ノ建築修繕ハ渾テ未決囚員ヲ併シ國庫費地方費ノ區分取扱ヒ可然哉

第八條 監獄費區分方每一ヶ月混一仕賄置モ其月ノ延囚員ニ割合算出ハ勿論コ候處假令ハ甲月ニ購買シタル品物ノ内半額ハ乙月ニ至リ仕用シ或ハ甲月ニ費消シタル品價ヲ乙月ニ下付スル等月々有之右現品支消シタル月ノ延囚員ヲ以テ割賦スヘキモノトスレハ手數ヲ煩スノミナラス獄署ノ用紙薪炭油附木等ノ類ニ至リテハ實際差支行ハレ難キ次第コ付右囚徒一身上ニ係ル費途食糧被服費等ノ類ヲ除クノ外都テ代價仕拂タル月ノ勘定ニ編入即チ其月ノ延囚員ニ割合可然哉

第九條 監獄則ニ在監人一人壹日菜代金壹錢五厘以下トアルニ依リ精々節減ヲ加ヘ定額ニ

超過セサル様注意仕賄フモ殊ニ雜費ハ外役囚多數ナルヨリ雨天ニハ鞋ノヨテモ一人二三足ヲ要スルキト有之諸費難仕賄甲月ノ超過ハ乙月ノ殘餘ヲ以テ補充シ來リ候得共若シ年度決算ノ際定額ニ超過セシキハ不得止ニ付已決囚諸費ノ内菜代其他ノ有餘ヲ以テ支辨不苦哉

第十條 備工錢收入區分方ノ儀ハ明文無之ニヨリ實際集治監ニ入ル可キ囚徒ノ收入ハ國庫費ニ差繼キ府縣獄ニ入ル可キ囚徒收入ハ地方稅雜收入ニ取扱ヒ來リ候ヘハ不用品ノ賣却代及ヒ罰俸沒收入金等ハ渾テ地方稅ノ雜收トシ可然哉

第十一條 徒刑ノ女囚無之時ハ女監取締リノ給料ハ國庫ヘ配算セサル儀ニ可有之哉

(十六年六月廿六日)

(指令)(十六年九月十九日)

第一條 本支署費用區分ニ及ハス

第二條 第三條 前條指令ニ據ルヘシ

第四條 伺之通

第五條 一日中出入アルモ各一人ト爲スヘシ

但未決囚ヨリ已決囚トナルモノ及本支署移轉スルモノ、如キ一日中相跨ルモノ其當

監獄則

日ハ出ノ方ヲ扣除シ入ノ方ヲ増加スヘシ
第六條 區分シ難キ費用ノヨ混併シ先ツ未決囚ニ係ル分チ省キ其餘已決總囚員ヲ以テ算出區分スヘシ

第七條 前條指令ニ據ルヘシ

第八條 實際支消シタル月ノ囚員ヲ以テ算出スヘシ

第九條 定額ニ超過スヘカラサル儀ト心得ヘシ

第十條 不用物品賣却代等收入區分ノ儀ハ追テ何分ノ儀達スヘシ

(十五)大坂府ヨリ監獄費中國庫費地方費區分方ノ儀ニ付伺

十六年十一月七日
官報第百〇九號

第一條 明治十四年內、藏、兩省乙第三十四號御達第一項中豫算ヲ以テ受入ル監獄費中國庫金ト地方税金トハ混一シテ諸費仕附置キ每一ケ月ニ囚員ノ延數ニ照シ云々ト有之右ハ當府公私賣淫規則ヲ犯シ苦使ニ處シタル者及懲治者ノ如キモ囚員中ニ差加ヘ一囚ノ平均費額ヲ算出スヘキ儀ニ可有之哉將タ右等ノ者ハ差除キ其他ノ囚徒ノ延數ニ照シ國庫費ト地方費トヲ區分スヘキ儀ト相心得可然哉

第二條 監獄費ノ儀ハ集治權ニ入ルヘキ囚徒ト府縣獄ニ入ルヘキ囚徒トニ因リ國庫費ト地方費トヲ區分スヘキニ付テハ其監獄ニ屬スル雜入モ亦國庫金ト地方稅トニ割合收入スヘキ效果シテ然ラハ雜收入ノ內看守押丁ノ罰俸及ヒ不用品賣却代等ハ每一ケ月總囚員ニ照シ一囚ニ當ル金額ヲ得而シテ其一囚ニ當ル金額ヲ乘率トシ之ヲ刑期終有之者及ヒ國事犯期五年以上ノ者ノ延人員ニ乘シタル金額ヲ國庫金ヘ其他ノ囚徒ノ延人員ニ乘シタル金額ヲ地方稅ヘ收入シ傭工錢及遺留品賣却代其沒收金ノ額ハ刑期終身ノ者及ヒ國事犯期五年以上ノ者ニ係ル現收額ヲ以テ國庫金ヘ其他ノ囚徒ニ係ル現收額ヲ以テ地方稅ヘ直チニ收メ之ヘキ義ニ可有之哉將タ雜收入ハ何等ノ種類チ分タス總テ明治十四年內、藏、兩省乙第三十四號御達第一項ノ例ニ準據シ國庫金ト地方稅ト收入ノ區分ヲ爲ス可キ儀ト相心得可然哉
(十五年十一月廿四日)

(指令)(十六年十一月二日)

第一條 後段例之通

第二條 今般當省乙第三十八號達ノ通可取計工錢其他ノ沒收金モ全樣處分スヘシ

(十六)和歌山縣ヨリ監獄費國地兩費配算方ノ儀ニ付伺

十六年十一月廿八日
官報第百廿六號

監獄費國地兩費ニ算出方ノ儀ハ御省十四年乙第三十四號及乙第五十三號御達ニ基クヘキニ付該費ノ支出ニ係ルモノハ則チ國地兩費ノ預算金額(假令ハ國庫費百圓ト地方費四百圓ト

監獄則

都合五百圓ヲ以テ建築ニ着手スルノ類)ヲ目的ト致居候處今般集治監へ入ルヘキ囚徒ノ内七十二名ハ宮城集治監へ押送スヘキ御達ニ從ヒ右押送濟ノ上ハ殘囚僅カ四名ニ有之然ルモハ前條兩費支出ノ目的ヲ以テ既ニ着手候事物ニシテ該費ノ内既ニ若干金ヲ支拂セシモ(看守押丁及囚徒ノ被服臥具ヲ新調スル爲メ其素品ヲ購買シタルモ未タ調整了ラサルモノ或ハ建築用材ヲ購求シ目下建築中ニ係ルモノ、類)其事物猶半途ニシテ未タ決算ニ至ラサルモノハ在テハ忽チ配算ノ目的ヲ失スヘク去述之ヲ悉皆地方費ノ負擔ニ歸セシメントスルモ稍賤賤上其宜ヲ得サル姿ニ有之處如斯ハ當初ノ目的ニ因循シ其已ニ購買シ又購買ノ約束ヲ以テ今更確約シ難キ者ニ限リテハ假令之ヲ現用セサルモ此際決算シテ國地兩費ニ配算シテ可然哉

(十六年十月二十二日)

(指令)(十六年十一月二十二日) 伺之趣ハ實際使用シタル月ノ現囚員ヲ以テ算出スヘキ事但建築費ハ囚徒集治監へ押送ノ日迄ヲ限リ事業落成ノ上總延人員ニ算入スヘシ

(十七)鹿兒島縣ヨリ在府縣獄囚徒取扱方并地方稅豫算ノ儀ニ付伺

十八年四月六日
官報第五百廿五號

本年六月御省乙第二十九號ヲ以テ在府縣獄囚徒費取扱方ノ儀御達相成候處實際ノ取扱上ニ於テ疑義ヲ生シ候件々左ニ

第一條 本年六月廿四日警視廳伺官報第三百四號集治監ニ入ルヘキ囚徒ニ對スル費用ハ總テ地方費中ニ混一ニ仕拂置キ月々其現人員ニ應シ一囚一日金二十錢ノ割合ヲ以テ國庫ヨリ支出シタル金額ヲ總支出額混一ノ支出高ニ應シ各費目ニ割合地方費ノ方へ戻入候テ可然哉又云々云云ノ項ニ對シ前段伺之ト御指令有之右各費目トハ監獄費中未決囚諸費ヲ除キ俸給雜給應費已決囚諸費及ヒ監獄建築修繕費ノ總金額ニ割合地方費ノ方へ戻入候儀ト相心得可然哉

第二條 本年七月三日岐阜縣伺官報第三百八號第一條末文地方稅豫算精算共警察諸國庫下渡金ニ準シテ調理シ可然哉ト云フノ項ニ對シ地方稅豫算議案及ヒ精算報告書ハ國庫金ヲ扣除整理スヘシト御指令有之右豫算議案ヲ調理スルニ當リ各費目前條ノ各目ニ就キ扣除スヘキ國庫支出ノ員額ハ在府縣獄囚徒費ノ豫算高ヲ以テ各費目上ノ豫算惣額ニ應シ算出致候儀ト相心得可然哉

(十七年十一月十二日)

(指令)(十八年四月一日) 書面伺之通

(十八)岐阜縣ヨリ府縣獄囚徒費取扱方ノ儀ニ付伺十七年十月七日
官報第三百八十四號

第一條 集治監ニ入ルヘキ囚徒ニシテ府縣獄ニ在ル者費用交付方今般內務省乙第貳拾九號ヲ以テ御改定相成候ニ付テハ諸囚徒費用ハ他ノ囚徒費ト混同支辨シ御交付ノ金員ハ地方

監獄則

税監獄費及監獄建築修繕費ハ總金額ニ割合各費ニ對スル額ヲ定メ地方税豫算精算共警察費國庫下渡金ニ準シテ調理シ可然哉

第二條 備工錢ハ御交付ノ金員へ可差繼哉又ハ地方税雜收入ニ取計可然哉

第三條 豫算調製方ノ儀ハ前々年度中宣告濟云々トアレ共其以前ヨリ越シ來ル人員アルハ是亦算入スル儀ト相心得可然哉

第四條 押送中ノ費用ハ總テ實費ヲ以テ別ニ御下渡可相成儀ト心得可然哉

第五條 府縣獄ニ入ル可キ囚徒ニシテ集治監ニ在ルモノ、費用モ乙第二十九號御達ニ準スル儀ト相心得可然哉

有相伺候也

(十七年七月三日)

(指令)

第一條 集治監ニ入ル可キ現囚員ニ應ニ國庫ヨリ支出ノ金額ヲ地方税ト併セ支辨シ地方税豫算議案及精算報告書國庫金ヲ扣除整理スヘシ

第二條 地方税へ收入ス可シ

第三條 前々年度中宣告濟ノ人員ニ限ル

第四條 押送費ハ豫算内ヲ以テ支辨ス可シ

但集治監へ押送ノ外移送ニ係ル者ハ日額金貳拾錢ノ内ニ包含ス

第五條 實際ノ場合ニ於テ伺出ツ可シ

(十九)群馬縣ヨリ監獄費取扱方ノ儀ニ付伺

十六年九月十一日
官報第六十二號

監獄費國庫地方税ト區分方ノ儀ニ付テハ明治十四年御省乙第三十四號御達ニ依リ諸費ヲ混一ニ仕賄延囚員ニ割合候處國庫囚徒ノ在監セサル支署外役所等ノ費用モ混一ニ仕賄候テハ計算上ニ錯雜不埒且未決監ノ支署ニシテ僅カ輕禁錮拘留ノ刑ニ處セラレシ者アルカ爲メニ其費用ヲ(獄署諸費ヲ云)運帶ノ支辨ニ混入スルハ少シシ妥當ナラサル様思考候ニ付右支署外役所等全ク國庫囚徒ノ在監セサル處ノ費用ハ地方費ヲ以テ仕拂國庫囚徒ノ在監スル監署ノ費用ノニ國庫地方税ノ運帶ニ取扱不苦候哉

(十六年八月八日)

(指令)(十六年九月七日) 書面伺ノ趣本支署ヲ問ハス已決囚ニ係ル費用ハ總テ混一可仕賄

事

(廿)群馬縣ヨリ在府縣獄囚徒費取扱方疑儀ニ付伺

十七年八月廿日
官報三百四十四號

第一條 集治監ニ入ルヘキ囚徒費用トシテ一囚一日ニ付金ニ拾錢ツ、御下附相成候金額ハ悉皆仕拂ヒ總高ハ差繼可然哉

第二條 同囚徒工錢ハ従前ノ通國庫へ收入ノ儀ト心得可然哉

監獄則

第三條 押送費ハ一囚一日金貳拾錢ノ外現費御下相成候儀ト心得可然哉

第四條 上告期限即チ宣告済ヨリ三日間及上告中ノ諸費ハ渾テ未決囚諸費ヨリ支拂ノ儀ト心得可然哉此段相伺候也
(十七年六月廿五日)

(指令) 明治十七年八月十六日

第一條 集治監ニ入ルヘキ現囚員ニ應シ國庫ヨリ支出ノ金額ヲ地方稅ト併セ支辨スヘシ

第二條 地方稅ヘ收入スヘシ

第三條 押送費ノ豫内ヲ以テ支辨スヘシ

但集治監ヘ押送ノ外移送ニ係ルモノハ日額二十錢ノ内ニ包含ス

第四條 上告セサルモノハ裁判宣告ノ日ヨリ上告ニ係ルモノハ刑期ニ算入スヘキ日ヨリ國庫支辨トスヘシ

(廿一) 警視廳ヨリ在府縣獄囚徒費其他監獄費取扱方ノ儀ニ付伺

十七年八月十六日
官報第三百四十五號

今般乙第二十九號ヲ以テ在府縣獄囚徒費取扱方ノ儀御達相成候處實際ノ取扱上ニ於テ集治監ニ入ルヘキ囚徒ニ對スル費用ハ總テ地方費中ハ混一ニ仕拂置月々其現人員ニ應シ一囚一日金貳拾錢ノ割合ヲ以テ國庫ヨリ支出シタル金額ヲ總支出額(混一ノ支出高)ニ應シ各費目

ニ割合地方費ノ方ヘ戻入レ候テ可然哉又ハ國庫ヨリ支出ノ金額ハ地方稅雜收入中ヘ編入候テ可然哉且陸軍監獄ヨリ當廳所轄監獄ヘ送致相成候囚徒ニ屬スル費用モ凡テ同様ノ取扱ト相心得可然哉此段相伺候也

追テ本文費用一囚一日金貳拾錢ノ額ヲ以テ仕拂候上ハ傭工錢其他ノ收入金ハ悉皆地方稅雜收入ヘ編入候儀ト見込候也
(十七年八月十六日)

(指令) 明治十七年八月十六日

一 國庫支出金取扱方ハ陸軍處刑囚ニ係ル分共前段伺之通

一 追書ノ趣伺之通

(廿二) 德島縣ヨリ在府縣獄囚徒費取扱方ノ儀ニ付伺

十七年十月十四日
官報第三百九十號

本年六月御省乙第二拾九號同七月乙第三拾號ヲ以テ在府縣獄囚徒費取扱方及囚徒假監ヘ送致方御達相成候ニ付テハ疑義ノ件左ニ相伺候也

一 囚徒在監諸費トシテ一囚一日金貳拾錢御下付相成候金額ハ裁判宣告ノ日ヨリ國庫費ノ仕拂ニ相立可然ヤ

一 集治監ヘ入ルヘキ囚徒裁判確定ノ上ハ直ニ假留監ヘ押送可致就テハ該囚徒途中衣服ノ儀都テ獄衣著用爲致其費用ハ押送費ノ仕拂ニ相立可然哉
(十七年九月六日)

監獄則

(指令)(十七年九月二十日)

第一條 刑罰ニ算入スヘキ日ヨリ國庫支辨トスヘシ
第二條 伺之通

(廿三)警視廳ヨリ在府縣獄ヨリ支出ノ金額地方監獄費等へ戻入ノ

儀ニ付伺 十七年四月七日
官報第四百〇九號

在府縣獄囚徒費ヨリ支出ノ金額ヲ地方監獄費へ戻入方ノ儀ハ會テ伺定ノ趣モ有之候處尙熟考候ニ總支出額ニ應シ戻入候ハ少シク不穩當ニモ有之候ニ付一囚一日金貳拾錢ノ割合ヲ以テ國庫ヨリ支出ノ金額ハ監獄費總支出高ノ内未決囚諸費ヲ除去シ而シテ當廳ノ如キハ監獄分署ヲ鍛冶橋市ヶ谷石川島ノ三箇所ニ分離相成居候付集治監ニ入ルヘキ囚徒ノ現ニ入監セシ分署限リノ費額ニ應シ各費目ニ割合地方費ノ方へ戻入候様致シ度然ル時ハ實際取扱上至便ノ儀ト思考候ニ付此段及上申候也
(十七年十月十日)

(指令)(十七年十一月一日) 伺之通

(廿四)福岡縣ヨリ監獄經理半年報第十六號ノ儀ニ付伺

十七年二月廿八日
官報第百九十七號

客年十二月御省乙第四拾八號ヲ以テ御達相成候監獄經理半年報第十六號ニ自活スルニ足

ル以上ノ工技アルモノト有之右ハ監内外ヲ問ハス普通自活スルニ足ル以上ノ工技即チ大工桶工等ノ如キ諸職工ニシテ在監中衣食費ヲ償フモノヲ指シタルモノニシテ礦夫土方米搗等ノ如キ諸勞作ニ至テハ假令在監中衣食費ヲ償フモノト雖モ自活工技ノ部分ニハ組込難キ儀ニ候哉果シテ然ラハ右等ノ諸勞作ハ總テ無工技トシ取調可然哉(十七年二月四日)
(指令)(十七年二月廿二日) 伺之趣諸勞作ト雖モ衣食費ヲ償フニ足ルモノハ自活スルニ足ル以上ノ工技アル者ノ界區ニ併記スル儀ト可心得事

(廿五)京都府監獄署ヨリ内務省へ問合

十七年四月四日
官報第百廿六號

問 監獄經理半年報第四表本期ノ入欄内轉入トハ管内外ヲ論セス未決者又ハ已決囚甲監ヨリ乙監ニ移轉スルモノヲ云ヒ再入トハ責付保釋又ハ逃走者等ノ歸監セシモノヲ云フ儀ニ候哉

答 御見解之通

問 同第四第八表本期ノ出欄内轉出及ヒ押送者トアリ此轉出ト押送ノ區別ハ如何ノモノニ候哉

答 轉出トハ管内本支署ノ間ニ轉移スルモノヲ指シ押送ハ他府縣及集治監等へ押送スル者ヲ指ス

監獄則

問 未決者ノ内幼年又ハ瘡痍等ニテ不論罪ニ依リ懲治場ニ入ル者ノ如キハ第四表中本期ノ出ノ欄内放還者ノ區ニ記シ可然哉

答 御見解之通

問 舊刑ノモノニシテ刑限内收購等ニテ出監スルモノハ第八表中本期ノ出欄内満期放免ノ區ニ記入シ可然哉

答 更ニ收購放免ノ目ヲ設ケテ記スヘキモノトス

問 同第九表生國別ノ内ニ生國ヲ知ラサルモノヲ記入スルノ欄ナシ是ハ別ニ一項ヲ設ケテ記入シ可然哉

答 御見解ノ通

問 七八歳迄實父母ノ手ニテ生育シ其後養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテ生育シタルモノ及ヒ養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテ各四五年宛生育シタル者ハ同第十表生育欄内ニ記入スルニ前項ノ場合ハ養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテノ緯線ニ后項ノ場合ニアツテハ其最モ長ク生育セラルケルモノ、各緯線ニ記入シ可然哉

答 御見解ノ通

問 七八歳迄實父母ノ手ニテ生育シ其後養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテ生育シタルモノ及ヒ養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテ各四五年宛生育シタル者ハ同第十表生育欄内ニ記入スルニ前項ノ場合ハ養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテノ緯線ニ后項ノ場合ニアツテハ其最モ長ク生育セラルケルモノ、各緯線ニ記入シ可然哉

答 御見解ノ通

問 七八歳迄實父母ノ手ニテ生育シ其後養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテ生育シタルモノ及ヒ養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテ各四五年宛生育シタル者ハ同第十表生育欄内ニ記入スルニ前項ノ場合ハ養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテノ緯線ニ后項ノ場合ニアツテハ其最モ長ク生育セラルケルモノ、各緯線ニ記入シ可然哉

答 御見解ノ通

問 七八歳迄實父母ノ手ニテ生育シ其後養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテ生育シタルモノ及ヒ養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテ各四五年宛生育シタル者ハ同第十表生育欄内ニ記入スルニ前項ノ場合ハ養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテノ緯線ニ后項ノ場合ニアツテハ其最モ長ク生育セラルケルモノ、各緯線ニ記入シ可然哉

答 御見解ノ通

問 七八歳迄實父母ノ手ニテ生育シ其後養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテ生育シタルモノ及ヒ養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテ各四五年宛生育シタル者ハ同第十表生育欄内ニ記入スルニ前項ノ場合ハ養父母及ヒ繼父又ハ繼母ノ手ニテノ緯線ニ后項ノ場合ニアツテハ其最モ長ク生育セラルケルモノ、各緯線ニ記入シ可然哉

載スルモノトス

問 同表中生育年齢ハ二十歳ヲ限リトシ可然哉

答 御見解之通

問 保母又ハ妾ノ手ニテ育チタル者ハ同表中生育欄内他人ノ手ニテノ區ニ記入スルモノニ候哉

答 御見解ノ通且妾ノ實子ナレハ(實父母ノ手ニテ)ノ界區ニ記スヘキモノトス

問 久シク旅行シ己決囚トナリタルモ父母ノ生存ヲ知ラサルモノアルモ其死亡ノ報知ヲ聞カサル上ハ同表中父母存在ノ區ニ記入シ可然哉

答 御見解之通

問 同第拾二表都市村落ノ別トハ其現住シタル處町名ノアルモノハ都市村名ノアルモノハ村落ニ記入シ可然哉

答 都市村落ノ別ハ其名ニ拘ラス毎戸連櫛一市街ヲ爲スモノハ村名アリト雖モ都市ノ界區ニ記スヘキナリ但其區分ハ實際ノ情況ヲ察了シ典獄ノ所見ヲ以テ定ムヘキモノトス

問 同表中小兒ノ有無ハ其年齡幾歳迄チ小兒トスルモノニ候哉同表中課穿トハ幾歳以上ニシテ夫妻ノナキモノヲ云フモノニ候哉

答 同表中小兒ノ有無ハ其年齡幾歳迄チ小兒トスルモノニ候哉同表中課穿トハ幾歳以上ニシテ夫妻ノナキモノヲ云フモノニ候哉

問 同表中小兒ノ有無ハ其年齡幾歳迄チ小兒トスルモノニ候哉同表中課穿トハ幾歳以上ニシテ夫妻ノナキモノヲ云フモノニ候哉

答 同表中小兒ノ有無ハ其年齡幾歳迄チ小兒トスルモノニ候哉同表中課穿トハ幾歳以上ニシテ夫妻ノナキモノヲ云フモノニ候哉

問 同表中小兒ノ有無ハ其年齡幾歳迄チ小兒トスルモノニ候哉同表中課穿トハ幾歳以上ニシテ夫妻ノナキモノヲ云フモノニ候哉

答 同表中小兒ノ有無ハ其年齡幾歳迄チ小兒トスルモノニ候哉同表中課穿トハ幾歳以上ニシテ夫妻ノナキモノヲ云フモノニ候哉

答 年齢ニ拘ハラサルモノトス

問 同表中資産ノ有無ハ偏ニ本人ノ資産ニ係ルモノニシテ子弟等ニテ生計ノ道ナク父兄ノ資産ニ依リ生計ヲ爲スモノ、如キハ資産ノナキモノニ候哉

答 資産アル者ノ界區ニ記スヘキ者トス

問 貧富ノ區別ハ動産不動産ヲ論セス力作又ハ技藝ニテモ一家ノ生計ヲ爲シ得ヘキト否トニ因リ區別スルモノニ候哉

答 本表ノ資産トアルハ専ラ動産不動産ニ關ス力作又ハ技藝等ニテ生活ヲ爲シ得ヘキ者ハ第十六號表中ニ記載スヘキモノトス

問 無籍者等ニシテ都市村落ノ別ナク諸方ニ徘徊シ住居ノ定マラサルモノ、如キハ十二表中都市村落ノ別中記載方如何致シ可然哉

答 生國ヲ以テ記スヘシ若シ知レサルトキハ最終ノ任地ヲ以テ記載スヘキモノトス

問 第十六表已決囚ノ放免及特赦ニテ出監スル云々トアルコト付テハ轉出並ニ押送等ニテ出監スルモノハ同表中總テ記載ニ不及儀ニ候哉

答 御見解ノ通

(廿六)山梨縣ヨリ監獄經理表中疑義ニ付内務省へ問合

十七年五月三十日
官報第二百七十四號

監獄經理表記載方不明了ノ處及御問合候處本月十四日附ノ御答書ニ依レハ刑期中罪ヲ犯シ(假出獄ノ囚罪ヲ犯スモノ同シ)該刑ノ宣告ヲ受ケ再ヒ已決監ニ入ルキハ(第八號表)新ニ刑ヲ受ケシ者トシ記載スル趣ニ有之右假令ハ茲ニ重懲役九年ノ囚限内罪ヲ犯シ罰金ノミ言渡ヲ受ケ或ハ重禁錮一月ノ刑ヲ受ケタルモノアルキハ則チ一ノ重キ刑ヨリ執行スヘキ等ニ付再ヒ原刑(重懲役ヲ指ス)執行ニ係ルモ尙ホ新入トスル儀ニ候哉果シテ然ラハ(第八號表)新ニ刑ヲ受ケシ者ノ人員ト第九號以下新入ト適合ヲ要スルモノナレハ)新ニ刑ヲ受ケタル重禁錮ノ刑名ニ依リ第九號以下十五號マテ調製スヘキ義ナレ共第十四號表ノ如キハ(上段ニアル)現在刑名ノ項ニハ即チ現在執行スル所ノ重懲役ヲ記スヘキモ(直下ニアル)前刑ノ在監期トアル項ニ至リテハ現在執行ノ重懲役ハ前刑ニアラサルヲ以テ該刑ノ終リタル后重禁錮ヲ執行スルキニアラサレハ前刑ノ指名スヘキモノナシ又罰金ノ宣告ヲ受ケタル者ハ新入トスルモ刑名ノ記スヘキナシ若シ前刑重懲役ヲ新入トスルキハ壹人ニシテ二人ニ記シ重複ニ涉ルヤニ思考セリ右ハ如何スヘキヤ但輕罪ノ刑執行中重罪ヲ犯シタルモノハ刑法上再犯ニ據ラサレハ無論第十四號表ニ記載セサル儀ト心得可然哉其他在監時限ト在監期トハ何レノ別アルヤ又重禁錮ノ囚他ノ罪ニ依リ再重禁錮ノ刑ヲ受ケタルキノ如キハ引續キ同刑名

ヲ執行スルモノニ付既決表中別ニ出入ノ限界ヲナカス壹人ニ併記シ可然哉

(十七年四月廿八日)

(回答)(十七年五月廿日) 再應御問合ノ趣致承知候其來意ヲ四項ニ別テ左ニ及御答解候也
刑期中罪ヲ犯シテ未決監ニ移リ再ヒ該刑ノ宣告ヲ受ケテ已決監ニ入ル者假出獄中罪ヲ犯
シ再ヒ處刑ヲ受テ入監スル者等第八號表ニ於テハ皆新ニ刑ヲ受ケシ者トシテ記シ第九號
以下第十五迄ノ各表モ同シク記載スヘキモノトス尤モ刑期中又犯罪ニテ新タニ刑ノ宣告
ヲ受ルモ尙ホ前刑執行中ノ者ハ第十四號表初犯ノ界區ニ併記シ罰金ノ言渡ヲ受ケシ者ハ
九號以下十五號マテノ各表都テ記載ニ及ハサルモノトス

但刑期限内罪ヲ犯シ罰金ノ言渡ヲ受ケシ者アルトキハ第八號表ノ欄外ニ於テ新タニ刑
ヲ受ケシ若干人中幾人ハ罰金ノ言渡ヲ受ケタル者ニ付第九號以下ノ各表ニハ記載セサ
ル旨ノ説明ヲ附シ御差出有之度候

第十四號表ニ掲グル所ノ犯數ハ刑法上再犯ヲ以テ論セサルモノト雖モ再度處刑ヲ受ケシ
者ハ再犯トシテ記載スヘキモノトス在監期ト云在監時限ト云モ其意義ニ於テ異ナルヲ無
シ重禁錮ノ囚他ノ罪ニ依リ再ヒ禁錮ノ刑ヲ受ケタル者ノ如キ云々ハ御見解ノ通

(廿七)三重縣ヨリ監獄ニ係ル沒收金ノ儀ニ付伺

十六年八月三日
官報第四百二十九號

國庫費支辨ニ係ル囚徒ノ傭工錢及沒收金モ本年乙第三十八號御達ニ據リ地方稅雜收入へ受
入可然哉

(十六年十一月十二日)

(指令)(十六年十一月二十日) 工錢收入ハ從前ノ通り尤工錢ト雖モ沒收金ハ伺ノ通り
(廿八)山形縣ヨリ監獄經理半年報掲載方ノ儀ニ付伺
監獄經理半年報拾六號ヨリ拾九號迄出獄ハ掲載スルニ及ハサルヤ
十八年二月七日
官報第四百七十九號

(十八年一月十三日)

(指令)(十八年二月五日) 假出獄者ノ掲載方ハ監獄經理半年報第拾六號ヨリ第拾九號表迄
各々掲載スル儀ト心得ヘシ

(廿九)鹿兒島縣ヨリ在府縣獄囚徒費取扱方并地方稅豫算ノ儀ニ付

伺

十八年四月六日
官報第五百二十五號

本年六月御省乙第二十九號ヲ以テ在府縣獄囚徒費取扱方ノ儀御達相成候處實際ノ取扱上ニ
於テ疑義ヲ生シ候件々左ニ
第一條 本年六月廿四日警視廳伺 官報第三百四 集治監ニ入ルヘキ囚徒ニ對スル費用ハ總テ
地方費中へ混一ニ仕拂置キ月々其現人員ニ應シ一四一日金貳拾錢ノ割合ヲ以テ國庫ヨリ
支出シタル金額ヲ總支出額 混一ノニ應シ各費目ニ割合地方費ノ方へ戻入候テ可然
支出高

監獄則

裁又ハ云々ト云フノ項ニ對シ前段伺ノ通ト御指令有之右各費目トハ監獄費中未決囚諸費ヲ除キ俸給雜給廳費已決囚諸費及ヒ監獄建築修繕費中未決檻ニ係ル部分ヲ除キ已決檻建築修繕費ノ總金額ニ割合地方費ノ方ヘ戻入候儀ト相心得可然哉

第二條 本年七月三日岐阜縣伺官報第三百八十四號ニ載ス第一條末文地方稅豫算精算共警察費國庫下渡金ニ準シテ調理シ可然哉ト云フノ項ニ對シ地方稅豫算議案及精算報告書ハ國庫金ヲ扣除整理スヘシ前條ノ各費目ヲ指スニ就キ扣除スヘキ國庫支出ノ員額ハ在府縣獄囚徒費ノ豫算高キ以テ各費目上ノ豫算物額ニ應シ算出致候儀ト相心得可然哉 (十七年十二月十二日)

(指令)(十八年四月一日) 書面伺之通

(三十)岐阜縣ヨリ輕罪控訴被告人押送費用ノ儀ニ付伺

十八年七月十五日
官報第六百一十一號

輕罪ニ係ル控訴ノ儀ニ付本年第二號ヲ以テ公布相成候ニ付テハ控訴裁判所管轄區域内各地方ヨリ控訴ヲ爲シタル被告人ニ係ル拘禁中諸費支出ノ儀ハ本年御省甲第十三號ヲ以テ御達相成候處右押送途中費用ノ儀ト沿道府縣ノ警察費ヲ以テ支辨シ可然哉此段相伺候也

(十八年八月廿三日)

(指令)(十八年七月十日) 書面伺之通

(卅一)愛媛縣ヨリ軍律ニ依リ處斷アリシ在監人費用ノ儀ニ付伺

十八年八月廿日
第六百四十二號

軍律ニ依リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル被告人在監中ノ費用ノ儀ハ明治十六年九月十九日
附及ヒ同十七年八月八日付テ以テ御達ノ趣モ有之候得共聊カ疑歧ニ涉リ候場合有之候ニ付
左ニ相伺候

- 一陸軍治罪法第十八條初項末項ノ末文ニ依リ地方裁判所ニ於テ軍律ニ照シ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル被告人在監中ノ費用ハ陸軍省ノ支辨ニ屬スルヤ又ハ地方稅ノ支辨ニ屬スルヤ
- 一前項若シ陸軍省ノ支辨ニ屬スル者トスルハ未決在監中ノ費用モ悉ク陸軍省ノ支辨ニ屬スルヤ亦ハ刑名宣告ノ日ヨリ陸軍省ノ支辨トスルヤ
- 一陸軍治罪法第二十一條末文ニ依リ軍人ニアラサル者陸軍法衙ニ於テ普通刑法ニ照シ刑ノ言渡ヲ受ケシト在監中ノ費用ハ陸軍省支辨ニ屬スルヤ又ハ地方稅ノ支辨トスルヤ

(十八年七月八日)

(指令)(十八年八月一日)

- 第一二項 普通裁判所ノ審判ニ係ル該囚在監中ノ費用ハ總テ地方稅ヨリ支辨スヘシ
- 第三項 本年第十二號公布以後普通裁判所ニ於テ處斷セラル者ハ地方稅ヨリ支辨スヘシ

看守休暇

但同種ノ罪囚ト雖モ本文公布以前ニ在テ軍法會議ニ於テ處斷シ該術ヨリ送附シタル囚徒ニ係ル費用ハ陸軍省ノ支辨トス

〔廿一〕看守休暇

(一)東京集治監ヨリ看守休暇概則ノ儀ニ付伺

十八年八月十二日
官報第六百三十五號

本年七月三十日本省番外ヲ以テ看守休暇概則御達相成候ニ付テハ其細目順序取調可及御届ノ處該則第四條休暇日數通算方ノ儀新拜命ノ者ハ其當日ヨリ欠勤ノ者ハ出勤ノ日ヨリ起算シ定則ノ休暇日數ヲ與フヘキ哉將タ新舊ノ者ヲ問ハス計算方ハ其月ノ十五日前後ヲ以テ區分致シ可然哉右兩條疑義ヲ生シ候ニ付此段相伺候也
(十八年八月一日)

(指令)(十八年八月十一日) 書而前段伺ノ通

(二)宮城集治監ヨリ看守休暇ノ儀ニ付伺

十八年八月十八日
官報第六百四十號

看守ノ休暇豫備軍ニテ點呼演習ノ日ハ欠勤日數ニ算入セスシテヨキヤ

(電報)(十八年八月四日)

(指令)(十八年八月十五日)

看守休暇日數計算方ニ付本月四日電報ヲ以テ伺出ノ處豫備後備軍ニテ點呼召集ニ應シ出勤セサル日數ハ勤務及ヒ欠勤ノ日數ニ算入セサル儀ト心得ヘシ此旨及指令候事

〔廿二〕監視

(一)滋賀縣ヨリ監視ノ儀ニ付伺

十七年一月十二日
官報第九百九十五號

通常監視ニ付セラレタル者ニシテ他管下ヘ旅行且ツ滞在スル節取締方之儀ハ刑法附則第二章中ニ明文モアリ且本縣ヨリ伺定置候次第モ有之候得共住居地管内旅行ニ就テハ別ニ取締方法無之然ルニ力役等ヲ以テ糊口ヲ爲スモノ、如キハ其業体ノ都合ニ依リ住居地町村最寄ニ於テ其職業ニ従事スルヲ得ス數里外ナル他ノ警察署下ヘ數十日出稼スルモノアリ右等ノ者ニ至テハ毎月兩度居住地ノ所轄警察署ヘ謹慎ヲ表スル爲メ出頭スルハ時日ヲ費シ糊口上ニ困難スル趣ヲ以テ出稼地ノ所轄警察署又ハ分署ヘ出頭謹慎ヲ表シ度旨出願スルモノアリ右ハ事實惘然ノ至リニ付之ヲ許可シ其旨出稼先キノ所轄警察署又ハ分署ヘ通牒監視致候モ御差支之節無之候哉相伺候也
(十六年九月廿五日)

(指令)(十七年一月九日) 伺之趣事情無據者ニ限り許可シ不苦儀ト可心得

(二)新潟縣ヨリ監視ニ付セラレタル者旅費欠乏ノ爲メ救護ニ係ル

諸費支辨方ノ儀ニ付伺

十七年四月十二日
官報第二百三十三號

監視ニ付セラレタル者刑法附則第二拾五條ノ場合ニ於テ途中發病等ノ爲メ淹滞中旅費欠乏シ其地ノ警察署ニ救護ヲ乞フ者ハ刑法附則第三十二條ニ準據シ滞在地監獄署ノ別房ニ留置

看守休暇

スヘキ旨愛媛縣ヨリ司法卿ヘ伺出タル指令ニ(十六年官報第百四號)有之候處監獄署ニ遠隔ノ警察署ヘ右等ノ救護ヲ乞フ時ニ當監獄署ヘ押送ニ關スル費用ハ本籍ヨリ追償致スヘキ者ト存候得共赤貧ニシテ償還スルノ道無之節ハ何レノ費目ヨリ可致支辨候哉

(十七年二月一日)

(指令)(十七年四月九日) 伺之趣自家親戚引取人等總テ代償スル資力無之節ハ犯人本籍ノ地方稅救育費中ヨリ辨償セシムヘシ

內務省指令類纂尾

大藏省指令類纂

目錄

(一) 官吏及雇員

- (一) 京都府伺郡區役所書記ニ於テ稅則違犯者取調處分ノ件 一丁
- (二) 島根縣伺海員雇入止手數料及費用ノ件 全

(二) 事務規程

- (一) 東京府伺收稅課事務規程ノ件 二丁

(三) 請願

- (一) 大藏省ヨリ太政官ヘ伺請願規則第四條取扱方ノ件 六丁

(四) 歲入出豫算

- (一) 群馬縣伺十八年度豫算調製ノ件 七丁
- (二) 福岡縣伺歲入出豫算調理ノ件 全
- (三) 德島縣伺調査局ヘ歲出豫算細別表ノ件 八丁
- (四) 山口縣問合歲入細豫算ノ件 全

(五) 會計年度

目錄

(一) 福岡縣伺年度區分ノ件

九丁

〔六〕地所

(一) 新潟縣伺歛下年季及荒地免租季明ノ件

十丁

(二) 岐阜縣伺地目變換地及開墾地取扱方ノ件

全

(三) 三重縣伺荒地年季中宅地成ノ件

十一丁

〔七〕地券

(一) 山形縣伺地券面訂正ノ件

全

(二) 静岡縣伺地券授與ノ件

全

〔八〕地租

(一) 埼玉縣伺地租條例中疑義ノ件

十二丁

(二) 岡山縣伺田租納額減額報告ノ件

十四丁

(三) 埼玉縣伺地租延納年賦金一時上納利引ノ件

全

〔九〕地租未納者處分

(一) 岐阜縣伺租稅不納者公賣處分ノ件

十五丁

(二) 静岡縣伺諸稅則違犯者處刑表編纂方ノ件

十六丁

(三) 愛媛縣伺税金不納者取扱方ノ件

十七丁

(四) 福島縣伺納稅代理人不納ノ節處分方ノ件

全

〔十〕訴訟用罫紙

(一) 和歌山縣伺漂流ノ訴訟文通罫紙拾揚ノ件

十八丁

(二) 愛媛縣伺訴訟用ノ罫紙代金徵收期限ノ件

十九丁

(三) 愛媛縣伺訴訟用罫紙代金徵收期限ノ件

全

〔十一〕証印稅

(一) 福岡縣伺地券書換証印稅徵收ノ件

廿丁

(二) 山形縣伺證印稅徵收ノ件

全

(三) 兵庫縣伺證印稅徵收ノ件

廿一丁

〔十二〕印紙賣捌

(一) 福岡縣伺印紙價額ヨリ低價ニ賣捌ノ件

廿一丁

(二) 大坂府伺印紙類賣捌出願人處分ノ件

廿二丁

(三) 東京府伺印紙類賣捌出願ノ受恩典者保証人ノ件

全

(四) 和歌山縣伺印紙類賣捌ノ件

廿三丁

目錄

四

(五) 静岡縣伺印紙賣捌許否區分ノ件 全

〔十三〕證券印紙

(一) 静岡縣伺諸帳簿貼用印紙消印ノ件 廿四丁

(二) 愛媛縣伺証券印稅規則ノ件 全

(三) 静岡縣伺証券印稅規則中帳簿ノ件 廿五丁

(四) 島根縣伺米穀借用証文ニ印紙貼用ノ件 全

(五) 愛媛縣伺証券印稅規則ノ件 全

(六) 山梨縣伺証券印稅規則第二條第一類中送狀金高區別ノ件 廿六丁

(七) 會計檢査院伺定備諸職工及小使等ノ給料并旅費受領書ニ印紙貼用ノ件 全

(八) 石川縣伺印紙貼用ノ件 廿七丁

〔十四〕船舶稅

(一) 滋賀縣伺湖川日本形船ノ件 廿八丁

(二) 福岡縣伺船稅規則取扱方ノ件 全

(三) 福井縣伺渡船免稅ノ件 廿九丁

(四) 大坂府伺免稅船ノ件 三十丁

(五) 愛知縣伺免稅船ノ件 三十一丁

(六) 德島縣伺免稅船ノ件 全

(七) 愛媛縣伺船稅免否ノ件 三十二丁

(八) 秋田縣伺官用船處分方ノ件 全

(九) 滋賀縣伺船稅賦課ノ件 三十三丁

(十) 兵庫縣伺堰使用船ノ件 全

(十一) 山口縣伺新造ノ免稅船証票ノ件 三十四丁

(十二) 石川縣伺免稅船取扱方ノ件 全

〔十五〕車稅

(一) 愛媛縣伺車稅免除ノ件 三十四丁

(二) 静岡縣伺車稅ノ件 三十五丁

(三) 東京府伺一疋立ノ馬車二疋立ニ兼用ノモノ課稅ノ件 全

(四) 内務大藏兩省ヨリ太政官ニ伺郵便物運送車課稅ノ件 三十六丁

〔十六〕酒酢醬油稅則

目錄

五

○酒

- (一) 愛媛縣伺酒造免許鑑札記載方ノ件 三十六丁
- (二) 滋賀縣伺酒造營業引續ノ件 三十七丁
- (三) 福岡縣伺酒造稅則取扱心得書第四十一項ノ件 全
- (四) 山形縣伺自家用料酒廢棄ノ件 三十八丁
- (五) 新潟縣伺酒類造石稅前納ノ件 全

○酢

- (一) 京都府伺酢造營業者ノ件 三十九丁

○醬油

- (一) 千葉縣伺未製成ノ醬油販賣方ノ件 四十丁
- (二) 熊本縣伺醬油製造場區域ノ件 全
- (三) 福井縣伺醬油稅則中疑團ノ件 全
- (四) 長崎縣伺醬油香水ノ件 四十二丁
- (五) 高知縣伺醬油稅則取扱ノ件 全
- (六) 滋賀縣伺醬油製造場ノ件 四十三丁

〔十七〕煙草稅則

- (七) 和歌山縣伺醬油稅則中疑義ノ件 四十三丁
- (八) 滋賀縣伺醬油稅則ノ件 四十四丁

- (一) 滋賀縣伺煙草小賣許可否ノ件 四十五丁
- (二) 京都府伺卷煙草ノ件 全
- (三) 長崎縣伺煙草營業者自宅外ニテ煙草製造否ノ件 全
- (四) 福岡縣伺卷煙草ノ件 全
- (五) 山形縣伺煙草印紙貼用方ノ件 四十六丁
- (六) 富山縣伺煙草小賣人質切ノ際箱詰玉造ヲモ爲シ得可ヤ否ノ件 全
- (七) 山形縣伺煙草鑑札下附并ニ區分方ノ件 全
- (八) 大坂府伺煙草製造人ノ件 四十七丁
- (九) 茨城縣伺煙草崩賣ノ件 全
- (十) 山形縣伺煙草印紙貼用方ノ件 全
- (十一) 宮城縣伺煙草稅則ノ件 四十八丁
- (十二) 静岡縣伺煙草印紙ノ量目并煙草銘附記ノ件 全

(十三) 三重縣伺烟草印紙消印ノ件 四十九丁

(十四) 山形縣伺烟草定價附記ノ件 全

(十五) 静岡縣伺烟草帶印紙消印ノ件 全

(十六) 熊本縣伺烟草稅則實施上疑義ノ件 五十丁

(十七) 長野縣伺烟草稅則取扱方ノ件 全

(十八) 滋賀縣伺烟草規則上疑義ノ件 五十一丁

〔十八〕菓子稅則

(一) 高知縣伺西洋菓子課稅ノ件 五十二丁

(二) 東京府伺菓子稅則中疑義ノ件 全

(三) 栃木縣伺菓子稅則中疑義ノ件 五十四丁

(四) 石川縣伺菓子稅則中疑義ノ件 五十五丁

(五) 静岡縣伺菓子營業者仕入鑑札下付方ノ件 全

(六) 神奈川縣伺菓子稅則中疑義ノ件 五十六丁

(七) 鹿兒島縣伺菓子露店呼賣鑑札下付ノ件 五十七丁

(八) 千葉縣伺菓子稅則中疑義ノ件 全

(九) 福井縣伺菓子營業人員調査表記載方ノ件 六十一丁

(十) 愛知縣伺菓子營業鑑札記載方ノ件 六十二丁

〔十九〕租稅決算

(一) 鹿兒嶋縣伺租稅決算報告書ノ件 六十二丁

〔廿〕電信送達郵便稅編入科目

(一) 鳥根縣照會電信送達ニ係ル郵便稅編入科目ノ件 六十三丁

〔廿一〕徵收支出

(一) 長崎縣伺諸營業鑑札本人受領以前廢業ノ者稅金徵收ノ件 六十三丁

(二) 青森縣伺國稅金送納代理人ノ件 六十四丁

(三) 熊本縣伺官沒器械運搬費等支出ノ件 六十五丁

(四) 静岡縣伺雜收入金徵收方ノ件 全

〔廿二〕貨幣

(一) 兵庫縣伺舊銅貨交換方ノ件 六十六丁

〔廿三〕公債証書

(一) 神奈川縣伺公債証書取扱方ノ件 六十七丁

- (一) 京都府伺公債証書處分方ノ件 全
- (二) 東京府伺公債証書記名書換故障ノ件 六十八丁
- (三) 熊本縣伺公債証書引分々所持ノ件 六十九丁
- (四) 石川縣伺公債証書書換故障等ノ件 七十丁
- (五) 大坂府伺起業公債証書取扱方ノ件 七十二丁
- (六) 和歌山縣伺諸公債証書利賦金下付方ノ件 全
- (七) 島根縣伺公債証書ノ利金遞送費等ノ件 七十二丁
- (八) 大坂府伺紛失公債証書發見ノ件 全
- (九) 島根縣伺公債証書元利金渡方費用ノ件 七十四丁
- (十) 京都府伺盜難公債証書發見ニ付復手ノ手續取計方ノ件 全

〔廿四〕獻金

- (一) 石川縣伺皇宮御造營費ノ内ニ獻金ノ件 七十五丁

〔廿五〕預金

- (一) 滋賀縣伺預金規則ノ件 七十六丁
- (二) 愛知縣伺預金規則ニ據リ預金局ニ預金ノ件 七十九丁

- (三) 三重縣伺在櫃人工錢預金ノ件 全

〔廿六〕恩給

- (一) 朽木縣伺官吏恩給金出途及科目整理方其他ノ件 八十丁
- (二) 三重縣伺官吏恩給令ニ依リ費途ノ件 八十一丁
- (三) 大藏省伺恩給令第七條ノ件 八十二丁

〔廿七〕給與賜金

- (一) 滋賀縣伺郡區長給與規則ノ件 八十二丁
- (二) 大藏省伺同等外吏一時賜金支給方ノ件 八十三丁

〔廿八〕月俸

- (一) 大藏省ヨリ太政官ニ伺官吏恩給令並月俸規則追加達疑義ノ件 八十三丁
- (二) 大藏省ヨリ太政官ニ伺月俸規則第二十二條追加ノ件 八十四丁
- (三) 大藏省ヨリ太政官ニ伺月俸規則第二十二條及第二十三條勤績年數計算ノ件 八十五丁
- (四) 大藏省ヨリ太政官ニ伺月俸規則第二十二條廿三條年數計算方ノ件 八十六丁
- (五) 大藏省ヨリ太政官ニ伺月俸規則第二十二條ノ件 八十七丁
- (六) 大藏省ヨリ太政官ニ伺非職員他應御用掛等ニ採用ノ者月俸支給ノ件 全

(七) 大藏省ヨリ太政官へ同月俸規則第廿三條ノ件 八十八丁

(八) 會計検査院ヨリ太政官へ同月俸規則第四條但書適用上ノ件 八十九丁

〔廿九〕旅費

(一) 宮崎縣同赴任旅費支給方ノ件 九十二丁

(二) 大藏省ヨリ太政官へ他方出張中病死ノ者旅費支給方ノ件 九十三丁

(三) 大藏省ヨリ太政官へ同警部乗馬ノ節口附人旅費支出方ノ件 九十四丁

〔三十〕官舎宿代

(一) 福岡縣同官舎宿代金處分方ノ件 九十四丁

(二) 大藏省ヨリ太政官へ同官舎宿代徴收方ノ件 九十五丁

〔三十一〕勸業授産金

(一) 福島縣同府縣委托勸業資本精算ノ件 九十四丁

大藏省指令類纂

(一) 官吏及雇員

(一) 京都府ヨリ郡區役所書記ニ於テ稅則違犯者取調處分ノ儀ニ付
伺

十七年四月廿五日
官報第二百四十五號

明治十六年十二月第四十三號布告酒造稅則醬麴營業稅則賣藥烟草稅則ニ關シ租稅官吏ニ於テ犯則アリト認知シ若シクハ思料スルキハ其場所ニ立入り犯則ノ証憑取調ノ處分ヲナスコトヲ得但其官吏ハ主任タルノ證票ヲ携帶スヘシトアリ右ハ郡區役所租稅取扱主任ノ書記ニ於テモ同様處分スルヲ得ヘキ儀ニ候哉果シテ然ラハ證票ハ其郡區役所ニテ適宜調製致サセ該費用ハ國稅徵收費ノ内ヨリ支出致シ然ルヘキ哉 (十七年四月十一日)

成儀ト可心得事

(二) 島根縣ヨリ海員雇入止手數料及費用ノ儀ニ付伺

十七年六月廿一日
官報第二百九十三號

本年太政官達第六十三號ヲ以テ海員雇入止手數料及ヒ其費用之儀御達相成候處右ハ收支共其都度可取計候哉又ハ三ヶ月給ニシテ不苦候哉ハ (十六年七月二十一日) (十七年六月廿一日) (指令) (十七年六月十七日) 伺之趣海員雇入止手數料ノ儀ハ其都度上納可取計同費用ノ儀

官吏及雇員

事務規程

二

ハ其都度當省へ可申出儀ト可相心得候事

但支拂科目ノ儀ハ其縣經費雜件中「海員雇（入止）検査費」ノ細科目ヲ設ケ勘定整理可致

收入科目ハ本年當省第十二號達ノ通り心得ヘシ

(二) 事務規程

(一) 東京府ヨリ收税課事務規程ノ儀ニ付伺

十七年七月七日
官報第三百六號

當廳收税課事務規程別冊ノ通調製候條御認可相成度此段上申候也 (十七年六月十三日)

(指令)(十七年七月三日) 伺之趣認可候事

別冊

收税課事務規程

本課中ニ左ノ諸掛ヲ置キ各其主務ヲ整理ス

總務掛 地租掛 雜稅掛 收納掛 地方稅掛

右各掛ニ掛長一人ヲ置キ收稅屬ヲ以テ之ニ充ツ

總務掛

一課印ヲ管守スル事

一本課ノ諸文書ヲ接受シ之ヲ發遣スル事

一諸令達及文書ヲ編纂保存スル事

一本課事務處分上若シ延滞ニ涉ルモノアルトキハ其主務ヲ督促スル事

一本課職員錄履歷書ヲ整理シ及職員報告表ヲ調理スル事

一本課ノ書籍及物品等ヲ管守スル事

一官報ニ係ル本課ノ文書ヲ調査スル事

一本課ノ稟申令達及往復ノ文案ヲ審査スル事

一地券用紙諸印紙鑑札類ヲ管守シ及受渡ニ關スル事務ヲ調査シ之カ計算表ヲ製スル事

一徵稅費ノ豫算調書及ヒ其支出ノ方法ヲ調理スル事

一徵稅費ノ決算報告書ヲ編製スル事

一租稅ニ關スル統計表ヲ編纂スル事

一本課一切ノ事蹟ヲ調査シテ年報ヲ編製スル事

一諸稅則違犯者處刑報告書ヲ調スル事

一各掛ニ屬セサル事項ヲ調理スル事

地租掛

一地租及地券ニ關スル事務ヲ調理スル事

事務規程

三

- 一前項ニ關スル諸達ノ文案及指令案ヲ起草スル事
 - 一地税ニ關スル實地檢査ヲ爲ス事
 - 一地主目變換開墾跡下及荒地免租低價等ノ年期及年期明ノ反別地價地租ヲ調査スル事
 - 一民有地ニ編入スル土地ノ反別地價地租ヲ調査スル事
 - 一官有地成免租地成ニ係ル反別租額ヲ調査スル事
 - 一官有地開墾ノ事務ニ關與スル事
 - 一民有地臺帳并地引繪圖及開墾地荒地臺帳ヲ整理スル事
 - 一地税地券證印稅豫算調書及其増減調書ヲ作ル事
 - 一地税及地券證印稅ニ關スル諸表ヲ調製スル事
- 雜稅掛**
- 一雜稅（鑛山稅酒類稅醬麴稅烟草稅證券印稅訴訟用印紙料代官免許料船稅車稅會社稅銃獵稅牛馬賣買免許稅賣藥稅度量衡稅版權免許料海外旅券其他免許手数料）ニ關スル事務ヲ調理スル事
 - 一前項ニ關スル諸達ノ文案及指令案ヲ起草スル事
 - 一雜稅ニ關スル檢査ヲ爲ス事

- 一雜稅ノ免除ニ關スル事項ヲ調査スル事
- 一雜稅ノ臺帳ヲ整理スル事
- 一雜稅ノ豫算調書及其増減調書ヲ作ル事
- 一雜稅ニ關スル諸表ヲ調製スル事

收納掛

- 一租稅ノ領収及送納ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一前項ニ關スル諸達ノ文案及指令案ヲ起草スル事
- 一租稅収豫算ノ増減報告書ヲ整理スル事
- 一租稅收納ニ關スル諸帳簿ヲ整理スル事
- 一地主代米納及預リ米ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一租稅不納者處分ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一租稅過誤納還付及更正ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一水火災ニ罹リ地租收納延期ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一租稅官損及缺額補填金又ハ除却勘定ニ關スル事務ヲ調理スル事
- 一年賦延納金ノ臺帳ヲ整理スル事

事務規程

請願

- 一 租稅皆濟帳ヲ調製スル事
- 一 租稅決算帳ヲ調製スル事

地方稅掛

- 一 地方稅ニ關スル事項ヲ調理スル事
- 一 前項ニ關スル諸達ノ文案及指令案ヲ起草スル事
- 一 地方稅ノ免除ニ關スル事項ヲ調査スル事
- 一 地方稅ノ豫算取調書及ヒ其増減調書ヲ作ル事
- 一 地方稅ノ決算帳ヲ調理スル事
- 一 地方稅ニ關スル諸表ヲ調製スル事
- 一 地方稅預收ニ關スル事項ヲ調理スル事
- 一 地方稅收納ニ關スル諸帳簿ヲ調製スル事
- 一 地方稅ノ損失又ハ勘定除却ニ關スル事項ヲ管理スル事
- 一 地方稅不納者處分ニ關スル事項ヲ調理スル事

(三) 請願

(一) 大藏省ヨリ請願規則第四條取扱方ノ儀ニ付太政官ヘ伺

十六年七月三日
官報第二號

請願規則第四條ニ其連名ヲ以テ請願スル者ハ各人自ラ署名捺印云々トアリ就テハ社寺ノ財產(氏子壇家ノ共有物)ニ關シ請願者アルキハ其神官住職并共有者各自運署捺印ヲ要スヘキ節ニ候々其從來社寺財產ノ義ハ他會社等ノ共有物ト其性質ヲ異ニスルモノニ付實際本條ニ據ル能ハサルヲ以テ明治十四年内務省乙第三十三號ノ手續ニ依リ請願候者有之トキハ受理致シ可然哉此段相伺候也

(十六年六月十九日)

(四) 歳入出豫算

(一) 群馬縣ヨリ十八年度豫算調製ノ儀ニ付伺

十七年十一月六日
官報第四百八號

本日第八九號ニテ會計年度改メラレタルニ付テハ十八年度豫算ハ調理順序ニヨリ更ニ九月分取調フ可キヤ(電報)十七年十月廿八日)

(指令)十七年十一月一日) 去ル廿八日電報十八年度豫算ノ儀伺ノ通尤モ前年度豫算及ヒ

前々年度實費ハ一週年度分ヲ掲出スヘシ

(二) 福岡縣ヨリ歳入出豫算調理ノ儀ニ付伺

十八年四月十六日
官報第五百三十四號

今般太政官第拾壹號御達歳入出豫算條規第二條前客前年度六月三十日迄ニ其應テ發シ之ヲ

請願 歳入出豫算

大藏省へ返付スヘシトアリ然ルニ十八年度以降年度御改定ニ付テハ十九年度豫算ノ儀ハ該
條規ニ準シ調理致シ難ク候ニ付本年六月三十日迄ニ送付スヘキ儀ト相心得可然哉果シテ然
ラハ第六條第二三項及第七條第三項中前々年度以前三箇年度云々トアルハ十九年度ニ限り
十六年度以前三箇年度ノ平均額ヲ標準トシ取調可然哉 (十八年二月廿六日)
(指令) (十八年四月十一日) 伺之趣前段ハ本年第十四號公達ノ通後段ハ伺之通可相心
事

(三) 德島縣ヨリ調査局へ歳出豫算細別表ノ儀ニ付照會

十八年五月六日
官報第五百五十一號

歳入出豫算書式御省ヨリ御達表ノ内歳出豫算細別表ノ儀ハ官省ノ取調ニ止リ候哉右ハ府縣
ニ於テモ該表ニ照準シ各課掛ヲ區分シ調理可致儀ニ候哉 (十八年四月十三日)

(回答) (十八年五月五日)

歳出豫算細別表ノ儀ニ付會第一二三號ヲ以テ御照會ノ趣了承右ハ細豫算書調成ノ場合ニ
シ要スル儀ニ有之候

(四) 山口縣收稅課ヨリ大藏省調査局へ問合

十八年八月十八日
官報第六百四十號

二郡連合ノ役所アリ右細豫算書ハ每郡別ニ及ハスヤ然レハ縣廳細別表モ二郡ノ合計ヲ記ス

ハキヤ

(十八年八月十三日)

(回答) (十八年八月十三日)

第一部歳入細豫算書ハ二郡連合ノ役所ト雖モ每郡別ニ編制スヘシ

(五) 會計年度

(一) 福岡縣ヨリ年度區分ノ義ニ付伺

十八年七月八日
官報第六百五號

客年十月第八十九號公達ヲ以テ會計年度御改定相成候ニ付十九年度以降ハ其年自四月至九
月前半期トシ十月ヨリ翌年三月迄ヲ後半期ト相心得可然哉果シテ然ルニキハ營業稅ノ如
キマケ年分チテ二回ニ徴スルカ如キハ納稅切符及納額調書并ニ官損勘定除却稟申等從前ノ
會計年度ニ據リ前後ノ區別ナラスハ (自七月至十二月ヲ前) (半期ト唱フルカ如シ) 不都合ト思料セラレ候條如斯ハ
歷年ヲ以テシ即チ自一月至六月營業稅ニシテ一月ニ徴收スルモノハ明治何年前半年分ト
シ (新規營業稅モ亦同シ尤地租及酒造稅) 調理候儀ニ有之候哉
但果シテ本文ノ通ニ候ハ、明治十八年度ヨリ右ニ據リ取扱候而不苦候哉

(十八年六月十七日)

(指令) (十八年七月二日)

伺之趣會計年度前後半期區分之儀ハ申出之通納稅切符ハ曆年ニ依リ納額調書并官損勘定

會計年度

地所

除却稟申等ハ前條區分ニ因リ調理スヘキ義ト可相心得事
但十九年度ヨリ取扱フヘシ

〔六〕地所

(一)新潟縣ヨリ鍬下年季及荒地免租季明ノ儀ニ付伺

十七年四月十四日
官報第二百三十四號

地租條例第十五條ニ開墾地ハ鍬下年季明荒地ハ免租年季明ノ翌年分ヨリ更定地價ニ依リ地租徴収ストアリ假令ハ十二年ヨリ十六年マテ五ヶ年季ノ鍬下地又ハ荒地即十七年季明實地檢分スルニ開墾濟又ハ原地目ニ起返シ得ヘキモノニシテ相當ノ収利アルモ季明翌年即チ十八年ヨリ徴収スル旨趣ナルヤ又ハ其年季末年チ指シタルモノニシテ十七年ヨリ徴収スル儀ナラヤ

(指令)(十七年四月九日) 伺ノ趣年季滿限ノ翌年ヨリ徴収スヘキ儀ト可相心得事

(二)岐阜縣ヨリ地目變換地及開墾地取扱方ノ儀ニ付伺

十七年五月十九日
官報第二百六十四號

本年(三月)第七號布告地租條例第三條第一類地(田畑郡村宅地市街宅地墾田鑛泉地)ヲ第二類地(池沼山林原野雜種地)ニ第二類地ヲ第一類地ニ爲スモ鍬下年季チ請ハサラルモノハ同第

十條ニ準シ爲届出可然哉

(十七年三月廿四日)

(指令)(十七年五月十三日)

第一類地ヲ第二類地ト爲スハ相成ラス第二類地ヲ開墾セントスルモノハ渾テ地租條例第十條前段(開墾ヲ爲サントスルモノハ地方廳ノ許可ヲ受クヘシ)ニ據ルヘシ鍬下年季ヲ要セザルモノハ開墾翌年ヨリ地價修正スヘシ

(三)三重縣ヨリ荒地年季中宅地成ノ儀ニ付伺

十七年六月廿三日
官報第二百九十四號

荒地年季中宅地トナリタルモノハ翌年ヨリ収税ノ儀ト心得可然哉 (十七年六月十二日)

(指令)(十七年六月十九日) 地租條例第二十二條ニ據リ年期中ハ地價修正ニ及ハス

〔七〕地券

(一)山形縣ヨリ地券面訂正ノ儀ニ付伺

十六年七月五日
官報第四號

町村分離合併等允可ヲ得タルモノ更ニ地券書換ヲ要セス券面肩書舊町村名及ヒ番號ハ朱線ヲ以テ塗抹シ其傍へ新町村名及番號ヲ朱記シ郡長檢印ヲ押捺訂正シ證印稅ハ徴セス可然哉
右相伺候也

(十六年六月十五日)

(指令)(十六年六月廿八日) 伺之通

(二)靜岡縣ヨリ地券授與ノ件ニ付伺

十六年十一月十五日
官報第百十六號

地券

地租

十二

甲者へ地所ヲ拂下或ハ無代下付シ地券授與前甲者ヨリ右地所ヲ乙者へ(賣讓)渡二人連署乙者氏名ノ地券下付ヲ請願セルハ直ニ乙者ニ地券ヲ授與シ苦シカラズヤ

(十六年十月廿九日)

(指令)(十六年十一月九日) 伺ノ趣一旦甲者へ地券ヲ下付シ更ニ乙者へ書換出願セシムヘ

(八) 地租

(一) 埼玉縣ヨリ地租條例中疑義ノ儀ニ付伺

十七年五月十三日
官報第二百五十九號

第一條 本年第七號布告地租條例第三條中第二類地(池沼山林原野雜種地)ニ勞費ヲ加ヘ第一類地(田畑郡村宅地市街宅地鹽田鑛泉地)トナスモノヲ開墾ト謂フトアリ然ルトキハ山林原野ヲ宅地トナシ鐵下年期ヲ要セサルモノハ地目變換ト同視シテ取扱然ルヘキヤ

第二條 同上第十三條ニ有租地ヲ公立學校鄉村社地墳墓地トナストキ其地租ハ許可ヲ得シ月分ヨリ月割ヲ以テ之ヲ免ストアリ右ハ民有地ノ變換ヲ指シタルモノニテ民有地ヲ官へ買上ケ又官有地ヲ拂下ケタル收稅除稅區分ノ儀ハ十年第十八號布告第一條(民有地ヲ買上ル時其年分ノ稅ハ買上ケタル前月分迄月割ヲ以テ收入スヘシ)第二條(官有地ヲ拂下ケル時其年分ノ稅ハ拂下ケタル翌月分ヨリ月割ヲ以テ收入スヘシ)ニ準據取扱然ルヘキヤ

第三條 同第二十一條ニ免租年期明ニ至リ其地ノ現況原地價ニ復シ難キモノハ十年以内七割以下ノ低稅年期ヲ定メ云云トアリ例ヘハ原收稅壹石ノモノ七斗ノ收稅ニ起返ルルハ之ヲ七割低價トシ壹斗ニ起返ルトキハ一割ト稱スヘキヤ

第四條 同第二十二條ニ低價年期明ニ至リ尙原地價ニ復シ難キモノ及免租年期明ニ至リ原地目ニ復セス他ノ地目ニ變スルモノト其地ノ現況ニ依リ地價ヲ定ムトアリ然ルニ免租年期中持主ノ便宜ニ因リ宅地トナスモノハ十年地租改正事務局御省連署乙第六號達第四條(荒地免租年季中宅地トナスモノハ宅地トナリタル翌年ヨリ該宅地相當ノ地價ヲ定メ課稅スヘシ 但池成沼成等ノ荒地ヲ埋堆シ宅地トナスカ如キ非常ノ勞費アルモノハ伺ヲ經テ其年季中免租ニ據置ヘキモノトス)ニ照準取扱然ルヘキヤ (十七年三月廿九日)

(指令)(十七年五月五日)

第一條 鐵下年期ヲ要セサル者ト雖モ開墾トス其翌年分ヨリ更正地價ニ據リ徵收スヘシ

第二條 申出ノ通

第三條 七割以下ノ低價年期ヲ定ムトハ原地價ヨリ七割以内ヲ減シタル低價年期ヲ定ムヘキモノトス

第四條 免租年期中持主ノ便宜ニ因リ宅地トナス者ト雖モ條例第二十二條ニ據リ處分ス

地租

十三

但十年地租改正事務局連署當省乙第六號達ハ消滅ス

(二)岡山縣ヨリ田租納額減額報告ノ儀ニ付伺

十八年七月廿三日
官報第六百十八號

本年六月第十五號公布ヲ以テ田租納期御改正相成本年第六期ハ納期十九年度ニ涉リ十八年度租稅豫算ノ内田租第六期納額ハ減額ト相成候ニ付右納期ノ御改定ニ依ルモノ客年貴省第五十八號御達租稅豫算決算調理順序第四條ノ趣ニ準據シ減額報告スヘキ儀ニ候哉

(十八年七月八日)

(指令)(十八年七月十七日) 伺之通

但延納年賦金モ本文ニ準シ減額申報取計フヘシ

(三)埼玉縣ヨリ地租延納年賦金一時上納利引ノ儀ニ付伺

十八年七月廿五日
官報第六百二十號

第壹條 地租延納年賦金一時上納願出ルモノハ壹割利引ノ算則ニ據リ利引上納被差許候處假ヘハ十四年ヨリ十八年迄五ケ年賦ノモノ十七年迄納濟殘リ一ケ年(十八年)分ヲ十七年度へ上納スルキハ壹割利引ノ算則ニ據リ可取扱ハ勿論ニ候得共十八年分一般ノ徵收期限(十九年)ヲ竣タス十八度(十八年七月ヨリ)中ニ於テ單ニ繰上ケ(十八年十月或ハ)納ヲ請(十九年三月マテ)

願スルモノハ利引上納差許ス限リ無之儀ト相心得可然哉

第二條 十四年ヨリ廿三年迄拾ケ年賦ノモノ假令ハ廿一年迄納濟廿二年分上納額成規ニ照據郡長ヨリ戸長へ達シ一般徵收期限ニ至リ廿三年納ノ分ヲ併セ一時上納願出ルキハ八ケ年納濟殘リニケ年分ノ一時上納ニ付兩年分ノ利子金ヲ引去ル儀ニ候哉又ハ廿二年分ニ於テハ相當可納金額ニシテ殊ニ納期ニ際スルヲ以テ廿三年ニ納ムヘキ金額ニ對シ利引スルモノニ候哉 (十八年七月二日)

(指令)(十八年七月十七日)

伺之趣左之通可相心得事

第壹條 申出之通

第貳條 後段申出之通

(九)租稅未納者處分

(一)岐阜縣ヨリ租稅不納者公賣處分ノ儀ニ付伺

十六年十二月八日
官報第六百三十五號

第壹條 酒類造石稅不納ニ付一旦營業ヲ停止シ鑑札ヲ返納セシメ其製造品及器物トモ公賣

揭示中本人ヨリ其不納金ヲ上納スルカ又ハ債主ヨリ辨納シ公賣處分取消ノ儀願出聞届ル

トキハ糞ニ返納セシメシ鑑札ハ再ヒ下渡シ營業停止相解キ可然哉

地所 租稅未納者處分

第貳條 營業稅又ハ造石稅不納ニ付其製造品并諸器械等取關已キ其一部(製造品)ハ公賣徵収シ其他(製造器械)揭示中本人又ハ債主ヨリ不納金完納スヘキ旨ヲ以テ公賣處分取消ヲ出願スルトキハ聞届可然哉

右相伺候至急御指揮被下度候也

(十六年十一月八日)

(指令)(十六年十二月三日) 第壹條申出ノ通 第二條製造品又ハ器械ノ内其一部分公賣決行セシ上ハ取消ノ限ニアラス

(二) 靜岡縣ヨリ諸稅則違犯處刑表編纂方ノ儀ニ付伺

十七年三月五日
官報第二百〇三號

諸稅則違犯者所刑ノ顛末報告ノ儀ニ付本年御省第拾壹號ヲ以テ御達ノ處右ハ租稅主任者ヨリ告發ニ係ルモノ、内本縣内ノ管轄裁判所ニ屬スルモノヲ編纂スヘキ儀ニ候乎又ハ告發者ノ誰タルヲ問ハス縣内裁判所ニ於テ處分相成候モノハ總テ可及報告儀ニ候哉若シ果シテ然ラハ他ノ告發ニ係ルモノニシテ處刑濟該裁判所ヨリ本縣ニ通牒ノ儀ハ其筋ヨリ各裁判所ニ御達可相成儀ニ候哉又ハ本縣ヨリ豫テ可及照會儀ニ候哉此段併テ相伺候也

(十七年二月廿二日)

(指令)(十七年二月廿九日)

伺之趣他ノ告發ニ係ル者ト雖モ總テ報告候儀ト相心得各裁判所ニハ其縣ヨリ照會致候事

(三)愛媛縣ヨリ税金不納者取扱方ノ儀ニ付伺

十七年四月十四日
官報第二百二十四號

第一條 組税不納者財産公賣處分ノ儀ハ納期翌日ヨリ三十日以内ニ完了スヘキ筈ニ付既ニ公賣處分決行シタル後税金完納スルモ公賣處分取消ノ限リニ無之ハ勿論ニ候得共公賣金ニテ税額ニ不足ヲ生シタルモノ右期日以内ニ於テ其不足金ヲ完納スルトキハ最前引揚タル鑑札ヲ返付シ營業繼續爲致可然哉

第二條 同上無財産ノモノハ鑑札引揚テ營業ヲ停止シ税金官損拂ノ儀ヲ申稟スル迄ニテ不納者ニ對シ別段處分ノ手數無之候得共納期翌日ヨリ三十日迄ハ處分中ノモノト見做シ右期日中ニ於テ税金完納スルキハ前條ト同シ營業繼續爲致可然哉 (十七年二月一日)

(指令)(十七年三月十四日)

第一條 公賣處分決行後ハ仮令處分期限内其欠額ヲ追納スルト雖モ營業繼續セシムル限ニアラス

第二條 前條ニテ了解スヘシ

(四)福島縣ヨリ納税代理人不納ノ節處分方ノ儀ニ付大藏内務兩省

伺

十八年七月十一日
官報第六百九號

戸長役所轄内ニ居住セスシテ該町村ニ土地ヲ有シ地租地方税等納税代理人ヲ置キタル者其租税未納者處分

訴訟用郵紙

十八

代理人怠納スルキハ本人ニ通知セズ直ニ賦課ノ財産ヲ公賣シ苦シカラヌヤ

(電報)(十八年六月廿六日)

(指令)(電報)(十八年七月九日) 伺之通

〔十〕 訴訟用郵紙

(一) 和歌山縣ヨリ漂流ノ訴訟文通郵紙拾揚ノ儀ニ付伺

十七年二月廿三日
官報第百九十三號

第一條 訴訟用郵紙ト雖モ其拾揚人ハ内國難破船及ヒ漂流物取扱規則ニ依リ相當保安料給與スヘキ儀ニ候得共該郵紙ハ普通ノ物品ト異ニシテ規則ニ依リ賣下爲取扱候儀ニ付猥リニ人民ニ於テ取扱フ可キモノニ無之且本紙ハ已ニ潮入ト相成廢物ニ屬セシ者ニ有之候就テハ其見積代價ハ如何相立可然哉

第二條 前條用紙ハ仮令瀛船黃龍丸ノ積載品ト推測スルモ現場難船物ノ保安ニアラスンテ難破ノ當日ヨリ五日ヲ經過シ數里隔絶セル場所ニ於テ拾揚候儀ニ付規則第八條ニ據ラス全ク第三十一條ヲ適用シ可然哉

第三條 前條用紙積載ノ應又ハ到達スヘキ應等追テ判然候モ到底正當ノ賣下用ニハ不相成モノニ付其應ヘ送達ヲ要セス明治九年(四月)大藏省乙第三十六號達ニ準據シ當應ニ於テ

燒却取計可然哉

(十六年十一月八日)

(指令)(十七年二月十四日) 伺之趣内國難破船及漂流取扱規則ニ依ルノ限ニ無之拾揚者ヘ其費用ヲ可下渡候條金員取調更ニ可申出事

但第三條現品處分方ノ儀ハ申出ノ通

(二) 愛媛縣ヨリ訴訟用ノ郵紙代金徵收期限ノ儀ニ付伺

十七年五月十三日
官報第百五十九號

受恩典者ニテ既ニ賣捌キタル訴訟用郵紙代金ハ手續第四條(印紙類代金ハ其下渡ヲ乞フ時三分ノ一ヲ納メ其餘ハ左ノ期限ニ從ヒ納ムヘシ第一期二月二十八日限第二期五月三十一日限第三期八月三十一日限第四期十一月三十日限)ノ期限ニ隨ヒ徵收シ可然哉

(十七年四月廿五日)

(指令)(十七年五月五日) 伺ノ通 但納期七月以降ニ涉ルモノハ十一年當省乙第五十九號達ニ據リ舊稅追納ノ名義ヲ以テ上納スヘシ

(三) 愛媛縣ヨリ訴訟用郵紙代金徵收期限ノ儀ニ付伺

十七年六月十日
官報第百八十三號

受恩典者ニテ既ニ賣捌キタル訴訟用郵紙代金ハ手續第四條(印紙類代金ハ其下渡ヲ乞フ時三分ノ一ヲ納メ其餘ハ左ノ期限ニ從ヒ納ムヘシ第一期二月二十八日限第二期五月三十一日

訴訟用郵紙

十九

限第三期八月卅一日第四期十一月三十日限ノ期限ニ隨ヒ徵收シ可然哉

(十七年四月廿五日)

(指令)(十七年五月七日) 伺之通 但納期七月以降ニ涉ルモノハ十一年當省乙第五十九號

達ニ據リ舊稅追納ノ名義ヲ以テ上納スヘシ

〔十一〕証印稅

(一)福岡縣ヨリ地券書換証印稅徵收ノ儀ニ付伺

十六年八月十六日
官報第四十號

地所賣買讓渡(代替ヲ除ク)等ニ依リ地券書換出願中破約セシテ以下戻ヲ請フニ郡役所ニ於テハ既ニ書換ヲ畢ヘタル後ナレハ又之カ書換ヲ爲サ、ルヲ得ス斯ノ如キモノ、證印稅ハ最初ノ書換ハ(賣買讓渡ノ名義ヲ以テ結了シタルモノナレハ)券面地價ニ據リ徵收シ再度ノ書換ハ(破約ニ歸シタル後全ク更正ノ書換ナレハ)一通三錢徵收スヘキヤ又ハ前後兩度トモ三錢宛徵收シ然ルヘキヤ右相伺候也

(十六年七月廿四日)

(指令)(十六年八月八日) 最後書換ニ係ル證印稅三錢ヲ徵收スルニ止ムヘキ儀ト可相心得

事

(二)山形縣ヨリ證印稅徵收ノ儀ニ付伺

十六年三月廿二日
官報第二百十六號

地所賣買讓與等ニテ地券へ名面記入ノ儀出願之節破損或ハ虫喰等ニテ記入スヘキ様無之場

合ニ於テハ直ニ讓受人名面ニ書換相渡賣買ニ係ル證印稅ノミ徵收スヘキヤ又ハ目下所有者名面ニ書換ノ儀出願爲致更ニ賣買手續ヲナシ證印稅ハ書換并賣買ニ係ル兩稅ヲ徵收スヘキ儀ニ有之候哉判然タル朋文無之依テ聊疑義ヲ生シ候ニ付相伺候也 (十七年三月七日)

(指令)(十七年三月十八日) 伺ノ趣前段申出ノ通賣買讓與ノ區別ニ據リ相當證印稅徵收ス

可キ儀ト可相心得事

(三)兵庫縣ヨリ証印稅徵收方ノ儀ニ付伺

十七年五月十三日
官報第二百五十九號

戶主死亡跡甲家督相續シ地券書換ノ後乙其相續ヲ不當ナリトシ出訴裁判ノ末乙相續人ニ確定シ地券書換出願セハ普通代替讓與ノ例ニ據リ印稅徵收シ然ルヘキヤ又ハ甲相續ノ際相當ノ手續ヲ經テ書換タル地券ナルニ其後彼我ノ争ヒヨリ得タルヲ以テ親族讓與ノ例ニ據リ印稅徵收シ然ルヘキヤ

(十七年四月廿三日)

(指令)(十七年五月三日) 前段申出ノ通

〔十二〕印紙賣捌

(一)福岡縣ヨリ印紙價額ヨリ低價ニ賣捌ノ儀ニ付伺

十六年八月二日
官報第廿八號

印紙賣捌人ニシテ分引ト稱ヘ印紙ノ價額ヨリ幾分カ低價ヲ以テ賣捌ノ者アリ這ハ官ヨリ定メタル價額ヲ亂ルノ廉ヲ以テ賣捌ヲ差止メ然ルヘキヤ右相伺候也 (十六年七月六日)

証印稅 印紙賣捌

(指令)十六年七月廿六日) 賣捌ヲ差止ムルニ及ハス分引ハ成ヲサル旨申渡スヘ

(二)大坂府ヨリ印紙類賣捌出願人處分ノ儀ニ付伺

十六年八月十八日
官報第四十二號

客年第二十七號公達第一條ニ依リ印紙賣捌ヲ出願スルモノ、内明治九年十月第九十九號公達陸軍恩給令發行以前ノ救助ヲ受クルモノ(明治七年二月佐賀暴徒征討ノ際陸軍ニ從事シ戦地ニ於テ傷痍ヲ受ケシニ因リ救助トシテ年金下賜ノモノ)ニシテ該令ニ依リ恩典ヲ受ケルモノニハアラサルモ功勞ニ依リ年金ヲ受クルハ異ナルコトナシ然ラハ印紙賣捌手續第一條ニ準據處分シ可然ヤ右相伺候也

(十六年五月廿六日)

(指令)十六年八月十日) 現今扶助ヲ受ケ居ルモノハ客年第二十七號布達第一條ニ準據シ

賣捌ヲ許可スヘキ儀ト可相心得事

(三)東京府ヨリ印紙類賣捌出願ノ受恩典者保証人ノ儀ニ付伺

十六年九月廿二日
官報第七十二號

受恩典者印紙類賣捌出願ノ者保証人ノ制限ハナキモ証人戸主ニ非サルカ又ハ戸主ト雖モ同居等ニシテ固ヨリ不動産ヲ所有セス拂下印紙價額ニ對シ保証ノ任不適當ト認ムルモノハ許可セラルヘキヤ右相伺候也

(十六年九月三日)

(指令)十六年九月十三日) 伺ノ趣保証人不適當ト認ムルモ更ニ相當ノ者ヲ撰定ノ上出

願セシムヘシ

(四)和歌山縣ヨリ印紙類賣捌ノ儀ニ付伺

十六年九月廿二日
官報第七十二號

明治五年以來公務上傷痍ニ罹リ終身壹人扶持扶助料下賜ノ元兵卒ニシテ同八年(四月)第四拾八號公達(陸軍武官傷痍扶助死亡者ノ祭葬家族扶助概則年金下賜ノモノ)ニ依リ客年(十月)第二十七號御布達印紙類賣捌手續第一條ニ準スヘキヤ右相伺候也(十六年八月四日)

(指令)十六年九月十八日) 伺ノ通

(五)静岡縣ヨリ印紙賣捌許否區分ノ儀ニ付伺

十七年六月十四日
官報第二百八十七號

印紙賣捌規程第三條(第一條ノ資格ヲ有スル出願者第二條ノ定員ニ滿タサルモハ一般陸軍恩給令海軍恩給令巡查看守給助例ニ依リ恩典ヲ受クルモノヲ以テ之ニ充ツヘシ)ハ現ニ恩典ヲ受ケ居ル者ニ限ルヤ又ハ既ニ一時ノ恩典ヲ受ケタル者モ包含スルヤ

(十七年六月三日)

(指令)十七年六月十日) 現ニ恩典ヲ受ケ居ルモノニ限ルヘシ

(六)福岡縣ヨリ印紙賣捌規程ノ儀ニ付伺

十七年七月四日
官報第三百四號

陸軍恩給令第二十六條ノ孤兒ハ印紙賣捌規程第壹條ノ資格アリヤ同第二十九條ノ父母祖父母ハ規程第三條ノ資格アリヤ

(十七年六月十日)

印紙賣捌

(指令)(十七年七月三日) 總テ申出ノ通

〔十三〕証券印紙

(一)静岡縣ヨリ諸帳簿貼用印紙消印ノ儀ニ付伺

十六年八月廿八日
官報第五十號

証券印紙規則第三則第二條ニ見積金高ヲ帳簿ノ初丁ヨ自記シ其金高ニ相當スル印紙貼用ノ上ハ必ス實印ヲ以テ調印スヘキヨ會社ニ在テハ取引上社長若クハ頭取等ノ實印ヲ用フヘキニ數人共同結社セシモノナレハ會社名ヲ以テスル諸帳簿ヘ貼用印紙ノ消印ニハ其社長ノ印形ヲ用フルモ差支ナキヤ右相伺候也
(十六年八月九日)

(指令)(十六年八月廿二日) 伺ノ通

(二)愛媛縣ヨリ証券印紙規則ノ儀ニ付伺

十七年二月廿八日
官報第九十七號

諸公債證書類ヲ貸借シ期限返却ノ節其借主ヨリ幾許ノ謝金ヲ與フヘキ旨記載アル證文ハ證券印紙規則第二則第一條二類中ノ金錢約定證文トシテ其謝金ノ額ニ應シ界紙又ハ印紙ヲ用ヒ無謝儀貸借ノ分ハ其證文ニ證書面ノ金額ヲ記入スルモ個ハ證書面ノ金額ヲ轉記シタルマテニテ實際取渡ヲ爲スヘキ金額ニアラサルヲ以テ金高記載無之約定證文トシ界紙ヲ用ヒ可然哉但公債証券預リ證文ノ儀モ本文ニ準シ可然哉
(十七年一月卅一日)
(指令)(十七年二月二十一日) 伺之通

(三)静岡縣ヨリ証券印紙規則中帳簿ノ儀ニ付伺

十七年二月四日
官報第七十七號

金高記載アル封金ノ儘受取タルモノハ第一類金錢判取帳ヘ記載セシムヘキヤ檢査ノ際貼用印紙ヘ他ノ印章ヲ以テ調印シアルモハ後來ヲ戒メ更ニ實印ヲ押サシムヘキヤ
(十七年一月廿八日)

(指令)(十七年一月廿九日)

前段金高記載アル封金ノ儘受取ルモノハ物品請取證ト視認メ荷物判取帳ヘ記載セシムヘシ後段申出ノ通

(四)高根縣ヨリ米穀借用證文ニ印紙貼用ノ儀ニ付伺

十七年六月廿日
官報第二百九十二號

米穀借用證文ハ證券印紙規則第一類相當印紙ヲ貼用スヘキ哉
(十七年六月六日)
(指令)(十七年六月十七日) 新稅則實施後ハ金高記載ヲテハ第一類記載アルハ第二類相當ノ印紙ヲ貼用スヘキ儀ト心得ヘシ

(五)愛媛縣ヨリ証券印紙規則ノ儀ニ付伺

十七年七月七日
官報第三百〇六號

証券印紙規則第一類期限ヲ定メサル預リ金證文ト第二類金錢當座預リ金證文トノ區分ハ利子ノ有無ニ仍テ區分スルモノニアラス而シテ第三條(前條ニ掲クル所ノ證書帳簿ト効用ヲ同フスルモノハ其名稱ニ係ハラス稅率ニ照シ相當ノ印紙ヲ貼用スヘシ)ノ明文アル上ハ證

書差出人ニ於テ適宜ニ付記シタル名稱ニ依リ印紙ヲ貼用セシムルモノニモアラス右ハ如何
心得然ルヘキ哉
(十七年八月八日)

(指令)(十七年九月五日) 全ク貸借ノ性質ヲ帯ヒサルモノ即チ保護預リノ類ハ期限ヲ定メ
サル預リ金證文無定期預リ金ノ使用及ヒ利子等ヲ約諾スルモノハ金錢當座預リ證文ニ屬
スル儀ト可相心得事

(六)山梨縣ヨリ證券印稅規則第二條第一類中送狀金高區別ノ儀ニ

付伺

十七年八月十一日
官報第三百三十六號

證券印稅規則第二條第一類ノ證書中營業ニ關スル送狀ニシテ金高五圓以上ノモノハ壹錢印
紙ヲ貼用スルノ制規ナリ然ルニ右金高ハ其送狀ヲ副フヘキ物品ノ送貨ニ係ルカ又ハ運送ス
ヘキ物品ノ代價ニ依ルカ
(十七年七月二十八日)

(指令)(十七年八月七日) 其運送物品ノ代價ニ據ルヘキ義ト心得ヘシ

(七)會計檢査院ヨリ定備諸職工及小使等ノ給料並旅費受領書ハ印

紙貼用ノ儀ニ付太政官ヘ伺

十七年十月廿三日
官報第三百九十七號

各廳作業場ニ於テ工事熟練ノ者或ハ學校卒業生ヲ採用シ他ノ技手同様ノ勤務爲致其身分取
扱ハ雇吏ト認ム可キモノニシテ事業上整理ノ都合ニ依リ其給料ハ職工給ノ名義ヲ以テ仕拂

フ者(工部省等給アル職工印刷局等内外職工ノ類)又官船定備ノ水火夫及各廳定備ノ給仕小
使ノ給料(月給日給ヲ論セス)若クハ旅費等受領證書ハ証券印紙ヲ貼用シ或ハ貼用セス各廳
取扱區々ニ涉リ且去ル十年九月工部省伺ヘ御指令ノ趣モ有之候處右ハ如何相心得可然哉
(十七年九月十八日)

(指令)(十七年十月二十一日) 伺ノ趣印紙貼用ニ及ハサル儀ト心得ヘシ

(八)石川縣ヨリ印紙貼用ノ儀ニ付伺

十七年十月廿八日
官報第四百壹號

本縣管下金澤區共有積金ト稱ヒ區會議決ヲ以テ年々收支シ常ニ其金ハ私立銀行ヘ無定期利
付預ケテ爲スモノアリ右金取扱ハ都テ同區役所ニ於テ主管スルヲ以テ假令ヘ人民共有金ト
雖ヒ區長ノ職權ヲ以テ主管スル以上ハ印稅規則第九條ニ依リ該證書印紙貼用ニ及ハス哉或
ハ別ニ出納取扱ヲ命シタルモノニアラサル上ハ第二類ニ依リ相當印紙貼用致サセヘク儀ト
候哉
(十七年十月七日)

(指令)(十七年十月廿日)

伺之趣區長ヨリ發スル證書ハ印紙貼用ニ及ハス銀行ヨリ發スル證書ハ第二類ニ據リ相當
印紙貼用セシムヘキ儀ト可相心得事

〔十四〕 船舶

証券印紙 船舶

(一)滋賀縣ヨリ湖川日本形船ノ儀ニ付伺

十六年七月廿一日
官報第十八號

湖川ノ日本形船ハ積石五十石以上ト雖ニ小廻船ト見做シ可然ヤ右相伺候也

(十六年七月三日)

(指令)十六年七月十七日) 小廻一途ニ用フルモノニ限り積石ニ均ハラス小廻船トス

(二)福岡縣ヨリ船稅規則取扱方ノ儀ニ付伺

十六年八月一日
官報第二十七號

第一條 本年太政官第十三號布告船稅規則第六條西洋形船噸數及日本形積石噸數改方ハ從前ノ手續ヲ以テ調査スヘキヤ將テ更ニ改方手續等御指示相成ルヘキヤ

第二條 前同條中積石五拾石未滿解漁船小廻船等ノ間數改方ハ自舩梁至舩梁トアリ右舩梁トハ貫木等ノ次位胴梁ノ上位ニアル表梁ノ義ナルヤ

第三條 同則第十條水田ノ耕作ニ用フル船トハ平生水浸ノ濕田ニシテ四圍川堀等縱橫相繋回シ苡稻肥料等都テ水路運搬ニ供スル船及離島ノ耕作ニ係ル海路運搬ニ用フル船等ヲ指スヤ將テ人畜立入難ク船ニ非ラサレハ往來シ能ハサル深泥ノ水田ニ用フル船噸ヲ船上ヨ挿秧苡稻等ヲナスモノニ限ルヤ

第四條 平生公園地内ノ池中ニ浮ヘ公衆ノ快樂ニ供スルカ學校構内ノ池中ニ浮ヘ生徒等ノ用ニ供スルカ陸地ニ揚置キ神祭ノ日ニ限り神輿ヲ乗セテ祭式執行ニ供スル等ノ船舶ハ船稅則範圍外ノモノトシ可然哉

第五條 土木工事一途ニ用フル船ハ稅則第十條ニ明文ナシ右ハ普通船稅ヲ賦課スヘキヤ將テ同則範圍外ナルヤ

右相伺候也

(十六年六月七日)

(指令)十六年七月十八日)

第一條 前段申出ノ通

第二條 申出ノ通

第三條 水田ノ深泥ニシテ船ニ非サレハ耕作シ能ハサル場所ニ用フル田船ヲ指タルモノニシテ耕作及其農具、作物肥料等ヲ運搬スルノ外他ノ用ニ供セサルモノニ限ル義トシ知スヘシ

第四條 無料ニテ公衆ノ快樂ニ供スルモノハ課稅ノ限ニアラス生徒等ノ使用ノ事實ハ取調更ニ伺出ヘシ官國幣社ノ神事ニ供スルモノハ課稅ノ限ニアラス

第五條 官廳ノ使用ヲ除ク外前段申出ノ通

(三)福井縣ヨリ渡船免稅ノ儀ニ付伺

十六年八月十四日
官報第三十八號

通路ナキ灣島ニシテ人ヲ乗スルノミニ用フル一村持ノ渡船アリ甲乙丙ノ各地ヘ渡航スル者船舶

ノ如キモ免稅ノ部ナルヤ右相伺候也

(十六年七月三十一日)

(指令)(十六年八月六日)

橋梁ニ換ル者ノ外ハ免稅ノ限ニアラス

(四)大坂府ヨリ免稅船ノ儀ニ付伺

十六年八月卅日
官報第五十二號

第一條 船稅規則第十條免稅ノ部ニ水田ノ耕作ニ用フル船トアリ右水田トハ陸田ニ對スル稱呼ニシテ一般ノ水田ヲ總稱シタル者ナルヤ將タ普通一般ノ水田ヲ總稱スルニアラス特ニ深田沼田等ヲ指稱シタルヤ

第二條 前條特ニ深田沼田ヲ指稱シタルモノナレハ川中付洲及海面埋立新田等ノ耕地ハ四圍水ヲ繞ラシ徒涉シテ耕地ニ達スル能ハス故ニ常ニ船力ヲ藉リ農具作物肥料等ヲ載セテ往來セリ該船ハ農事一途ニ使用シ他ノ運用ニ供セサルモノニシテ深田沼田ニ使用スル船ト毫モ軒輊ナキモ尙ホ免稅セサルヤ右相伺候也 (十六年七月三十日)

(指令)(十六年八月二十日)

第一條 水田トハ深田沼田等ニシテ船ニ非ラサレハ耕作シ能ハサル場所ヲ指稱ス

第二條 川中付洲海面埋立等ノ耕地ニシテ船ニ非ラサレハ往來シ能ハサル場所へ農具作物肥料等ヲ運搬スルノ外他ノ用ニ供セサル船ハ橋梁ニ換へ渡場ノミニ用フル船ニ準シ免稅スヘシ

(五)愛知縣ヨリ免稅船ノ儀ニ付伺

十六年九月七日
官報第五十九號

官報第二十七號伺指令欄内船稅規則第十條水田ノ耕作ニ用フル船ノ性質福岡縣伺ニ對シ水田ノ深泥ニシテ船ニ非サレハ耕作シ能ハサル場所ニ用フル田船ニシテ耕作及其農具作物肥料等運搬スルノ外他ノ用ニ供セサルモノニ限ル旨御指令有之ニ付テハ水田ニ非サル田圃へ耕作人便宜ノ爲メ農具肥料等運搬往返スル小船ハ無論免稅ノ限ニ非サルヤ右相伺候也 (十六年八月廿一日)

(指令)(十六年八月卅一日)

免稅ノ限ニ非ス但河川ヲ隔テタル耕地へ農具肥料又ハ其地ノ收穫物ヲ運搬スルニ止マル

船ナレハ規則第十條第四項ニ準シ免稅スヘシ

(六)德島縣ヨリ免稅船ノ儀ニ付伺

十六年九月廿七日
官報第七十七號

一村又ハ一部落ヲ割斷スル一川ヲ踰へ耕作スルモノアリ該上流或ハ下流ニ橋梁又ハ渡船場アルモ肥料農具等運搬迂回不便ナルヲ以テ一村或ハ一部落又ハ一己一人ニテ右耕作ニ往復スルノミニ設ケタル渡船ハ規則第十條中橋梁ニ換へ渡船ノミニ用フル船ニ準シ免稅シ可然ヤ右相伺候也 (十六年九月十二日)

(指令)(十六年九月廿五日) 伺ノ通

(七)愛媛縣ヨリ船税免否ノ儀ニ付伺

十六年十月廿三日
官報第九十七號

第一條 官報第五拾六號伺指令欄内大坂府伺第二條ニ對シ御指令(川中附洲海面埋立等ノ耕地ニシテ船ニ非サレハ往來シ能ハサル場所へ農具作物肥料等ヲ運搬スルノ外他ノ用ニ供セサル船ハ橋梁ニ換へ渡船ノミニ用フル船ニ准シ免税スヘシ)ノアリシコ因レハ甲ノ島民ニシテ乙島ノ耕地ニ肥料作物農具等ヲ運搬スルニ止リ一切他ノ用ニ供セサル船モ同様免税ト心得然ルヘキ哉

第二條 甲乙兩島間若シハ甲ノ陸地ト乙ノ島嶼トノ間ニ一日數回往復スル渡船ハ橋梁ニ換フルモノトシ免税ト心得然ルヘキ哉
右相伺候也
(十六年九月十日)

(指令)(十六年十月十六日) 第一條申出ノ通 第二條渡船ヲ定メ彼我ノ往復而已ニ用フル渡船ハ申出ノ通

(八)秋田縣ヨリ官用船處分方ノ儀ニ付伺

十六年十月廿三日
官報第九十七號

本年(四月)第拾號ヲ以テ船税規則公布アリ船税ニ關スル從前ノ布告布達ハ廢止セラレシニ該税則中官用船處分方明文ナシト雖モ六年第九拾三號布達ニ基キ管廳使用船ハ總テ無税ニテ廳銘號ノ燒印ヲ適宜ノ個處ニ押シ使用シ然ルヘキヤ右相伺候也(十六年九月廿六日)

(指令)(十六年十月十六日) 伺ノ通

(九)滋賀縣ヨリ船税賦課ノ儀ニ付伺

十六年十二月廿七日
官報第百五十一號

本縣琵琶湖ハ其周圍五十九里南北十五里二十七町東西平均五里強ニシテ該湖ニ用ナル船ハ湖上ノ外他ニ通スルヲ得ス畢竟海灣内ノ小廻ニ均キモノナレハ總テ該湖ニ用ル日本形船ハ小廻船トシテ課税シ然ルヘキヤ固ヨリ海船ノ灣内ニ使用スルモノト回漕トノ區分ノ如ク判然タル區別不相立モノニ有之候條右邊御洞察至急御指令被下度又右ノ如キ湖上一途ノ使用船ニテモ回漕ト小廻トノ區分ヲ要スル御旨趣ニ候ハ、其區分方詳細御指示被下度此段相伺候也
(十六年八月七日)

(指令)(電報)(十六年十二月十三日) 琵琶湖内ノ日本形回漕船ハ都テ小廻船トシテ課税ス

(十)兵庫縣ヨリ堰使用船ノ儀ニ付伺

十七年三月八日
官報第百五十五號

耕地養水ノ爲メ年々堰キチナスニ深淵ニシテ徒涉スル能ハス止ムヲ得ス船力ヲ藉リ土木ノ運搬ハ素ヨリ其堰キ方チナス船ハ一切他ノ用ニ供セサルモ免税ノ限ニアラヌカ

(十七年二月十八日)

(指令)(十七年二月二十九日) 伺之通

車税

三十四

(十一)山口縣ヨリ新造ノ免稅船証票ノ儀ニ付伺

十七年五月十三日
官報第二百五十九號

他管下ノ者本縣ニ於テ免稅船ヲ新造シ其定繫場迄歸港ノ節ハ假鑑札下付スヘキ限ニ非スヤ然ルキハ証票ナク管理上不都合ニ付假鑑札付與セサル旨ノ証書ヲ下渡シ然ルヘキヤ

(十七年四月二十一日)

(指令)(十七年五月六日) 伺ノ通

(十二)石川縣ヨリ免稅船取扱方ノ儀ニ付伺

十八年四月十五日
官報第五百三十三號

管下加賀國江沼郡中柴山湖瀉端ニ位置セシ村落該湖中數十町ヲ隔テ新開耕地ヲ有ス往復陸路ナキニハ非スト雖モ迂回不便ナルヲ以テ直徑往來スルニ船ニ非サレハ能ハス該箇所ニミ用ユル肥料農具作物類ヲ運搬スル船ハ免稅シ然ルヘキヤ

(十八年三月廿七日)

(指令)(十八年四月十日)

伺之趣場所及ヒ船ヲ指定シ橋梁ニ換ヘ渡場ノミニ用ユルモノニ限リ其他自家ノ用ニ供スルモノハ免稅ノ限ニアラサル儀ト可相心得事

但最前指令ニ及ヒタル分モ爾來本文ニ據リ取扱フ可シ

〔十五〕車税

(一)愛媛縣ヨリ車税免除ノ儀ニ付伺

十六年十二月四日
官報第三百一十一號

食鹽製造者製造用ニ供スル薪炭ヲ製鹽場ニ送り又ハ製鹽ヲ自宅若シハ問屋船積ノ場所等ヘ

運搬スルニ止リ他用ニ供セサル車ハ農夫ノ耕作一途ニ使用スルモノト敢テ異ナルナキヲ以

テ車税規則第五則ニ準シ免稅シ可然哉

(十六年十一月九日)

(指令)(十六年十一月廿九日) 伺之趣免稅ノ限ニ無之儀ト可相心得事

(二)静岡縣ヨリ車税ノ儀ニ付伺

十七年一月九日
官報第五百五十六號

消防器械ヲ運搬スルニ車ヲ用フルトキハ瞬間時間ニシテ相達シ頗ル便益ヲ與フル具ニ付平素準備非常ノ時ニ限り使用致度旨願出ルトキハ税則中據ルヘキナシト雖モ時ニ免稅致シ然ルヘキヤ此段相伺候也

(十六年十二月十二日)

(指令)(十六年十二月廿四日) 伺之通

但免稅ノ檢印ヲ押捺スヘシ

(三)東京府ヨリ一正立ノ馬車ニ正立ニ兼用ノモノ課稅ノ儀ニ付伺

十七年五月三日
官報第二百五十一號

一正立自用馬車壹輛ヲ所有スル者更ニ二正立ノ楫棒ヲ調製檢印ヲ受ケ置キ時宜ニ依リ一正立或ハ二正立ノ二途ニ兼用出願スル者アリ右ハ稅額ノ重キニ就キ壹輛分課稅シ可然哉

(十七年四月廿三日)

(指令)(十七年四月二十九日) 伺ノ通

車税

三十五

酒酢醬油稅則

三十六

(四)内務大藏兩省ヨリ郵便物運送車へ課稅ノ儀ニ付太政官へ伺

十八年七月二日
官報第六百二號

官用船舶馬車ノ儀ハ地方稅ヲ賦課セサル様明治十五年七月伺定ノ上府縣へモ相達置候ニ付
テハ驛遞局所用郵便物運送車ハ課稅セサル勿論ニ有之然ルニ各地郵便遞送車ノ内ニハ受負
人ノ自費ヲ以テ製造シタル者有之右ハ受負人ノ所有ニ屬スル者ニハ候得共製造樣式等總テ
驛遞總官ノ指定ニ從フモノニテ外面ニハ郵便御用ノ標識ヲ施シ他ニ使用スルヲ得ス官用ニ
ノミ供スルハ驛遞局所用ノ車輛ト同一ニ有之就テハ國稅地方稅トモ免除シ可然哉

(十八年五月四日)

(指令)(十八年六月十日) 伺之通

[十六] 酒酢醬油稅則

○ 酒

(一)愛媛縣ヨリ酒造免許鑑札記載方ノ儀ニ付伺

十六年七月廿七日
官報第二十三號

客年第六拾一號公布以前免許ヲ受ケタル酒造營業人ニ限リ稅則第四條二項ニ一項適用ニ及
ハサルニ付テハ其區分分明ナラシメン爲メ同第六條第七條ニ仍リ鑑札書換又ハ再渡ヲ要ス
ルトキハ其鑑札面ニ何年何月日免許何年何月日書換又ハ再渡ト記入シ可然哉

(十六年六月廿七日)

右相伺候也

(指令)(十六年七月十四日)

伺之趣六拾一號公布以前免許ノ者ト新規營業者トノ區別ハ鑑札面記入ニ及ハス帳簿上ニ
於テ分明ナラシムル儀ト可相心得事

但新規營業者ト雖モ翌期引續ノ者ハ稅則第四條三項ノ制限ニ據ラシムルニ及ハス

(二)滋賀縣ヨリ酒造營業引續ノ儀ニ付伺

十六年九月十三日
官報第六十四號

酒造營業鑑札ヲ返納セシメテ居タルモノ翌期中ニ引續キ營業出願スルトキハ新規ト見做ス
ノ限ニ非スヤ右相伺候也

(十六年九月五日)

(指令)(十六年九月七日)

十月一日迄ニ出願スルモノニ非レハ引續キ營業ト爲スノ限ニ非ス二日以後ニ出願スルモ
ノハ新規營業ト心得ヘシ

(三)福岡縣ヨリ酒造稅則取扱心得書第四十一項ノ儀ニ付伺

十七年四月十五日
官報第二百三十五號

家督相續及戸主タル者家族ニ酒類免許鑑札讓渡ストキハ稅則取扱心得書第四十一項(造石
稅納期以前免許鑑札ヲ賣與讓與シ又ハ廢業スル者ノ檢査濟酒類ニ係ル造石稅ハ其節之ヲ完

酒稅

三十七

納セシムヘシ)ノ限外ナルヤ

(十七年四月二日)

(指令)(十七年四月九日) 代換リニ依リ酒造免許鑑札ヲ書換タルトキハ税則取扱心得書第四十一項ニ據ルコ及ハスト雖モ代換リニアラスシテ家族へ鑑札讓渡ストキハ四十一項ニ據ルヘキ儀ト心得ヘシ

(四)山形縣ヨリ自家用料酒廢棄ノ儀ニ付伺

十七年一月十四日
官報第百六十號

自家用料酒類非常(風水火震)ノ災害或ハ腐敗ニ罹リタル石數其期中代料トシテ再ヒ製造スルヲ得ヘキヤ將テ過誤ニ出ル流失棄損ニ屬スル分ハ前文ニ據ラサルヤ右ハ目下調査上疑似ニ涉リ候條至急御指揮相成度候也

(十六年十二月廿八日)

(指令)(十七年一月九日) 申出ノ通

但非常災害ノ實況及ヒ腐敗酒トモ検査ヲ受ケシムヘシ

(五)新潟縣ヨリ酒類造石稅前納ノ儀ニ付伺

十八年四月廿日
官報第百廿六號

爰ニ酒造營業人アリ税金納期日前酒類造石稅一時即納(例ヘハ一期中二三期ヲモ併セテ納ムルノ類)致度旨出願スルキハ開屆總テ一期へ領收シ不苦哉

(十八年三月四日)

(指令)(十八年二月十三日) 伺之趣申出ノ通取計不苦候事

但收納ニ係ル諸證書切符等ニハ都テ第何期へ一時上納ト加書スヘシ

○ 酢

(一)京都府ヨリ酢造營業者ノ儀ニ付伺

十七年二月廿日
官報第百九十號

第一條 酢造營業者酢元ニ供スル爲メ酒類ヲ製造スル者ハ酒造場一ヶ所毎ニ免許鑑札ヲ下付スヘキ儀ニ有之哉果シテ然ラハ該鑑札ハ府廳ニ於テ國稅徵收費ノ内ヲ以テ調製シ下付シ可然哉

第二條 前條酒類造石稅ハ第一類相當課稅シ可然哉

第三條 酢元ニ供スル酒類製造スル者酢製成ノ上届出シハ開置候迄ニシテ其石數ノ検査ヲ要スルコ不及儀ト相心得可然哉

第四條 酒造營業人ヨリ検査濟腐敗酒(造石稅免除)買入酢元酒類ニ活用スル場合ニ於テハ其石數ヲ査定シ課稅致シ可然哉

(十七年一月廿九日)

(指令)(十七年二月十二日)

第一條 前段申出ノ通後段鑑札ノ儀ハ酒造免許鑑札ニ酢元用ノ三字ヲ冠ラヒ下付スヘシ

第二條 酒造稅則第二條中ノ各類別ニ據リ課稅スヘシ

第三條 申出之通

第四條 課稅ノ限ニアラス

酢醬油稅則

但其腐敗酒燒酎等ニ變製シテ酢造元ニ供スルモノハ此限リニアラス

○ 醬油

(一)千葉縣ヨリ未製成ノ醬油販賣ノ儀ニ付伺

十八年七月一日
官報第五百九十九號

廢業ニ非スシテ未製成ノ醬油ヲ他ニ賣渡スルハ苦シカテスヤ

(十八年六月十一日)

(指令)(電報)(十八年六月十七日) 相成ラス

(二)熊本縣ヨリ醬油製造場區域ノ儀ニ付伺

十八年七月一日
官報第六百一十一號

醬油製造營業人ニシテ居家ニ榨リ器械ヲ設置シ他ノ土藏(別屋敷ナリ)ニ醸造醗ヲ貯藏セシ

モノアリ右ハ製造所ニケ所トスヘキ儀コレ有リ候哉

(十八年六月三日)

(指令)(電報)(十八年六月十五日) 申出之通

(三)福井縣ヨリ醬油稅則中疑團ノ儀ニ付伺

十八年七月十五日
官報第六百一十一號

第一條 稅則第二十一條ニ同居ノ家族雇人トアリ右雇人トハ年期ヲ定メ雇主ノ家コアルモ

ノ、謂ニシテ一箇苦シハ四ケ月間臨時ニ雇使スルモノ、如キハ勿論含有セサル義ト心得

然ルヘキ乎

第二條 自家用料ノ醬油ト雖モ本年仕込タル醗ヲ翌年或ハ翌々年製成スル者之レアリ然ル

ニ本年ノ家族雇人ヲ合シテ十人此ノ人員ニ當テ壹石五斗ノ見込ヲ以テ製成スルモ翌年ニ

至リ家族雇人ノ内二人ヲ減少シ製成スルキハ二人分ノ石數過剩スルコト之レアリ此場合

ニ於テハ如何處分シ然ルニキ哉

(十八年六月十九日)

(指令)(十八年六月廿九日)

伺之趣左之通可相心得事

第一條 雇人トハ一ケ月以上雇主ノ家ニ於テ雇使スヘキ契約アリテ其家ニ住居スルモノ

ニ限ルヘシ

第二條 製成石數ハ仕込ノ年度ニ拘ハラヌ毎年一月ノ現員ニ據リ計算スヘシ

但本年ニ限リ七月ノ現員ヲ以テスヘシ

(四)長崎縣ヨリ醬油番水ノ儀ニ付伺

十八年七月十五日
官報第六百一十一號

醬油ノ番水ヲ其ノ儘賣ルハ課稅シ醗ニ混シ搾ルモノハ別ニ課稅セサルヤ

(十八年六月三十日)

(指令)(電報)(十八年七月三日)

醬油番水ノ儘賣ルモノハ申出ノ通醗ニ混スルモノハ單ニ搾上ケノ總石數ニ課稅スヘシ

(五)高知縣ヨリ醬油稅則取扱ノ儀ニ付伺

十八年七月卅一日
官報第六百廿五號

第一條 従前醬油製造營業人ヨシテ本年六月限リ廢業シ其殘醬油醗ノ儘今後自家用料トシ

醬油稅則

制限以上ニ當ル石數ヲ所持スルハ苦シカラヌヤ

第二條 従前醬油受買人ニシテ本年六月以前ニ於テ自家用料ノ爲メ製造セシ醬油醗ノ儘所持スルハ苦シカラヌヤ

第三條 前兩條苦シカラヌトセハ即今右石數届出サセ置キ其家族ノ八員ニ應シ制限ノ石數ヲ以テ計算シ年數ヲ定メ其年限中別ニ製造スヘカラスル儀カ又ハ本年六月以前ノ製造ニ係ルモノハ格別トシ今後更ニ制限以内ノ石數製造スルハ苦シカラヌヤ

(十八年七月四日)

(指令)(電報)(十八年七月十五日)

第一條第二條ハ申出ノ通但第二條七月以後ニ於テ製成スルヲ得ス第三條更ニ制限ノ石數ヲ仕込ムヲ得ト雖モ毎年ノ製成ハ制限ニ依ラシムルヘシ

(六)滋賀縣ヨリ醬油製造場ノ儀ニ付伺

十八年八月一日
官報第六百二十九號

醬油製造所貳區域ニシテ甲ニハ醗蓄藏場及搾リ器械釜場等ヲ備ヘ乙ハ單ニ醗ヲ蓄藏スルニ止マルモノ或ハ乙ニ釜場ヲキノミ餘ハ甲ト同シキモノアリ甲乙區域ノ距離ニ公道公川等ヲ隔ルニ過キス隨テ醗熟成ノ摸樣ト賣捌ノ都合等ニ依リ甲ノ醗ヲ乙ニ又ハ乙ノ醗ヲ甲ニ移轉合併シ或ハ搾リ或ハ仕込其他都合ニ依リ時々醗ヲ移轉スルモノアリ到底區域コトニ見込

石高ヲ始メ醗仕込及搾リ上ケ等終始分離シ難シ右等ノ如キ止ヲ得サルモノニ限リ營業稅ハ各箇ニ課スルモ見込石高其他檢査上ハ二區域ヲ壹箇所ト視做シ取扱度相伺候也

(十八年七月十六日)

(指令)(十八年七月廿五日) 伺ノ趣聞届候事

(七)和歌山縣ヨリ醬油稅則中疑義ノ廉伺

十八年八月四日
官報第六百二十八號

第一條 醬油製造場狹隘ナルモノ區域外ノ倉庫納屋ニ於テ仕込ヲ爲シ成熟ノ後之ヲ製造場ニ移シテ搾リ上ケ右倉庫等ヲ製造場ノ附屬トナスヲ請フモノアリ元來醬油ハ一箇年乃至三箇年ノ後始テ搾リ上ルヲ以テ(酒類ノ如ク速ニ成熟セス)其間時々檢査ヲナスニ於テハ奸曲ヲ施スヘカラス若シ之ヲ禁セハ營業上不便隨テ醗造石數ヲ減シ或ハ廢業スヘキモノモ之レアルヘキニ付實際止ヲ得サル分ニ限リ差許スモ妨ナキヤ

第二條 一旦卸小賣ヲナシタル醬油醗又ハ苦味等ヲ生スル爲メニ買戻シテ要スルモノアリ此場合ニ於テハ製造家又ハ仲買人他ノ精良ノ醬油及ヒ攪水ヲ混和煮合シテ更ニ販賣スルハ酒類ヘ他ノ酒又ハ水ヲ混和シテ販賣スルモノト同一ニ付不問ニ措キ然ルヘキヤ

(十八年七月一日)

(指令)(十八年七月廿二日)

醬油稅則

煙草稅則

四十四

第一條 製造場貳箇所ト爲シ免許スヘシ

但貳箇所ノ免許ヲ得タル上諸味ヲ他ノ製造場ニ移シテ絞上ルハ妨ナシ且既ニ免許ヲ得タル貳製造場ニシテ検査上戸別ニ不便ナル者ハ更ニ事實ヲ具シ伺濟ノ上其帳簿ヲ一括ニ爲スコトヲ得

第二條 摺水ヲ混和スル者ハ増石噸ニ就キ課稅シ其検査未濟ノ醬油ヲ混和スル者ハ稅則第十條ニ從フベシ

(八)滋賀縣ヨリ醬油稅則ノ儀ニ付伺

十八年八月八日
官報第六百三十二號

第一項 醬油未製成ノ儘密賣又ハ竊ニ自用贈物等ニ供スチモノ、別條稅則ニ明文アラサレ
稅則第八條ニ醬油ハ製成ノ後五日以内ニ管廳ニ届出検査ヲ受ケヘシトアルニ據レハ必製成ノ上検査ヲ受ケタル後ニアラサレハ販賣又ハ自用等ニ消費スルヲ得サルモノニシテ若シ犯ス者アルキハ同則第二十六條ノ罰令ニ照シ告發シ可然哉

(十八年七月十七日)

(指令)十八年七月廿七日)伺之趣申出ノ通可相心得事

(十七) 煙草稅則

(一)滋賀縣ヨリ煙草小賣許可否ノ儀ニ付伺

十六年七月二日
官報第壹號

煙草製造人ヨリ賣銀ヲ受ケ自家ニ於テ製造スル者煙草小賣ノ免許ヲ受ケ其店頭ニテ販賣スルキハ裝置及消印等ニ據リ自他ノ區別ヲ立ツヘシト雖實際曖昧ニ涉リ弊害ヲ生スヘキニ付前條小賣ハ許可セサル方可然ヤ右相伺候也

(十六年六月十一日)

(指令)十六年六月廿二日)願出ニ任セ免許スヘシ

(二)京都府ヨリ卷煙草ノ儀ニ付伺

十六年七月十日
官報第貳號

卷煙草ハ印紙貼用ニ及ハス且煙草營業人ノ外ニ於テ賣買スルモ不苦哉右相伺候也

(十六年六月十八日)

(指令)十六年六月十三日)前段申出ノ通後段營業人ノ外販賣不相成

(三)長崎縣ヨリ煙草營業者自宅外ニテ煙草製造否ノ儀ニ付伺

十六年七月十一日
官報第陸號

賃切人ニ付シ煙草製造セシムルハ營業者自宅ノ外ニテモ差支ナキヤ右相伺候也

(十六年六月廿九日)

(指令)十六年六月卅日)本年第二十號布達第十項ノ手續ヲ經タルモノハ申出之通

(四)福岡縣ヨリ卷烟草ノ儀ニ付伺

十六年七月十三日
官報第拾壹號

煙草稅則

四十五

稅則第十三條ノ裝置區分ニ刻莩トノミ明文アリ刻マサル卷莩ハ如何スヘキヤ右相伺候也

(十六年七月五日)

(指令)(十六年七月七日) 裝置區分ヲ爲サシムルノ限リニアラス

十六年八月二日
官報第廿八號

(五)山形縣ヨリ烟草印紙貼用方ノ儀ニ付伺

烟草稅則改正前ヨリ裝置ノ儘持越シタル玉造ハ角印紙ヲ貼用スルモ差支ナキヤ右相伺候也

(十六年七月三十一日)

(指令)(十六年八月三日) 申出ノ通

(六)富山縣ヨリ烟草小賣人賃切ノ際箱詰玉造ヲモ爲シ得可ヤ否ノ儀ニ付伺

十六年八月二日
官報第廿八號

官報第壹號滋賀縣同烟草小賣人賃銀ヲ受ケ自家ニ於テ製造トアルハ箱詰玉造ヲモ爲スチ得ヘキヤ右相伺候也

(十六年七月廿八日)

(指令)(十六年八月一日) 賃切人ノ自家ニ於テ刻マシメタル烟草ヲ箱詰玉造紙包ミ等ニ裝置スルハ製造人ニ於テ爲スヘキモノト心得ヘシ

(七)山形縣ヨリ烟草鑑札下附並ニ區分方ノ儀ニ付伺

十六年八月二日
官報第廿八號

烟草引續小賣及ヒ廢業ノ者稅則改正施行前ヨリノ殘業烟草賣捌ニ鑑札下付スヘキヤ

烟草仕入出賣ノ鑑札表面ハ姓名ノ上ニ營業ノ區分アルニ付キ單ニ仕入出賣ト而已區分スヘキヤ

右伺候也 (十六年七月十四日)

(指令)(十六年七月廿六日) 殘業烟草賣捌ノ者仲買鑑札下附及仕入出賣鑑札表面記載方ハ

渾テ申出ノ通

(八)大坂府ヨリ烟草製造人ノ儀ニ付伺

十六年八月六日
官報第卅一號

烟草製造免許ヲ受ケタルモノ耕作人ノ自宅ニ於テ耕作人ノ自用烟草ヲ製造スルハ差支ナキヤ右相伺候也 (十六年七月廿七日)

(指令)(十六年七月三十日) 烟草製造人ハ製造場外ニ於テ製造スルコト得ス

(九)茨城縣ヨリ烟草崩賣ノ儀ニ付伺

十六年八月八日
官報第卅三號

刻烟草五匁以下崩賣ニ爲スハ五匁玉ノミニ限ルヤ將テ稅則第拾三條ニ據リ裝置セシ内何レヲ崩賣ニナスモ妨ケナキヤ右相伺候也 (十六年七月廿三日)

(指令)(十六年七月三十日) 後段申出ノ通

(十)山形縣ヨリ烟草印紙貼用方ノ儀ニ付伺

十六年八月十三日
官報第卅七號

烟草稅則改正前ヨリ裝置ノ儘持越タル玉造ハ角印紙ヲ貼用スルモ差支ナキヤ右相伺候也

烟草稅則

(十六年七月三十一日)

(指令)(十六年八月三日) 申出ノ通

(十一)宮城縣ヨリ烟草稅則ノ儀ニ付伺

十六年八月十三日
官報第三十七號

烟草營業者出店ヲ設クルトキハ其店毎ニ鑑札下附シ可然ヤ右相伺候也

(十六年八月一日)

(指令)(十六年八月六日) 申出之通

(十二)静岡縣ヨリ烟草印紙ヘ量目並烟草銘附記ノ儀ニ付伺

十六年八月廿三日
官報第四十六號

第一條 本年太政官第貳拾號布達第三項ニ量目ヲ附記スヘシトアリ然ルニ帶印紙ニハ何勿用ノ文字其彩紋中ニ刷出シアルヲ以テ帶印紙ヲ用ル者ニ限り特ニ量目ヲ附記スヘシ

第二條 烟草稅則第十四條ニ依リ結束セシ帶印紙面ヘ烟草銘國分ト記スルノ類ヲ附記致度旨申出ルモノアリ右ハ販賣上必要ト云フト雖モ印紙ヲ汚損スルニ似タリ就テハ假令餘白タリトモ烟草銘ヲ附記スルハ相成ラスヤ右相伺候也 (十六年八月六日)

(指令)(十六年八月十七日)

第一條 帶印紙ニ何勿用ノ文字刷出シアルモ猶量目ヲ附記スヘシ

第二條 申出ノ通

但烟草銘ヲ小紙片ニ記載シ印紙彩紋ノ側面ヘ貼附スルハ苦シカラス

(十三)三重縣ヨリ烟草印紙消印ノ儀ニ付伺

十六年八月廿五日
官報第四十八號

烟草印紙ハ實印又ハ仕切判ヲ以テ消印スヘキヲ其他ノ印ヲ用フルトキハ後來ヲ戒メ既ニ消印セシ分ハ再貼セシムルニ及ハスヤ右相伺候也 (十六年八月十四日)

(指令)(十六年八月十八日)製造人ノ印章コシテ其印面七分以上ノモノナレハ何等ノ印ヲ川

フルモ差支ナシ

(十四)山形縣ヨリ烟草定價附記ノ儀ニ付伺

十六年九月十三日
官報第六十四號

本年第貳拾號布達烟草稅則中心得第三項ニ價格及量目ヲ附記スヘシトアリ右價格トハ稅則第十三條ノ定價ニ據リ價格何拾錢以上何拾錢未滿ノ分ト附記スルカ又ハ價格即チ定價何拾何錢ト附記スル儀ナルカ右相伺候也 (十六年八月廿七日)

(指令)(十六年九月八日) 後段申出ノ通一箇ノ定價ヲ附記スヘシ

(十五)静岡縣ヨリ烟草帶印紙消印ノ儀ニ付伺

十六年十月十日
官報第八十七號

帶印紙ニテ結束セシ烟草其封緘ノ箇所ヨリ彩紋ヘ掛ケ消印スルモノハ壹ケ所ニテ差支ナキヤ右相伺候也 (十六年九月廿五日)

烟草稅則

(指令)十六年十月五日) 申出ノ通

(十六)熊本縣ヨリ烟草稅則實施上疑議ノ儀ニ付伺

十六年十二月十五日
官報第四百一十一號

國立銀行其他ニ於テ烟草稅則改定施行以前滯貸金ノ抵當質トシテ取置タル未製造烟草ノ流
込トナリタルヲ所持スル者有之トキ該烟草ハ賣却ノ途ナキ者ノ如シ然レハ此場合ニ於テハ
仲買營業ノ免許ヲ與ヘ賣却セシメ可然哉此段相伺候也 (十六年十一月廿六日)

(指令)十六年十二月十日) 伺ノ通

(十七)長野縣ヨリ烟草稅則取扱方ノ儀ニ付伺

十七年一月十九日
官報第六十五號

第一條 烟草製造人ニシテ仲買又ハ小賣人ノ賣子トナルヲ得ヘキ哉果シテ然ラハ自己ノ販
賣品ト賣親ハ仲買人又ハ小賣人ヨリ附托セラレタル販賣品トテ併帶出賣スルモ苦シカラスヤ
第二條 前條之趣雇人タルノ資格ト自己本分ノ職業トヲ混スルモノナレハ差許サ、ル可キ
ヤ若シ差許サ、ルモノトスルハ一家族中甲乙二人ノモノ製造ト小賣ト一業ツ、鑑札申
受ケ甲ハ乙ノ賣子トナリ乙ハ甲ノ賣子トナラソト出願スルモ許可スヘカラサルヤ
(十六年十二月十八日)

(指令)十七年一月十五日)

第一條 出賣ハ自己又ハ家族雇人ニ限ル儀ニ付製造人ニシテ仲買小賣人ノ爲メニ出賣ス

ルハ相成ラス

第二條 一家族中甲乙ノ者各々一業ツ、願受ルニ於テハ互ヒニ其賣子トナルモ苦シカラ
ス

(十八)滋賀縣ヨリ烟草規則上疑議ノ儀ニ付伺

十七年十月十三日
官報第三百八十九號

犯則ニ由リ官沒トナリタル刻煙草ヲ裁判所ニ於テ公賣ニ付スルモハ其煙草ノ現在ノ裝置規
則ノ適否ニ拘ハラヌ製造人ノ外仲買人小賣人ニ於テハ買受クルヲ得サル乎果シテ然ラハ製
造人其買受ケタル煙草へ更ニ裝置相當ノ印紙貼用スヘキハ勿論ニシテ之ヲ爲サ、ルモノハ
規則第三拾五條(烟草營業者ニシテ無印紙又ハ不足印紙ノ刻煙草ヲ所持シ又ハ賣渡シタル
者ハ拾圓以上百圓以下ノ罰金ニ處シ云々)ノ違犯者トシ又仲買小賣人ニ於テ之ヲ買受ケ更
ニ量目五匁以下ニ裝置シ二厘印紙ヲ貼用シタルモ素ト買受クルヲ得サルモノヲ買受ケタル
モノナルヲ以テ同規則第三拾七條(烟草營業者ニシテ無印紙又ハ不足印紙ノ刻煙草ヲ買受
ケタル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス云々)ノ違犯者トシ告發スヘキ乎右ハ今般檢
査上發見ノ者之レアリ候ニ付此段相伺候也 (十七年九月八日)

(指令)十七年十月六日) 伺之趣製造人ハ申出之通仲買小賣人ハ之ヲ買受クルヲ得サル儀
ト可相心得事

菓子税則

但仲買小賣人ニシテ既ニ之ヲ買受タルモノアラハ此度限り將來ヲ誠諭シ其煙草ハ崩賣トナサシムヘシ

○十七年十月十三日滋賀縣ヨリ煙草税則上疑義ノ件ニ付伺ノ御指令左ノ通り改正
十八年一月三十一日
官報第四百七十三號

(指令)

伺ノ趣税則ニ適スル刻煙草ハ何人ヲ問ハス買受クルヲ得ヘシト雖其適セザルモノハ製造人ニ限り買受改装スルヲ得ル儀ト可相心得事

但仲買又ハ小賣人ニシテ既ニ税則ニ適セサル煙草ヲ買受ケタル者アラハ此度限り將來ヲ誠諭シ其煙草ハ崩賣トナサシムヘシ
(十八年一月廿四日)

〔十八〕菓子税則

(一)高知縣ヨリ西洋菓子課税ノ儀ニ付伺

十八年六月四日
官報第五百七十六號

西洋菓子ノ卸小賣ヲ爲ス者ハ菓子税則ニ據リ課税スヘキモノナルヤ(十八年五月十八日)

(指令)(十八年五月廿六日) 申出ノ通心得ヘシ

(二)東京府ヨリ菓子税則中疑義ノ儀ニ付伺

十八年六月四日
官報第五百七十九號

一税則第八條ニ掲ケタル菓子業者ノ雇人ハ菓子製造及仕入出賣店賣等ニ従事スル者ニ限
ラス一家總テノ雇人(炊飯裁縫等ニ使役スル者共)ヲ指タルモノニ有之哉果シテ然ラハ菓子業者ニシテ他ノ營業ヲ兼ヌル者ハ其雇人中菓子一途ニ従事スル者ト他ノ營業ニ従事スル者トハ自カラ區別アルヘシト雖トモ同ク一家ノ雇人ダレハ是ヲ菓子營業ノ一方ヨリ視ルキハ殆ト分別シ難シ況ンヤ炊飯等ノ雜事ニ使役スルモノハ誠ニ其限界ヲ定メ兼候如此モノ、區別ハ如何相心得可然哉
一税則第十七條ニ製造器械ヲ沒收ストアリ然ルニ製造器械員數届出ノ明文無キテ實際處分ノ場合ニ臨ミ其區別ハ検査員ノ認定ニ有之儀ト相心得可然哉
一左記品目ノ如キモ菓子ノ範圍内ニ有之候哉

煎餅類(塙煎餅八ッ橋煎餅辻占煎餅ガラガラ煎餅ツクハ子煎餅)餡類汁子類(汁子懷中汁子)團子類(醬油團子餡團子黃粉團子味噌團子)餅類(葛餅阿部川餅太々餅萩ノ餅牡丹餅櫻餅柏餅蒲荷餅)麵飽類(餡パン菓子パン食パン)砂糖豆類(福德豆茶豆源氏豆南京豆豌豆空豆ノ類砂糖ヲ用ヒテ包粧セシモノ)金花糖ヲコシカキ餅吹寄類輕燒カリソ糖紅梅燒氷菓
子(アイスクリームノ類)白玉トコロタン(砂糖ヲ調用スルモノ)寒天(甘露糖ノ類)砂糖煎金時揚ケ餅切り揚水砂糖砂糖(果物菌蔬菜ノ類ヲ乾燥シテ砂糖漬ト爲シタルモノ及罐詰

菓子税則

ノ類)シニコ細工文珠焼干柿

(十八年五月廿二日)

五十四

(指令)(十八年六月四日) 伺之趣左之通可相心得候事

第一項 税則ノ雇人トハ菓子ノ製造其他菓子業ニ従事スルモノヲ指ス故ニ菓子業ニ従事セシテ専ラ他ノ業務ヲ執ルモノハ算入セサル者トス但附籍寄留ノ者其他手傳等ノ名義ヲ以テスルモノト雖モ雇人同様ノ業務ヲ執ルモノハ總テ算入スルモノトス

第二項 菓子製造ノ用ニ供シタルモノハ没收スルモノトス

第三項 搥煎餅餡汁子(懷中汁子ヲ除ク)團子餅類(葛餅櫻餅大福餅ノ類ニシテ砂糖餡ヲ包ミタルモノヲ除ク)食麵飽氷砂糖白玉心天寒天(甘露糖ヲ除ク)切り揚眞粉細工干柿氷菓子砂糖漬ノ内糖汁ニ浸シタルモノ、類ハ菓子ノ範圍外トス

(三)栃木縣ヨリ菓子税則中疑義ニ付伺

十八年六月十二日
官報第五百八十三號

第一條 税則第八條第三項ニ露店又ハ呼賣ヲ業ト爲スモノハ其營業稅ヲ免除ストアリ右呼賣トハ路上ヲ發聲行商スルモノヲ指稱スルヤ也タ單ニ需求者ノ家宅ニ臨ミ販賣スル行商モ呼賣ト併稱スヘキヤ

第二條 家屋外(軒下)ヘ口板或ハ椽梁等ヲ置キ菓子類ヲ販賣スルモノハ露店ト同視スヘキヤ

第三條 本年六月三十日以前製造ノ菓子モ七月一日以後ノ販賣ニ係ルモノハ無論賣上金高

ニ組込納稅セシムヘキヤ

(十八年五月廿六日)

(指令)(十八年六月八日)

第一條 後段申出ノ通

第二條 申出ノ通但自家ノ軒下ニ於テスルモノハ此限ニアラス

第三條 申出ノ通

(四)石川縣ヨリ菓子税則中疑團ノ儀ニ付伺

十八年六月十二日
官報第五百八十三號

税則中呼賣トハ路頭ヲ徘徊スルモノ出賣トハ家々ヘ立寄り又ハ小賣露店ヘ賣捌クモノヲ指稱スヘキヤ (十八年五月廿八日)

(指令)伺之趣呼賣トハ店舗ヲ設ケス專ラ需用人ニ賣捌クモノ出賣トハ定マリタル店舗ヨリ他ニ派出シテ同業者又ハ需用人ニ販賣スル儀ト可相心得事

(五)静岡縣ヨリ菓子營業者仕入鑑札下付方ノ儀ニ付伺

十八年六月十五日
官報第五百八十五號

菓子製造人原質品買人及ヒ自製ノ菓子小賣スルモノハ仕入鑑札ヲ受クルコ及ハスヤ

(十八年六月五日) 電報

菓子税則

五十五

(指令) 十八年六月十日) 菓子原質品買入又ハ自家ニテ仕入チナスモノハ仕入鑑札ヲ要セ

(六) 神奈川縣ヨリ菓子税則中疑團ノ儀ニ付伺録

十八年六月十八日
官報第五百八十八號

第五條 税則第八條ニ掲クル雇人トハ其家ニ戶籍ヲ入レ又ハ寄留スルモノニ止ラス一時雇

(俗ニ渡リ職人ト云フ)ノ者モ含有スルノ義ナルヤ

第六條 露店又ハ呼賣ヲ爲ス者トハ自ラ製造者ヨリ買受自己又ハ家族ヲ以テ營業ニ從事シ

自家店頭ノ營業ヲナス要スルニ微々タル業體ノ者ヲ指スノ意義ニ候哉果シテ然ラハ別

ニ出賣鑑札ヲ下付セス(仕入鑑札ヲ下付スルハ勿論)營業鑑札ヲ携帯セシムル者ニシテ其

業體一家一人ニ止マルモノニ候哉

但本文ニ據レハ本人ニ代リ其鑑札ヲ以テ家族一時營業ヲ助クル場合アルモ苦カラズヤ

第七條 露店呼賣者ト事實ヲ同フスルモ自家ニテモ營業ヲ爲ス上ハ出賣者トシテ賣上高ヲ

合算シ課税スルハ勿論ナルヤ

第八條 菓子營業ト他ノ營業トヲ兼スル者ニシテ一店內區域ヲ異コセス雇人ヲ區別セサル

モノハ其總員ニ就キ課税シ一店内ト雖モ自ラ區域ヲ異ニシ雇人ノ區別アルモノハ之ヲ分

別ニ課税スヘキヤ

(十八年五月十八日)

(指令) 十八年六月九日) 第五條 第七條申出ノ通

第六條 露店又ハ呼賣ヲ業トスルモノハ一家一人ニ限ラス營業各人ニ其鑑札ヲ下付スヘ

キ

但家族ノ者露店又ハ呼賣先ニ於テ其業ヲ助クルハ苦シカラズ

第八條 雇人ハ申出ノ通

但府内ノ區域ヲ異ニスルト否トニ關セス

(七) 鹿兒島縣ヨリ菓子露店呼賣鑑札下付ノ儀ニ付伺

十八年六月廿六日
官報第五百九十五號

菓子露店ノ者子弟ヲシテ呼賣ヲ爲ス者ハ出賣鑑札ヲ下付シ又一人ニシテ露店呼賣ヲ兼スル

者ハ營業鑑札二枚下付スヘキヤ

(十八年六月九日)

(指令) 十八年六月十三日) 露店業ノ者子弟ヲシテ呼賣ヲ爲サシムル時ハ更ニ其子弟ニ呼

賣ノ鑑札ヲ下付シ出賣鑑札ヲ下付スルノ限リコアラズ又露店業ノ者呼賣ヲ兼スルトキハ

鑑札ニ露店呼賣ト列記シ二枚下付スルニ及ハス

(八) 千葉縣ヨリ菓子税則中疑義ノ廉伺

十八年七月十日
官報第六百七號

第一項 税則第二條但書ニ一人ニテ二箇所以上ノ營業場ヲ設クル者(中略)ハ各別ニ營業鑑

菓子税則

札ヲ受クヘシトアリ然レハ營業稅モ亦隨テ其場所毎ニ之ヲ徵收スヘキハ勿論ニ之アルヘシ就テハ一人ニテ甲乙ニケ所ノ營業場ヲ有シ而シテ一名ノ雇人ヲシテ甲ニ幾日乙ニ何日ト定メ其職其業ニ從事セシムルキハ甲乙孰モ二人以下ノ雇人アル者ト見做サ、ルヲ得サル儀ト心得可然哉

第二項 一期内ニアリテ甲某チ一旬日乃至半ヶ月ツ、之ヲ數回ニ雇入ル、者ハ引續雇入ト看做シ得可キ平果シテ然トセハ一月ニ甲某チ雇入レ二月ニ之ヲ止メ代ルコ乙某チ以テスル等數次ニ及ヘハ一期中自然甲乙丙丁ノ數人ニ涉ルヘシト雖モ同時ニ三名以上ノ現員ニ至ラサル限りハ尙ホ二人以下ノ雇人ト見做シ得可キ儀ト心得可然哉

第三項 稅則第十條但書ニ雇入増加シタル時ハ該期ノ增稅ヲ納ムヘシトアリ右ハ例ヘハ雇人ナキ小賣人ニテ半途ニ至リ一名若クハ二名ヲ雇入ル、キハ之ニ對スル半ケ年ノ稅額即金壹圓五十錢ノ内ヨリ當初納稅濟ナル五十錢ヲ扣除シ其全ク增稅ニ係ル壹圓ヲ徵收スヘキ注意ナラン果シテ然リトセハ小賣人ニテ製造人又ハ卸賣チ兼テントスル者ハ差引其全ク增稅ニ係ル者ノミヲ徵收スヘキ儀ト心得可然哉

第四項 稅則取扱心得書第六項ニ露店又ハ呼賣專業ノ者ニハ出賣鑑札ヲ下付スルノ限ニ在ラストアリ就テハ露店又ハ呼賣專業ノ者ニ限リテハ該營業權之徵證ヲ所持セシテ何レ

ノ場所ヲ問ハス其營業ヲ爲シ得ラル、儀ト心得可然哉

第五項 露店又ハ呼賣專業ノ者ニ下付スル免許鑑札ハ唯リ鑑札面記載ノ人ニ限リ其効力ヲ有スヘキ者ダレハ其ノ父子兄弟タリト雖モ更ニ鑑札ヲ受クルニ非サレハ一時免許人ニ代リ其營業ヲ爲ス如キハ法理上不相成儀ト心得可然哉

第六項 露店及呼賣チ兼業スル者ニ下付スル鑑札ヘハ稅則取扱心得書第壹号雛形ニ準シ可然哉

第七項 稅則上ノ雇人トハ平素雇主ノ家ニ寢食スル者ノミニ限ラス日雇或ハ臨時雇ノ者又ハ手代番頭等コテ日々雇主ノ家ニ通勤スル者又ハ籍ヲ異ニスル親族等コテ賃金ヲ受ス臨時ニ來テ業務ノ助ヲ爲ス者ノ如モ渾テ均ク雇人ノ範圍内ヲ以テ論ス可キ儀ト心得可然哉

第八項 前項果シテ雇人ヲ以テ論ス可キ者トセハ今コノ雇人ヲシテ稅則第三條ニ據リ仕入又ハ出賣チ爲サシムルモ妨ケナキ儀ト心得可然哉

第九項 演劇場寄席又ハ楊弓場等ニ於テ其席主ノ販賣スル者ハ小賣營業者ト心得可然哉

第十項 下ヲ職ト唱ヘ常ニ自宅ニ在リテ製造人ヨリ送附セル物品ノ製造(モナカ)ノ皮ノ類止ルアリ或ハ落雁ノ類ノ如キハ直ニ仕上ケテ爲スアリ)ニ從事シ日給又ハ其製造高ニ應シ賃金ヲ受ル者ハ雇人ヲ以テ論シ難キ者ダレハ稅則範圍ノ外ト心得可然哉